

政策公約対応事業の 取組状況 (任期1期目)

令和7年7月 31 日(第6回)

八戸市

対応事業の見方

- ・令和7年5月末を基準日として掲載しています。
- ・対応事業の記載内容は以下のとおりです。

<事業名称を記載しています>

事業00: ※熊谷市長就任以降、新規事業の場合は【新規】と記載しています(拡充事業は含まれていません)。

事業内容	<事業の内容を簡潔に記載しています>
担当課	<担当課を記載しています>
取組詳細	<事業内容に掲げた事項を実現するための、具体的な取組を簡潔に記載しています>



各期間の取組実績・成果	1年目	<市長就任(R3.11.17)から令和4年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。> <年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)>
	2年目	<令和4年8月から令和5年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。> <年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)>
	3年目	<令和5年8月から令和6年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。> ※8月以降の実施予定(確定しているもの)についても記載しています。 <年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)>
	4年目	<令和6年8月から令和7年5月末までの実績や得られた成果を記載しています。> ※5月以降の実施予定(確定しているもの)についても記載しています。 <年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)>

政策 6	「子どもファースト事業」の展開
------	-----------------

重点施策 6-1

子ども医療費助成の対象拡充、子育て支援の充実、学校施設の老朽化対策など、子どもや子育て世代にやさしい子どもファーストの事業に取り組みます。

事業 1： 子ども医療費助成事業

事業内容	子どもの健康保持と福祉増進を図るため、八戸市に住所のある児童が診察を受けた場合の医療費の自己負担分を助成する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○就学前の乳幼児～中学生の通院・入院費用を助成 ○高校生等の入院費用を助成 ○未就学児世帯の所得制限を緩和(令和 4 年 1 月) ○未就学児から高校生等の入院までの全ての区分の所得制限を撤廃 (令和 6 年 1 月) ○高校生等の助成区分を「入院のみ」から「通院・入院」に拡大 (令和 6 年 10 月)



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	・未就学児世帯の所得制限を緩和(令和 4 年 1 月) →新たに約 2,700 人が対象 R3 年度決算額 333,751 千円 R4 年度予算額 450,000 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・所得制限撤廃のため、子ども医療費給付条例の改正を実施(令和 5 年 3 月) ・システム改修着手(令和 5 年 5 月) R4 年度決算額 409,746 千円 R5 年度予算額 540,000 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・保護者の所得制限を撤廃(令和 6 年 1 月) → 新たに約 6,900 人が対象 ・高校生等の助成区分拡大のため、子ども医療費給付条例の改正を実施(令和 6 年 3 月) ・システム改修着手(令和 6 年 4 月) R5 年度決算額 507,481 千円 R6 年度予算額 755,000 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	・高校生等の通院を助成対象とし、0 歳から高校生等までの子ども医療費の完全無償化を実施(令和 6 年 10 月) →新たに約 4,500 人が対象 R6 年度決算額 718,475 千円 R7 年度予算額 750,000 千円

事業2：【新規】病児・病後児保育事業（病児保育ネット予約サービス事業）

事業内容	病児・病後児保育利用者の利便性の向上のため、スマートフォンなどを利用して予約やキャンセルを行うためのシステムを導入した病児・病後児保育事業実施施設に対し補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○ネット予約サービスを導入する病児・病後児保育施設に対し、システム導入費用と利用料を補助



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	【導入施設】 4月～ 南売市保育園、中居林こども園 5月～ 明星こども園 6月～ 滝沢小児科内科医院、村上こども医院 【補助基準額】 初期導入費用 300 千円 システム利用料 350 千円 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 3,250 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	【実施施設】 5施設（南売市保育園、中居林こども園、明星こども園、滝沢小児科内科医院、村上こども医院） 【補助基準額】 システム利用料 350 千円（1施設当たり） R5 年度決算額 2,888 千円 R6 年度予算額 1,750 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	【実施施設】 4施設（南売市保育園、中居林こども園、明星こども園、滝沢小児科内科医院） 【補助基準額】 システム利用料 350 千円（1施設当たり） R6 年度決算額 1,513 千円 R7 年度予算額 1,750 千円

事業3：【新規】市政情報発信力の強化事業

事業内容	子ども・子育て施策や市の重点施策を周知し理解を深めてもらうため、子育て世代をターゲットに広報はちのへ紙面をリニューアルする。
担当課	広報統計課
取組詳細	○広報はちのへ紙面の全面リニューアルを実施

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 60,854 千円 R4 年度予算額 60,517 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・子どもファースト事業や市の重点施策の特集記事連載開始 ・子ども・子育て情報を集約、親子で楽しめるイベント情報をピックアップ掲載 ・親子で読める記事（レシピ紹介、学校紹介）の連載開始 ・全ページフルカラー、表紙デザイン一新、横書き・左開きへ統一 ・令和5年5月号（4月20日発行）からリニューアルした広報はちのへを配布し、子ども・子育て施策、重点施策を市民に広く周知 R4 年度決算額 59,849 千円 R5 年度予算額 94,841 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	リニューアルに際して広報統計課へ編集権限を集約したことに伴い、令和5年12月号（11月20日発行）より、特集記事の印刷製本費についても各課予算措置から広報統計課予算に一元化。これにより、統一的・一体的な広報とする体制が整ったため、事業完了。 R5 年度決算額 90,789 千円 R6 年度予算額 90,000 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	令和5年5月号（4月20日発行）からリニューアルを実施し、令和5年12月号（11月20日発行）より、特集記事の印刷製本費についても各課予算措置から広報統計課予算に一元化し、統一的・一体的な広報とする体制が整ったため、事業完了。 R6 年度決算額 72,835 千円 R7 年度予算額 61,560 千円

事業4：健康教育事業（母子）

事業内容	子育てや健康等に関する正しい知識の普及啓発を図るため、各種講座を実施する。
担当課	すくすく親子健康課
取組詳細	○初めて赤ちゃんを迎えるための心の準備・親の役割について学ぶための「両親学級」の実施 ○離乳食に関する知識を身に着けるための「すくすく離乳食教室」の実施 ○子どもの健康や子育てに関する普及啓発のための「地区健康教室」の実施 ※地区健康教室を「子育て出前講座」として広く周知し実施（令和5年度～）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・両親学級：4回、60組 ・すくすく離乳食教室：14回、72人 ・地区健康教室：6回、560人 R3 年度決算額 226 千円 R4 年度予算額 280 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・両親学級：10回、203組 ・すくすく離乳食教室：28回、167人 ・地区健康教室：8回、828人 ・子育て出前講座：7回、170人 R4 年度決算額 611 千円 R5 年度予算額 1,328 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・両親学級：12回、205組（7月末） ・すくすく離乳食教室：30回、204人（7月末） ・子育て出前講座：17回、597人（6月末） R5 年度決算額 954 千円 R6 年度予算額 979 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・両親学級：10回、169組 ・すくすく離乳食教室：20回、161人 ・子育て出前講座：11回、310人 R6 年度決算額 706 千円 R7 年度予算額 1,236 千円

事業 5： 母子健康診査事業

事業内容	乳児期の健診等における自己負担を概ね解消し、さらなる健康管理を図るため、健診費用を助成する。
担当課	すくすく親子健康課
取組詳細	○乳児健康診査、先天性股関節脱臼検診、1 歳 6 か月児健康診査、3 歳児健康診査、精神発達精密健康診査、妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、産婦健康診査の検診費用を助成。 ○乳児期の健診費用等を次のとおり拡充して助成（令和 5 年度～） ・新生児聴覚検査費用を助成 ・乳児一般委託健康診査及び精密検診の公費負担を 3 回から 4 回へ追加 ・先天性股関節脱臼検診の保護者負担金を無償化

各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	・乳児健康診査 : 受診者 2,714 人 ・先天性股関節脱臼検診 : 857 人 ・1 歳 6 か月児健康診査 : 787 人 ・3 歳児健康診査 : 907 人 ・精神発達精密健康診査 : 31 人 ・妊婦健康診査 : 899 人 ・妊婦歯科健康診査 : 467 人 ・産婦健康診査 : 912 人 R3 年度決算額 190,563 千円 R4 年度予算額 228,625 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・新生児聴覚検査 : 助成者 131 人 ・乳児健康診査 : 受診者 2,759 人 (6 月末) ・先天性股関節脱臼検診 : 993 人 (6 月末) ・1 歳 6 か月児健康診査 : 1,463 人 ・3 歳児健康診査 : 1,656 人 ・精神発達精密健康診査 : 52 人 ・妊婦健康診査 : 1,090 人 ・妊婦歯科健康診査 : 582 人 (6 月末) ・産婦健康診査 : 1,069 人 R4 年度決算額 199,932 千円 R5 年度予算額 244,861 千円

	3 年 目 (R6.7 月 末時点)	・ 新生児聴覚検査 : 助成者 959 人 (6 月末) ・ 乳児健康診査 : 受診者 2,394 人 (6 月末) ・ 乳児股関節脱臼検診 : 936 人 (6 月末) ・ 1 歳 6 か月児健康診査 : 1,068 人 (6 月末) ・ 3 歳児健康診査 : 1,284 人 (6 月末) ・ 精神発達精密健康診査 : 50 人 (6 月末) ・ 妊婦健康診査 : 942 人 (6 月末) ・ 妊婦歯科健康診査 : 436 人 (6 月末) ・ 産婦健康診査 : 923 人 (6 月末) R5 年度決算額 190,540 千円 R6 年度予算額 240,257 千円
	4 年 目 (R7.5 月 末時点)	・ 新生児聴覚検査 : 助成者 779 人 ・ 乳児健康診査 : 受診者 1,958 人 ・ 乳児股関節脱臼検診 : 756 人 ・ 1 歳 6 か月児健康診査 : 891 人 ・ 3 歳児健康診査 : 995 人 ・ 精神発達精密健康診査 : 29 人 ・ 妊婦健康診査 : 785 人 ・ 妊婦歯科健康診査 : 355 人 ・ 産婦健康診査 : 752 人 R6 年度決算額 186,677 千円 R7 年度予算額 190,224 千円

事業 6： こども家庭センター事業

事業内容	要支援児童若しくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦等への支援業務の強化を図るため、八戸市内の子どもとその家族及び妊婦等を対象に、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行う。
担当課	こども家庭相談室、すくすく親子健康課
取組詳細	○家庭児童相談室の機能を包含した子ども家庭総合支援拠点(こども家庭相談室内)に、子ども家庭支援員、虐待対応専門員、心理担当支援員を配置し、子ども家庭に関する相談に応じ、必要に応じて関係機関等と連携しながら必要な支援を行う。 ○関係機関等との連絡調整については、必要に応じて要保護児童対策地域協議会を活用する。 ○妊娠期から子育て期にわたる妊産婦及び乳幼児とその保護者の健康の保持増進に関する包括的な支援を行う。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・職員配置…子ども家庭支援員 3 名、虐待対応専門員 2 名、心理担当支援員 1 名 ・子ども家庭相談件数… (R4.7 月末時点) 96 件 (R5.3 月末時点) 314 件 ・要保護児童対策地域協議会… 代表者会議(7/29 書面会議)、実務者会議(毎月 1 回開催、R5.3 月末検討数 555 件)、ケース検討会議(R5.3 月末検討数 189 件) R3 年度決算額 5,905 千円 R4 年度予算額 7,441 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・職員配置…子ども家庭支援員 4 名、虐待対応専門員 2 名、心理担当支援員 1 名 ・子ども家庭相談件数… (R5.7 月末時点) 114 件 ・要保護児童対策地域協議会… 代表者会議(8/28 開催予定)、実務者会議(毎月 1 回開催、R5.7 月末検討数 242 件)、ケース検討会議(R5.7 月末検討数 50 件) R4 年度決算額 6,763 千円 R5 年度予算額 12,221 千円

	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)と子育て世代包括支援センター(母子保健)の機能を有し一体的な支援体制を整備した「こども家庭センター」を令和6年4月に設置。 <児童福祉機能> ・職員配置 …統括支援員1名、子ども家庭支援員3名、虐待対応専門員4名、心理担当支援員1名 ・子ども家庭相談件数…(R6.6月末時点) 65件 ・要保護児童対策地域協議会…代表者会議(8/5開催予定)、実務者会議(毎月1回開催、R6.6月末検討数205件)、ケース検討会議(R6.6月末検討数34件) <母子保健機能> ・母子健康相談(はちまむ相談) 972件 庁内健康相談 554件 電話健康相談 418件 (R5年度実績) ・支援プラン策定数 6,372件 セルフプラン 1,970件 養育支援プラン 4,402件 (R5年度実績) (母子保健のみ) サポートプラン 14件 (7月末) R5 年度決算額 11,923 千円(児童福祉) 6,756 千円(母子保健) R6 年度予算額 27,077 千円(児童福祉) 17,313 千円(母子保健)
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	・子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)と子育て世代包括支援センター(母子保健)の機能を有し一体的な支援体制を整備した「こども家庭センター」を令和6年4月に設置。 <児童福祉機能> ・職員配置 … センター長1名、統括支援員1名、子ども家庭支援員3名、虐待対応専門員3名、心理担当支援員1名、サポートプラン作成支援員1名 ・子ども家庭相談件数…(R7.4月分) 22件 ・要保護児童対策地域協議会…代表者会議(年1回 R7 開催日未定)、実務者会議(毎月1回開催、R7.4月分 68件)、個別ケース検討会議(R7.4月 1回) <母子保健機能> ・母子健康相談(はちまむ相談) 767件 ・電話健康相談 320件 ・庁内健康相談 447件 ・セルフプラン 1,923件 ・支援プラン策定数 6,163件 ・養育支援プラン 4,120件 ・サポートプラン(母子保健のみ) 120件 R6 年度決算額 33,346 千円(児童福祉) 180,024 千円(母子保健) R7 年度予算額 45,499 千円(児童福祉) 163,175 千円(母子保健)

事業7：【新規】八戸市次世代エール商品券発行事業

事業内容	地域内の消費を喚起するとともに子育て世帯等への経済的支援を行うため、若年層を対象としたプレミアム商品券を発行する。
担当課	商工課
取組詳細	○次世代エール商品券の発行 商品券概要：1口15,000円分のデジタル商品券（スマートフォン向けアプリ又はQRカード）を10,000円で販売（購入対象者1人当たり1口限り購入可）。 購入対象者：H13.4.2以降に生まれた方のうち、以下のいずれかに該当する方 ①R5.4.1時点で八戸市内に住所のある方 ②市外から市内の高等教育機関に通っている方 ※①には、R5.9月上旬に実行委員会から引換チケットを送付。 プレミアム率：50% 発行総数：42,000口（参考：住基人口=37,403人（①分、R5.7.15時点）） 発行総額：6億3,000万円（15,000円×42,000口） プレミアム総額：2億1,000万円（5,000円×42,000口） 実施主体：八戸市次世代エール商品券実行委員会

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○次世代エール商品券の発行 販売開始：R5.9中頃 利用開始：同上 ○参加店の募集 募集期間：R5.7.18(火)～R5.12.15(金) ○システム開発業務委託事業者の募集 募集期間：R5.4.12(水)～R5.5.9(火) 選定方式：プロポーザル 委託先事業者：ラブはちのへ地域ペイプロジェクト (代表企業：㈱トータルペイメントサービス) R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 26,400 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○次世代エール商品券の発行 販売期間：R5.9.15(金)～11.15(水) 【追加販売期間】 R5.11.16(木)～11.30(木) 利用期間：R5.9.15(金)～R6.1.15(月) 販売実績：3億8,943万7,500円（購入率68.4%） 販売方法：クレジットカード決済又はコンビニでの決済 利用率：99.6% ○参加店の募集 募集期間：R5.7.18(火)～R5.12.15(金) 参加店舗数：530店舗 ○システム開発業務委託事業者の募集 募集期間：R5.4.12(水)～R5.5.9(火) 選定方式：プロポーザル 委託先事業者：ラブはちのへ地域ペイプロジェクト (代表企業：㈱トータルペイメントサービス) R6.3で一歳の事業を完了 R5年度決算額 200,152千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業 8： 軽・中程度障がい児保育事業

事業内容	障がい児保育施設の維持、拡充を図るため、障がい児の受入体制を整えている認定こども園・保育所（園）について、障がい児保育を担当する職員の配置費用に対し、補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○軽・中程度障がい児受け入れの認定こども園・保育所（園）に対し、職員配置費用を補助



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	令和 4 年度より補助基準額の見直しを実施 <中程度障がい児保育事業> 月額 77,000 円（前年度比 5,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 <ふれあい保育事業> 月額 43,000 円（前年度比 3,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 R3 年度決算額 16,464 千円 R4 年度予算額 30,540 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	令和 5 年度より補助基準額の見直しを実施 <中程度障がい児保育事業> 月額 106,000 円（前年度比 29,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 <ふれあい保育事業> 月額 53,000 円（前年度比 10,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 R4 年度決算額 14,039 千円 R5 年度予算額 31,376 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	（令和 5 年度実績） <中程度障がい児保育事業> 実施施設：6 施設、対象人数：13 人 ※補助基準額は R5 年度と同額 <ふれあい保育事業> 実施施設：12 施設、対象人数：29 人 ※補助基準額は R5 年度と同額 R5 年度決算額 24,469 千円 R6 年度予算額 28,090 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	（令和 6 年度実績） <中程度障がい児保育事業> 実施施設：8 施設、対象人数：16 人 ※補助基準額は R5 年度と同額 <ふれあい保育事業> 実施施設：13 施設、対象人数：46 人 ※補助基準額は R5 年度と同額 R6 年度決算額 38,171 千円 R7 年度予算額 25,680 千円

事業 9： 【新規】 医療的ケア児等総合支援事業

事業内容	医療的ケア児とその家族を支援するため、保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設けるとともに、医療的ケア児等に関するコーディネーターを配置する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関が集まり、地域の現状把握や分析、連絡調整、支援内容等、地域全体の医療的ケア児等とその家族が直面する課題及びその検討を行う医療的ケア児支援検討会議を開催する。 ○保健・医療・障害福祉・保育・教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児等とその家族に対しサービスを紹介するとともに、関係機関と医療的ケア児等とその家族をつなぐ医療的ケア児等コーディネーターを配置する。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	・医療的ケア児支援検討会議（令和4年2月） ※書面開催 R3 年度決算額 290 千円 R4 年度予算額 147 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	・医療的ケア児支援検討会議（令和5年2月） 出席者：委員9名・オブザーバー3名 ・医療的ケア児等コーディネーター配置 コーディネーター配置事業の受託対応調査実施（対象：市内34事業所） R4 年度決算額 147 千円 R5 年度予算額 5,258 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	・医療的ケア児支援検討会議（令和6年2月） 出席者：委員6名・オブザーバー4名 ・医療的ケア児等コーディネーター配置 業務委託により医療的ケア児等コーディネーターを配置（令和5年11月～） R5 年度決算額 1,881 千円 R6 年度予算額 5,232 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	・医療的ケア児支援検討会議（令和7年3月） 出席者：委員8名・オブザーバー4名 ・医療的ケア児等コーディネーター配置 業務委託により医療的ケア児等コーディネーターを配置（令和5年11月～） R6 年度決算額 4,661 千円 R7 年度予算額 5,308 千円

事業10：【新規】医療的ケア児保育支援事業

事業内容	医療的ケア児の保育所等への受入体制を整備するとともに、保育所に対して医療的ケア児を受け入れる支援として、看護師を配置する費用等について、補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○医療的ケア児を受け入れている認定こども園・保育所（園）に対し、看護師等配置費用や研修受講費等を補助 ○医療的ケア児受け入れのためのガイドラインの策定



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	受入施設 2 園 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 15,209 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	(令和5年度実績) 受入施設 2 園 R5 年度決算額 4,672 千円 R6 年度予算額 40,216 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	(令和6年度実績) 受入施設 2 園 R6 年度決算額 6,260 千円 R7 年度予算額 18,748 千円

事業11: 広域的体験学習支援事業

事業内容	八戸圏域連携中枢都市圏域内の小・中学生の体験学習を支援するため、小・中学生が体験活動を行う際の一部の経費を負担する。
担当課	教育指導課
取組詳細	○八戸圏域内の小学校が圏域内の公共施設等を活用した体験学習を行う際、バス借上料及び施設入場料を支援 ○八戸圏域内の中学校が圏域内で職業体験等の体験学習を行う際、バス借上料を支援

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	【令和3年度実績】 ○小学校 利用校数 53/70 校 (76%)、延べ利用校数 90 校 ・八戸市リサイクルプラザ、八戸中央卸売市場、八戸市博物館等を活用した体験活動を実施 ※中学校は対象外 R3 年度決算額 6,874 千円 R4 年度予算額 10,831 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	【令和4年度実績】 ○小学校 利用校数 62/69 校 (90%)、延べ利用校数 116 校 ・八戸市リサイクルプラザ、八戸中央卸売市場、八戸市博物館等を活用した体験活動を実施 ○中学校 利用校数 10/39 (26%) ・NPO法人・産業労政課事業を活用し、企業訪問・大学訪問を実施 R4 年度決算額 10,027 千円 R5 年度予算額 14,137 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	【令和5年度実績】 ○小学校 利用校数 51/61 校 (83%)、延べ利用校数 97 校 ・八戸市リサイクルプラザ、八戸中央卸売市場、八戸市博物館等を活用した体験活動を実施 ○中学校 利用校数 13/38 (34%) ・NPO法人・産業労政課事業を活用し、企業訪問・大学訪問を実施 R5 年度決算額 9,850 千円 R6 年度予算額 15,256 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	【令和6年度実績】 ○小学校 利用校数 56/61 校 (92%)、延べ利用校数 128 校 ・八戸市リサイクルプラザ、八戸中央卸売市場、八戸市博物館等を活用した体験活動を実施 ○中学校 利用校数 15/38 (39%) ・NPO法人・産業労政課事業を活用し、企業訪問・大学訪問を実施 R6 年度決算額 15,778 千円 R7 年度予算額 11,714 千円

事業12: コミュニティ・スクール推進事業

事業内容	・保護者及び地域住民が学校運営に参画する「地域学校連携協議会（学校運営協議会）」を設置し、学校・地域・家庭の連携・協働による「地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）」を推進する。 ・各学校にコーディネーター（地域学校協働活動推進員）を配置し、学校支援ボランティアの活用等により「地域学校協働活動」を支援する。
担当課	教育指導課
取組詳細	○各学校または中学校区における「地域学校連携協議会」の開催及び「学校支援ボランティア」の活用 ○安全・安心な学校・地域づくり ○地域と連携したキャリア教育の推進 ○コーディネーター研修会の実施と好事例の共有 ○コミュニティ・スクール導入に向けた準備



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	【令和3年度実績】 ・地域学校連携協議会 各学校または中学校区において1～3回開催 ・学校支援ボランティア 総数 38,688 人 ・コーディネーター研修会 2回実施 ※コロナ禍で多くの活動・会議等が中止 R3 年度決算額 9,480 千円 R4 年度予算額 11,079 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	【令和4年度実績】 ・地域学校連携協議会 各学校または中学校区において2～3回開催 ・学校支援ボランティア 総数 38,229 人 ・コーディネーター研修会 5回実施 ・中学校の企業訪問開始 R4 年度決算額 10,692 千円 R5 年度予算額 11,083 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	【令和5年度実績】 ・地域学校連携協議会 各学校または中学校区において2～3回開催 ・学校支援ボランティア 総数 41,339 人 ・コーディネーター研修会 5回実施 ・R6年度より市立全小・中学校がコミュニティ・スクールに移行 R5 年度決算額 12,412 千円 R6 年度予算額 18,685 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	【令和6年度実績】 ・地域学校連携協議会 協議会委員のべ810人任命、各学校または中学校区において2～3回開催 ・学校支援ボランティア 総数 28,430 人 ・コーディネーター研修会 4回実施 ・コーディネーターをのべ139人委嘱 R6 年度決算額 13,549 千円 R7 年度予算額 21,035 千円

事業13: 文化芸術推進事業

事業内容	文化芸術に触れあう機会創出を推進するため、小・中学生等を対象に芸術文化に関連した企画事業を開催するほか、本を読む、書くことに関する企画事業を開催する。
担当課	文化創造推進課 八戸市ブックセンター 八戸市美術館 八戸ポータルミュージアム
取組詳細	○小・中学生を対象に、芸術文化に関連したワークショップ等を開催（文化創造推進課） ○市公会堂において、小・中学生を対象としたバックヤード見学ツアーや体験プログラムを開催（文化創造推進課） ○本を読む、書くことに関する企画事業を開催（八戸ブックセンター） ○小中高生を対象に見学受入れや出張授業などを実施。小中高の教員と美術館学芸員、専門家でプロジェクトチームを構成し、学校現場で活用しやすいプログラムや教材の開発・実践・発表を行うなどの教育普及活動の実施（八戸市美術館） ○全国から公募で決定したアーティストがはっちで舞台芸術公演を実施するのに合わせ、小・中学生等を対象としたワークショップを行い、市民がパフォーミングアーツに触れ、体験する機会を創出（八戸ポータルミュージアム）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点) ・市民参加型の演劇ワークショップとしてうみねこ演劇塾（ジュニア塾）「うみねこ演劇塾発表会」を開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 期間：R3.10.9～R4.1.6（最終日は発表会） 場所：八戸市公民館 参加者：延べ204人 ・「公会堂探検隊2021」の開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 開催日：R3.8.9 場所：八戸市公会堂 参加者：24人（子ども14人、大人10人） ・はっちパフォーミングアーツ公演事業ワークショップの実施 ※はっち ○劇団「鳥と舟」 期日：R4.6.22 場所：八戸聖ウルスラ学院 参加者：10名（同校演劇部） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 10 千円（はっち10）
-------------	--

	2 年目 (R5.7 月 末時点)	・市民参加型の演劇ワークショップとしてうみねこ演劇塾（ジュニア塾）「うみねこ演劇塾発表会」を開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 期間：R4.10.8～R5.1.6（最終日は発表会） 場所：八戸市公民館 参加者：延べ 231 人 ・「公会堂探検隊 2022」の開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 開催日：R4.8.9 場所：八戸市公会堂 参加者：33 人（子ども 18 人、大人 15 人） ・執筆に関するワークショップの開催 ※ブックセンター 開催日：R5.3.25～26（2 日間の連続講座） 場 所：番町サテライトキャンパスばんらぼ 講 師：田丸雅智氏（ショートショート作家） 参加者：市内高校生 23 名 ・「まるごと馬場のぼる展」において「小中高合同鑑賞会」を実施 ※美術館 開催日：R4.8.10 場所：八戸市美術館 参加者 20 人 ・小中学生、高校生が所属する「美術館新聞部」による「とれたて！すまあ〜と！」発行 開催日：R4.11.3～R5.3.31 場所：八戸市美術館 参加者：16 人 ・はっちパフォーミングアーツ公演事業ワークショップの実施 ※はっち ○ダンスカンパニー「デペイズマン」 (1) 期日：R4.8.29 場所：下長小学校 参加者：60 名（同校 5 年生） (2) 期日：R4.8.30 場所：豊崎中学校 参加者：24 名（中学生 18 名、豊崎小学校 6 年生 5 名、オンライン 2 名） ○ダンス・アートカンパニー「tantan」 期日：R4.12.9 場所：八戸ポータルミュージアム（シアター2） 参加者：5 名 ○ダンス集団「TABATHA」 期日：R5.2.27 場所：明治中学校 参加者：54 名 ○劇団「いるか Hotel」 期日：R5.6.6～7 場所：八戸東高校 参加者：33 名（東高校演劇部 27 名、千葉学園高校演劇部 6 名） R4 年度決算額 210 千円（ブックセンター 200、はっち 10） R5 年度予算額 50 千円（はっち 50）
--	----------------------------------	--

	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・市民参加型の演劇ワークショップとしてうみねこ演劇塾（ジュニア塾）「うみねこ演劇塾発表会」を開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 期間：R5.10.7～R6.1.6（最終日は発表会） 場所：八戸市公民館 参加者：延べ270人 ・「公会堂探検隊2023」の開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 開催日：R5.8.9 場所：八戸市公会堂 参加者：25人（小学生） ・八戸市公会堂文化事業「鎌倉能舞台 能楽・狂言ワークショップ」の開催 ※文化創造 開催日：R5.11.8 場所：八戸市公会堂 参加者：200人（第二中学校1～3年生） ・市内小規模校での学校音楽鑑賞教室の開催 ※文化創造 （はちのへ文化のまちづくり推進事業補助金活用事業） 開催日：R6.7.2 場所：轟木小学校 演奏者：インフィニート・コラルコ弦楽合奏団 参加者：約60名（轟木小学校全児童、近隣保育園含む） ・読書に関するトークイベント、読書会の開催 ※ブックセンター 開催日：R6.3.17 場 所：はっち 講 師：杉江松恋氏（書評家） 参加者：①トークイベント「小中高生必見！杉江松恋さんと探す！ 「まずはこの1冊から読んでみてほしいミステリー」 市内小中高生を含む34名 ②杉江松恋さんと読む！「アガサ・クリスティ深読み読書会」 市内小中高生を含む20名 ・美術館内に学校連携プロジェクトチームの活動の場となる「学校連携ラボ」を設置 ※美術館 プロジェクトチームの活動拠点を整備することで、美術館と学校との更なる連携を図る。 開設日：R5.10.16 場所：美術館1階 ・アーティストが学校に出向き、出張ワークショップを実施 ※美術館 開催日：R5.6.19-22 場所：①三条小学校、②多賀小学校、③金浜小学校 講師：タノタイガ 参加者：①53人、②33人、③12人 ・朝鑑賞に学ぶファシリテーター研修の実施 ※美術館 新しい美術教育の事例として「朝鑑賞」を推進するための研修会やグループワークを実施 開催日：R6.1.29 講師：武蔵野美術大学 教授 三澤 一実 参加者：40人 ・小中学生、高校生が所属する「美術館新聞部」による「とれたて！すまあ〜と！」発行 ※美術館
--	-----------------------------------	--

		開催日：R6.1.5～R6 場所：八戸市美術館 参加者：11 人 ・はっちパフォーミングアーツ公演事業ワークショップの実施 ※はっち ○演劇／ダンス／クリエーションカンパニー「waqu:iRaz」 期日：R5.9.5 場所：豊崎中学校 参加者：1 年生・3 年生 17 名 ○前納依里子 (1) 期 日：R6.2.22 場 所：函南小学校 参加者：5 年生 13 名 (2) 期 日：R6.2.26 場 所：江陽小学校 参加者：4 年生 33 名 (3) 期 日：R6.2.26 場 所：下長小学校 参加者：4 年生 55 名 (4) 期 日：R6.2.22 場 所：下長小学校 参加者：5 年生 58 名 R5 年度決算額 1,424 千円（文化創造 739、ブックセンター 150、美術館 485、はっち 50） R6 年度予算額 1,982 千円（文化創造 100、ブックセンター 450、美術館 1,193 はっち 239）
--	--	---

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・読書に関するトークイベント、読書会の開催 ※ブックセンター 開催日：R7.2.9 場 所：SG GROUP ホールはちのへ（八戸市公会堂） 内 容：・スペシャルトーク 池上彰さんが語る「本のちから」 トーク 13 時 30 分～14 時 30 分 LINDEAL による質問コーナー 14 時 30 分～15 時 来場者数 1,184 名 ・おはなし会 3 回開催、参加者数 38 名 ・図書館 150 周年記念「本のまち八戸」紹介パネル展 ・書籍・図書館オリジナルグッズ販売コーナー ・本と雑誌のリサイクルフェア ・市民参加型の演劇ワークショップとして「うみねこ演劇塾（ジュニア塾）」及び「うみねこ演劇塾発表会」を開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 期間：R6.10.5 ～R7.1.11（最終日は発表会） 場所：SG GROUP ホールはちのへ（八戸市公民館） 参加者：16 人（対象：演劇に興味のある小学生から中学生） ・「公会堂探検隊 2024」の開催（公会堂・市公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 開催日：R6.8.7 場所：SG GROUP ホールはちのへ（八戸市公会堂） 参加者：70 人（こども 42 人、大人 28 人） ・市内児童向け「かたづのと清心尼」公演鑑賞開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 開催日：R6.11.22 場所：SG GROUP ホールはちのへ（八戸市公民館） 参加者：350 人（市内小学校 4 校の児童及び教職員等） ・八戸市南郷文化ホール文化公演事業としてデビットマシューズ率いるジャズバンドによるジャズ演奏のクリニック及び無料コンサートを開催 ※文化創造 【クリニック】 開催日：R6.11.28、12/4、12/7 場所：八戸市立中沢中学校 参加者：八戸市立中沢中学校ジャズバンド部 10 人 【コンサート】 開催日：R6.12/10 場所：八戸市南郷文化ホール 来場者：267 人（対象：南郷地区小中学校 4 校の児童生徒及びその保護者） 【アウトリーチコンサート】 開催日：R6.12/14 場所：八戸市老人福祉センター南郷 鑑賞者：54 人（対象：施設利用者及び地域の方々） ・市内小規模校での学校音楽鑑賞教室の開催 ※文化創造（予定） 開催日：①R7.9.10、②R7.10.16 場所：①豊崎小学校、②種差小学校 演奏者：インフィニート・コラルコ弦楽合奏団 参加予定児童数：①34 名、②16 名
--	-------------------------	--

- ・八戸市公会堂文化事業として市内小学校6年生を無料招待しプロオーケストラによるコンサート（楽器紹介、指揮体験を含む）を開催 ※文化創造（予定）
（文化庁助成事業活用事業）

開催日：R8.1.26

場所：SG GROUP ホールはちのへ（八戸市公会堂）

演奏者：公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団

参加者：市内小学校6年生

- ・展覧会「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」関連プロジェクト「コピトラとつくる
＼ココハドコダ！？／パラレルシティ」でアーティストと小学生が作品制作をし展示
※美術館

実施日：R6.8.7～11

場所：八戸市美術館

アーティスト：THE COPY TRAVELERS

参加者：5人

- ・展覧会「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」に関連し、出張授業を実施
※美術館

実施日：①R6.12.3②12.9 ③12.11 ④12.18

実施校：①八戸東高校 ②江陽中学校 ③鮫小学校 ④田面木小学校

参加者：計268人

- ・学校での朝鑑賞推進のため、教員向けの対話鑑賞のファシリテーション研修を実施
※美術館

実施日：①R6.7.3②11.13

実施校：①多賀小学校 ②鮫中学校

参加者：①12人②12人

- ・学校連携事業活動報告冊子作成 ※美術館

部数：500部

配布先：市内小中学校、市内高等学校、県内大学、県内美術館、県外美術館、関係者など

- ・展覧会「展示室の冒険」に関連し、学校連携プロジェクトチーム所属の先生による鑑賞のナビゲート「みんなでじっくり鑑賞ナビ」を実施 ※美術館

実施日：①R6.6.1②6.22

場所：八戸市美術館

参加者：①10人 ②11人

- ・小中学生、高校生が所属する「美術館新聞部」による「とれたて！すまあ〜と！」発行 ※美術館

開催日：R6.1.8～1.9

場所：八戸市美術館

参加者：11人

- ・全国の幼保、小・中、高校、大学で行われた造形美術の授業実践を紹介する展覧会「はみ出す力展 vol.6～図工・美術の授業展 2024～」開催※美術館

開催日：R7.1.23～1.26

場所：八戸市美術館

		・はっちパフォーミングアーツ公演事業ワークショップの実施 ※はっち ○タテヨコ企画 アウトリーチワークショップ 期日：R6.9.4 場所：八戸市立鯨中学校 参加者：38名 ○PANCETTA アウトリーチワークショップ (1) 期 日：R6.12.4～5 場 所：八戸市立北稜中学校 参加者：北稜中学校1年生 58名 (2) 演劇部員対象ワークショップ 期 日：R6.12.4 場 所：はっち シアター2 参加者：14名(参加校：八戸北高等学校、八戸東高等学校、八戸工業大学附属第二高等学校、千葉学園高等学校) ○アトリエ・センターフォワード (1) 戯曲執筆体験ワークショップ「戯曲を作ってみよう」(高校生以上 一般向け) 期 日：R7.2.23 場 所：はっち レジデンス A 参加者：3名 (2) 演技ワークショップ「演技を動詞で考える」(高校生以上 一般向け) 期 日：R7.2.24 場 所：はっち シアター2 参加者：5名 (3) アウトリーチワークショップ 期 日：R7.2.26 場 所：八戸市立鯨中学校 参加者：鯨中学校1年生 38名 R6 年度決算額 4,386 千円 (文化創造 626 千円、ブックセンター 2,860 千円) (美術館 830 千円 はっち 70 千円) R7 年度予算額 1,458 千円 (文化創造 280 千円、ブックセンター 380) (美術館 682 千円 はっち 116 千円)
--	--	--

事業14: 小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業

事業内容	市立小・中学校におけるスポーツ・文化的活動の指導体制の充実及び質的向上を図るほか、中学校部活動の円滑な地域移行に向けた調査及び検討を行うため、地域スポーツ・文化活動検討協議会を設置・運営する。
担当課	学校教育課
取組詳細	○市立小・中学校スポーツ・文化的活動外部指導者の保険料負担 ○「八戸市 小学校スポーツ活動 中学校運動部活動 指針」の周知 ○市立中学校への部活動指導員配置 ○外部指導者等研修会の開催 ○附属機関「八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会」の設置・運営



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○外部指導者 517 名(小学校 375 名、中学校 142 名)の保険料を負担(R4 年度) ○指針概要版のリーフレットを約 4,500 部配布 ○部活動指導員を市立中学校 8 校に各 1 名配置 ○外部指導者等研修会は感染拡大防止のため急遽中止 R3 年度決算額 3,416 千円 R4 年度予算額 4,396 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○外部指導者 530 名(小学校 365 名、中学校 165 名)の保険料を負担(R5.7.19 現在) ○市 HP を活用した指針の周知(アドレス及び QR コードの周知) ○部活動指導員を市立中学校 9 校に計 10 名配置 ○外部指導者等研修会の開催(R5.8.7)準備 ○地域スポーツ・文化活動検討協議会を設置(R5.4.1)、第 1 回検討協議会を開催(R5.7.4) R4 年度決算額 3,527 千円 R5 年度予算額 6,278 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○外部指導者 443 名(小学校 290 名、中学校 153 名)の保険料を負担(R6.7.26 現在) ○市 HP を活用した指針の周知(アドレス及び QR コードの周知) ○部活動指導員を市立中学校 10 校に計 13 名配置 ○外部指導者等研修会の開催(R6.8.5)準備 ○地域スポーツ・文化活動検討協議会を開催(R6.7.23 令和 6 年度第 1 回検討協議会を開催、年度内 4 回の開催を予定) R5 年度決算額 3,677 千円 R6 年度予算額 13,920 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○外部指導者 373 名(小学校 215 名、中学校 158 名)の保険料を負担(R7.5.30 現在) ○市 HP を活用した指針の周知(アドレス及び QR コードの周知) ○部活動指導員を市立中学校 12 校に計 13 名配置 ○外部指導者等研修会の開催(R7.8.6)準備 ○地域スポーツ・文化活動検討協議会を開催(R7.7.14 令和 7 年度第 1 回検討協議会を開催予定、年度内 4 回の開催を予定) R6 年度決算額 13,329 千円 R7 年度予算額 17,456 千円

事業15: 学校図書館支援事業

事業内容	学校図書館の活用と環境整備を促進するため、小・中学校に学校司書を派遣する。
担当課	教育指導課
取組詳細	○小・中学校に、学校図書館環境整備、新刊図書登録業務等を行う学校司書を派遣 ○学校司書研修会の実施 ○出張ブックトークの実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	【令和3年度実績】 ○学校司書8名を小・中学校に派遣（派遣校数：40校） ○学校司書研修会の開催（11回） ○ブックトークの実施（102単位時間） R3年度決算額 7,532千円 R4年度予算額 9,680千円
	2年目 (R5.7月末時点)	【令和4年度実績】 ○学校司書10名を小・中学校に派遣（派遣校数：58校） ○学校司書研修会の開催（12回） ○ブックトークの実施（164単位時間） R4年度決算額 9,569千円 R5年度予算額 12,889千円
	3年目 (R6.7月末時点)	【令和5年度実績】 ○学校司書13名を小・中学校に派遣（派遣校数：65校） ○学校司書研修会の開催（12回） ○ブックトークの実施（206単位時間） R5年度決算額 12,811千円 R6年度予算額 15,670千円
	4年目 (R7.5月末時点)	【令和6年度実績】 ○学校司書13名を小・中学校に派遣（派遣校数：65校） ○学校司書研修会の開催（12回） ○ブックトークの実施（261単位時間） R6年度決算額 18,649千円 R7年度予算額 17,932千円

事業16: 【新規】児童科学館改修事業

事業内容	子どもたちの「科学する心」を育む施設とするため、リニューアル基本計画に基づき施設や展示物、プラネタリウム設備を計画的に改修する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	○空調設備整備工事（令和5年11月～令和6年7月） ○空調設備改修工事（令和5年11月～令和6年7月） ○トイレ改修工事（令和6年1月～5月） ○プラネタリウム設備更新（令和7年3月） ○展示物更新（令和9年）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・空調設備整備工事の設計（令和5年11月より工事開始） ・空調設備改修工事の設計（令和5年11月より工事開始） ・トイレ改修工事の設計（令和6年1月より工事開始） R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 224,000 千円
	3年目	・空調設備 整備・改修工事完了 ・トイレ改修工事完了 ・八戸市視聴覚センター・児童科学館リニューアル基本計画策定 R5 年度決算額 39,000 千円 R6 年度予算額 336,050 千円 (R5 繰越予算額 185,000 千円)
	4年目 (R7.5月末時点)	・プラネタリウム設備更新 ・八戸市視聴覚センター・児童科学館リニューアル実施設計（基礎）策定 R6 年度決算額 314,710 千円 (R5 繰越決算額 122,150 千円) R7 年度予算額 22,000 千円

事業17: 放課後児童健全育成事業

事業内容	放課後等における児童の居場所の提供体制を安定的に確保するため、放課後児童クラブの運営や新規開設・移転に係る各種支援を行うほか、支援員の定着や新たな人材の確保を図るため、支援員の処遇改善を実施する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○クラブの開設等に係る支援や調整を実施 ○支援員の処遇改善 ○各クラブにおける新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、運営を継続



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・R4.4月から1クラブ増設（市内48クラブ） ・R4.2月から放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業により、支援員等の賃金引上げ分の補助を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策支援事業により、消毒液や感染防止に係る備品代の補助を実施 R3 年度決算額 278,881 千円 R4 年度予算額 336,263 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・R5.4月から1クラブ増設（市内49クラブ） ・放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業及び子ども子育て支援交付金の活用により、支援員等の賃金引上げ分の補助を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策支援事業により、消毒液や感染防止に係る備品代の補助を実施 R4 年度決算額 295,261 千円 R5 年度予算額 340,195 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・R6.4月から2クラブ増設（市内51クラブ） ・子ども子育て支援交付金の活用により、支援員等の賃金引上げ分の補助を継続実施 ・新型コロナウイルス感染症対策支援事業により、医療用抗原検査キット購入等に係る経費の補助を実施 ・支援員の定着や人材確保を図るため、放課後児童健全育成事業の委託料基準単価を国基準額へ引き上げ R5 年度決算額 288,180 千円 R6 年度予算額 400,799 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・R7.4月から1クラブ増設（市内52クラブ） ・子ども子育て支援交付金の活用により、支援員等の賃金引上げ分の補助を継続実施 ・利用者の経済的負担を軽減するため、生活保護受給世帯及び就学援助認定世帯を対象にR7.4月分から利用料の減免を開始 R6 年度決算額 386,190 千円 R7 年度予算額 401,056 千円

事業18: 【新規】送迎用車両安全装置導入支援事業

事業内容	保育所、障害児通所支援事業所、認定こども園等に通う子どもの送迎用バス等への置き去り防止のため、安全装置の装備に必要な経費に対して、補助金を交付する。
担当課	こども未来課、障がい福祉課
取組詳細	○保育所、障害児通所支援事業所、認定こども園等に通う子どもの送迎用バス等への置き去り防止のため、安全装置の装備にかかる費用について、その一部又は全部を補助する。 ○安全装置の装備義務がある送迎用バスを運行している又は運行する予定のある施設及び送迎用バスの台数を調査し把握する。 ○補助要綱を作成、事業者に周知し、交付申請を受け付ける。

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	(こども未来課) ・送迎用バス等の台数を調査実施。(令和5年4月) ・対象事業者に対して早期に取り付けるよう通知。(令和5年4月、5月) ・対象施設: 7 施設 ・対象車両: 18 台 (令和5年8月以降補助手続き予定) (障がい福祉課) ・国の交付要綱が示されていないため、補助金は交付していないが、対象事業所に対して早期に取り付けるよう通知 (令和5年6月) 対象: 児童発達支援事業所 7 事業所 (見込) 放課後等デイサービス事業所 27 事業所 (見込) R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 21,200 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	(こども未来課) ※令和5年度で事業完了 ・市交付要綱制定、周知。(令和5年9月) ・市補助金交付決定 (令和6年2月) ・市補助金交付額確定、取り付け完了。(令和6年3月) ・対象施設: 7 施設 ・対象車両: 18 台 (障がい福祉課) ※令和5年度で事業完了 ・令和5年9月から補助を実施。 交付実績: 児童発達支援事業所 6 事業 放課後等デイサービス事業所 20 事業所 R5 年度決算額 13,736 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業19: 小・中学校整備事業

事業内容	児童・生徒等が安全・安心に過ごせる教育環境を整備するため、学校施設の経年劣化箇所の修繕及び利便性向上のための営繕を行う。
担当課	教育総務課
取組詳細	○小中学校の施設・設備の補修等整備 ○小中学校への冷房設備の設置 ○小中学校防音機能復旧事業（空調設備工事） ○小中学校トイレ改修事業 ○八戸市学校施設照明設備 LED 化事業



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	○小中学校の施設・設備の補修等整備 ・八戸小学校屋内運動場床改修工事（令和4年6月契約）※完了検査済 ・函南小学校防球・防砂ネット改修工事（令和4年7月契約）※完了検査済 ○小中学校への冷房設備の設置 ・小中学校 18 校空調設備（冷房）設置工事（令和4年4月契約）※完了検査済 R3 年度決算額 1,109,201 千円 R4 年度予算額 1,065,320 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○小中学校の施設・設備の補修等整備 ・根城中学校特別教室棟屋上防水改修工事（令和4年9月契約）※完了検査済 ・市立白銀小学校校庭フェンス改修工事（令和5年6月契約）※完了検査済 ・市立多賀台小学校校舎屋上防水工事（令和5年7月契約）※完了検査済 ・市立桔梗野小学校土留め改修工事（令和5年7月契約）※完了検査済 ・市立大館中学校屋内運動場カーテンレール改修工事（令和5年7月契約）※完了検査済 ○小中学校への冷房設備の設置 ・小中学校 19 校空調設備（冷房）設置工事（令和5年4月契約）※完了検査済 ○小中学校防音機能復旧事業（空調設備工事） ・下長小学校防音機能復旧事業（空調設備工事）（令和4年10月契約）※完了検査済 R4 年度決算額 875,419 千円 R5 年度予算額 1,358,158 千円

	3 年目 (R6.7 月 末時点)	○小中学校の施設・設備の補修等整備 ・市立城下小学校校庭改修工事測量設計業務委託（令和 5 年 8 月契約）※完了検査済 ・市立市川中学校排水設備等改修工事（その 2）（令和 5 年 11 月契約）※完了検査済 ・市立白銀中学校校門擁壁築造工事（令和 6 年 2 月契約）※完了検査済 ・市立小中野小学校特別教室棟給水設備改修工事（令和 6 年 1 月契約）※完了検査済 ・市立三条小学校校庭造成測量設計業務委託（令和 6 年 5 月契約）※完了検査済 ○小中学校トイレ改修 ・市立旭ヶ丘小学校校舎トイレ改修工事（令和 6 年 6、7 月契約）※完了検査済 ・市立東中学校校舎トイレ改修工事（令和 6 年 6、7 月契約）※完了検査済 R5 年度決算額 1,108,794 千円 R6 年度予算額 475,948 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○小中学校の施設・設備の補修等整備 ・市立青潮小学校屋内運動場昇降口屋上改修工事（令和 6 年 11 月契約） ※完了検査済 ・市立城下小学校校庭改修工事（令和 6 年 8 月契約）※完了検査済 ・市立多賀小学校校舎屋上防水工事（令和 7 年 7 月契約予定） ・市立八戸小学校暖房設備設置工事（令和 7 年 9 月契約予定） ・市立八戸小学校地下灯油タンク及びボイラー撤去工事（令和 7 年 9 月契約予定） ○小中学校トイレ改修 ・市立長者中学校トイレ改修工事（令和 7 年 7 月契約予定） ・市立東中学校トイレ改修工事（令和 7 年 7 月契約予定） ・市立白銀南中学校トイレ改修工事（令和 7 年 7 月契約予定） ○八戸市学校施設照明設備 LED 化事業（新規） ・八戸市学校施設照明設備 LED 化事業（令和 7 年 9 月契約予定） ※地方自治法第 214 条に基づく債務負担行為（設定期間：令和 8 年～17 年度）。 R6 年度決算額 314,971 千円 R7 年度予算額 584,534 千円 (うち、繰越予算額 69,250 千円)

事業 20: 保育施設等整備事業

事業内容	児童の安全な保育環境の確保、良質かつ効果的な教育及び保育の実施のため、就学前教育・保育施設の整備等に要する費用に対し、補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○八戸市保育所等整備計画（計画期間：平成 30 年度～令和 9 年度）に基づき、老朽化している市内の保育所等の整備などを行う事業者へ経費を補助。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	整備事業完了 1 施設（令和 3 年度からの繰越事業） R3 年度決算額 177,845 千円 R4 年度予算額 502,308 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	整備事業完了 1 施設（令和 4 年度からの繰越事業） R4 年度決算額 334,605 千円 R5 年度予算額 475,453 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	整備事業完了 2 施設（令和 4 年度からの繰越事業 1 施設、 令和 5 年度からの繰越事業 1 施設） 整備中 2 施設（令和 5 年度からの繰越事業 1 施設、当該年度事業 1 施設） R5 年度決算額 367,666 千円 R6 年度予算額 690,908 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	整備事業完了 1 施設（令和 5 年度からの繰越事業 1 施設） 整備中 3 施設（令和 6 年度からの繰越事業 1 施設、当該年度事業 2 施設） R6 年度決算額 138,829 千円 R7 年度予算額 783,780 千円

事業21: 【新規】こどもの国大型複合遊具設置事業

事業内容	こどもの国において、子どもの多様なニーズに対応するため、年齢や障がいの有無に関わらず、すべての子どもが楽しく遊ぶことができるインクルーシブの考えを取り入れた大型複合遊具のある遊び場を整備する。
担当課	公園緑地課
取組詳細	○大型複合遊具がある遊び場の整備（令和9年度全面供用開始予定） ・「インクルーシブゾーン」の整備 インクルーシブの考えを取り入れた遊具を配置した遊び場の整備 ・「アクティブゾーン」の整備 怖そうだけど挑戦してみたいという子どもたちの好奇心をくすぐるような、よりアクティブな遊具を配置した遊び場の整備



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・市議会建設協議会にて事業説明（令和4年5月） ・子どもファースト会議にて事業説明（令和4年6月） R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 67,450千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・工事の実施（令和5年3月一部完了） 「インクルーシブゾーン」の一部：大型複合遊具、樹木移植、造成、ゴムチップ舗装 「アクティブゾーン」の一部：大型複合遊具、ベンチ ・部分供用開始（令和5年4月1日）※令和4年度整備済箇所 R4年度決算額 68,882千円 R5年度予算額 60,050千円
	3年目 (R6.7月末時点)	R5年度実績 ・工事の実施（令和6年3月一部完了） 「インクルーシブゾーン」の一部：サート付3連ブランコ、オムニステアー、ゴムチップ舗装 「アクティブゾーン」の一部：大型複合遊具 ・部分供用開始（令和6年4月1日）※令和5年度までの整備済箇所 R6年度 ・工事発注（令和6年6月）～工事完了予定（令和7年3月） 「アクティブゾーン」の一部：大型複合遊具、ターネット、パーゴラ、縁台、ベンチ R5年度決算額 60,027千円 R6年度予算額 60,050千円
	4年目 (R7.5月末時点)	R6年度実績 ・工事の実施（令和7年3月一部完了） 「アクティブゾーン」の一部：大型複合遊具、ターネット、パーゴラ、縁台、ベンチ ・部分供用開始（令和7年3月29日）※令和6年度までの整備済箇所 R7年度 ・工事発注（令和7年6月）～工事完了予定（令和8年3月） 「インクルーシブゾーン」の一部：ユニットシェルター、縁台、ゴムチップ舗装 「アクティブゾーン」の一部：レールウェイ R6年度決算額 66,022千円 R7年度予算額 53,050千円

事業22: 【新規】子育て情報整備事業

事業内容	子育て情報の取得に係る負担軽減のため、LINE や専用アプリ等を導入・運用し、子育て世代が妊娠期から子育て期に必要な多種多様な情報を手軽かつ効果的に取得できる環境を整備する。
担当課	子育て支援課
取組状況	○子育て情報サイトの運営（平成 27 年 4 月 1 日開設） ○はちすく通信の配信（平成 27 年 4 月 1 日メール配信開始、令和 2 年 11 月 1 日 LINE 配信開始、令和 5 年 3 月 31 日メール配信廃止） ○子育て支援アプリの運用（令和 4 年 8 月 19 日導入） ○子育て支援アプリの機能拡充（令和 5 年 5 月）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 ・内容：子育て支援関連の各種行政サービス情報を集約したウェブサイト ・サイト訪問者数：1,036 人（R4.7 月末時点） ○メール及び LINE により「はちすく通信」を配信 ・内容：子育てに関する行政情報はじめ、親子で楽しめるイベント情報などを定期配信 ・メール登録者数：395 人（R4.7 月末時点） ・LINE 登録者数：1,144 人（R4.7 月末時点） R3 年度決算額 833 千円 R4 年度予算額 1,410 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 ・サイト訪問者数：1,432 人（R5.6 月末時点） ○「はちすく通信 LINE」の配信 ※R5.3.31 でメール配信は廃止 ・登録者数：1,706 人（R5.6 月末時点） ○子育て支援アプリ「子育てアプリ はちも」の運用（R4.8.19～） ・機能：予防接種スケジュール管理、子どもの成長記録、子育てや地域のイベント情報の検索・プッシュ通知、子育て施設検索 等 ・登録者数：2,004 人（R5.6 月末時点） ・機能の追加改修 ①配信希望ジャンルの絞り込み機能の追加・「ひとり親」追加（R5.5 月） ②オンライン予約機能の追加・離乳食教室など（R5.6 月） R4 年度決算額 1,385 千円 R5 年度予算額 2,699 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 ・サイト訪問者数：1,124 人（R6.6 月末時点） ○「はちすく通信 LINE」の配信 ・登録者数：2,227 人（R6.6 月末時点） ○子育て支援アプリ「子育てアプリ はちも」の運用 ・登録者数：2,724 人（R5.6 月末時点） ・配信内容充実のため、アプリ利用者に対し、満足度アンケートを実施（R6.1 月） ※満足とやや満足の回答が 61.4%となった R5 年度決算額 2,589 千円 R6 年度予算額 1,920 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 ・サイト訪問者数：1,017 人 (R7.2 月末時点) ○「はちすく通信 LINE」の配信 ・登録者数：2,601 人 (R7.4 月末時点) ○子育て支援アプリ「子育てアプリ はちも」の運用 ・登録者数：3,207 人 (R7.4 月末時点) R6 年度決算額 1,920 千円 R7 年度予算額 1,991 千円
--	----------------------------------	---

事業23: グリーン・ツーリズム推進事業（再掲）

事業内容	農業観光振興を図るため、三八地方農業観光振興協議会に参画し、関係自治体と連携を図りながら、農家民泊の受入を促進する。
担当課	農業経営振興センター
取組詳細	○三八地方農業観光振興協議会への参画 ○三八地方農業観光振興協議会に対し、負担金を交付 ○八戸市観光農園振興事業補助金の交付 ○八戸圏域ファームステイ事業補助金の交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和4年4月13日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和4年4月21日） ・三八地方農業観光振興協議会負担金 160,000 円の支払い（令和4年5月） R3 年度決算額 410 千円 R4 年度予算額 477 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・令和4年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和4年8月） 交付金額：300,000 円 ・農業体験修学旅行で1校受入れ（令和4年9月2日～7日） ・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和4年11月17日、令和5年2月28日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和5年4月20日） ・令和5年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和5年6月） 交付金額：300,000 円 R4 年度決算額 460 千円 R5 年度予算額 477 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・三八地方農業観光振興協議会負担金 160,000 円の支払い（令和5年8月） ・農業体験修学旅行で2校受入れ（令和5年9月4日～6日、9月25日～27日） ・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和5年12月14日、令和6年3月14日、4月12日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和6年4月18日） ・令和6年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和6年6月） 交付金額：300,000 円 ・三八地方農業観光振興協議会負担金 160,000 円の支払い（令和6年7月） ・八戸圏域ファームステイ事業補助金の交付（令和6年8月予定） R5 年度決算額 460 千円 R6 年度予算額 601 千円

	4 年目 (R7.5月 末時点) ・ 令和 6 年度八戸圏域ファームステイ事業補助金の交付（令和 6 年 8 月～9 月） ・ 農業体験学習で 1 校受入れ（令和 6 年 7 月 2 日～3 日） ・ 農業体験修学旅行で 2 校受入れ（令和 6 年 9 月 4 日～6 日、9 月 24 日～26 日） ・ 三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和 6 年 8 月 6 日、令和 7 年 3 月 6 日、4 月 9 日） ・ 三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和 7 年 4 月 17 日） ・ 三八地方農業観光振興協議会負担金 110,000 円の支払い（令和 7 年 6 月予定） ・ 令和 7 年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和 7 年 6 月予定） 交付金額：300,000 円 ・ 令和 7 年度八戸圏域ファームステイ事業補助金の交付（令和 7 年 8 月予定） R6 年度決算額 567 千円 R7 年度予算額 1,006 千円
--	--

事業24: 【新規】マチナカまるっと1日体験事業(4館連携)

事業内容	中高生の地元への愛着醸成を図るため、市中心街の公共施設で普段の業務を体験したり、自ら企画や実施に携わったりする機会を創出する。
担当課	政策推進課(八戸ポータルミュージアム、美術館、ブックセンター、長根屋内スケート場)
取組詳細	【スタッフ体験】 月 日: 令和6年8月8日(木) 時間: 9時~16時 内 容: 1日かけて4施設の運営業務を行う 募集人員: 中学生6人、高校生6人 【1日体験(はっち)】 月 日: 令和6年8月9日(金) 時間: 9時~16時 内 容: 館長としての業務体験 募集人員: 高校生2人 【1日体験(美術館)】 月 日: 令和6年8月17日(土) 時間: 9時~16時 内 容: 館長としての業務体験 募集人員: 高校生2人



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3年度決算額 千円 R4年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4年度決算額 千円 R5年度予算額 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○体験者の募集(7/9~7/26) 申込人数 【スタッフ体験】 高校生13名(募集人数:6名)、中学生6名 【1日館長】 高校生7名(募集人数:4名) R5年度決算額 0千円 R6年度予算額 0千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○体験の実施 【スタッフ体験】 日時：8 月 8 日(木) 参加人数：中学生 6 名、高校生 6 名 【1 日館長 (はっち)】 日時：8 月 9 日(金) 参加人数：高校生 2 名 【1 日館長 (美術館)】 日時：8 月 17 日(土) 参加人数：高校生 2 名 【R7 スタッフ体験】 八戸ポータルミュージアム、美術館、ブックセンター、長根屋内スケート場において実施予定 (8 月予定) 【1 日館長体験】 八戸ポータルミュージアム、美術館、図書館 (R7 より追加) で実施予定 (8 月予定) R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円
--	-------------------------	--

事業25: 【新規】乳幼児木育等推進事業

事業内容	木育を目的に、乳児及び特定教育・保育施設等に県産材の木製玩具を配付するとともに、幅広い世代に向け、地元木材の利用と普及啓発を促すイベントを実施する。
担当課	農林畜産課
取組詳細	○森林資源 PR イベント“森のみりよく『ぬくもりフェスタ』”の開催 ○幼児施設（幼稚園、保育園、こども園等）に県産材の木製玩具を配付（令和6年9月26日開始） ○令和6年4月2日以降に出生した乳児に青森県産材ひばの「角の丸いつみき」を配付（令和6年8月7日開始）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○森林資源 PR イベント“森のみりよく『ぬくもりフェスタ』”の開催 ・開催日：令和6年7月19日、20日(2日間) ・開催場所：八戸まちなか広場マチニワ ・来場者数：約3,600人 ○幼児施設用つみきの配付 ・配布数：3施設（幼稚園、保育園、こども園のそれぞれ代表園1園ずつ） ・配付日：令和6年7月19日実施の“森のみりよく『ぬくもりフェスタ』”オープニングセレモニー内での配付（その他の113施設への配付は、9月26日配付開始予定） R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 7,800 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○森林資源 PR イベント“森のみりよく『ぬくもりフェスタ』”の開催 ・開催日：令和7年6月21日、22日(2日間) ・開催場所：はちのへポータルミュージアムはっち ○幼児施設用つみき及び木育絵本の配付 ・配付数：113施設 ・配付日：令和7年11月28日配付開始予定 ○乳児への青森県産材ひばの「角の丸いつみき」の配付 ・配付開始：令和6年8月 ・配付対象：1歳の誕生日前のお子さま ・配付方法：八戸市総合健診センターでの『乳児股関節脱臼検診』終了後に配付 ・配付済数：1,155セット R6 年度決算額 3,333 千円 R7 年度予算額 10,281 千円

事業26: 【新規】こどもの声を聴く機会創出事業

事業内容	各課のこども施策に関する調査を実施するため、こども版のモニター制度を創設し、こどもたちの意見を施策に反映できる仕組みをつくる。 また、こどもたちが自由な発想をもって活動・取材しながら、こどものための市ホームページを制作する「こどもまちなかIT部」を創設するとともに、同ページ内において、こどもたちの交流やこどもの意見を聴くための仕組みをつくる。
担当課	こども未来課
取組詳細	○こどもモニター制度（対象：市内小5～高3） ・全庁的に活用できる「こども版のモニター制度（100名程度）」を創設し、各課のこども政策に関する調査（年6回程度）を実施。 ○こどもまちなかIT部（対象：市内中1～高3） ・Web制作や情報発信が好きなこどもを集め、中心市街地を拠点とした「こどもまちなかIT部」を創設し、こどもたちが自由な発想をもって活動・取材しながら、こども版の市ホームページを作成・運用する。 （掲載内容：①こどもたちに関わるもの、②こどもたちが知りたいこと、③こどもの交流フォーム） ※サポート：市、工業大学学生、民間事業者（プロポーザル方式により選定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○こどもモニター制度 ・こどもモニター募集（募集期間：令和6年4月22日～5月10日） ・こどもモニター委嘱状交付式（令和6年5月25日） ・第1回アンケート調査実施 （テーマ：美術館について 実施期間：令和6年6月28日～7月16日） ○こどもまちなかIT部 ・委託事業者選定のための公募型プロポーザル参加者募集 （募集期間：令和6年6月25日～7月12日） ・部員募集（10名程度） （募集期間：令和6年7月22日～8月19日） R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 11,044 千円

	4年目 (R7.5月 末時点)	(令和6年度実績) ○こどもモニター制度 ・第1回アンケート調査実施 (テーマ：美術館について 実施期間：令和6年6月28日～7月16日) ・第2回アンケート調査実施 (テーマ：手話について 実施期間：令和6年8月19日～9月2日) ・第3回アンケート調査実施 (テーマ：本を「読む」「書く」ことについて 実施期間：令和6年9月30日～10月15日) ・第4回アンケート調査実施 (テーマ：はちのへ創生総合戦略の策定に係るアンケート調査 実施期間：令和6年10月18日～10月31日) ・第5回アンケート調査実施 (テーマ：八戸市10大ニュース 実施期間：令和6年11月15日～12月3日) ・第6回アンケート調査実施 (テーマ：八戸市内の遊ぶ場所に関するアンケート 実施期間：令和7年1月20日～2月10日) ○こどもまちなかIT部 ・全13回活動 (①9月22日②9月28日③10月12日④11月10日⑤11月23日⑥12月1日 ⑦12月22日⑧1月11日⑨1月25日⑩2月8日⑪2月22日⑫3月1日⑬3月8日) ・ホームページ完成(令和7年3月8日完成発表会) R6年度決算額 10,813千円 R7年度予算額 11,019千円
--	-----------------------	---

事業27: 【新規】赤ちゃんお出かけ応援事業

事業内容	赤ちゃん連れの家族等が利用しやすい環境を整え、外出に対する負担軽減を図るため、公共施設における環境を整えるほか、こども・子育てにやさしい社会づくりに対する市民・民間企業等への意識啓発を図る。
担当課	こども未来課
取組詳細	○授乳・おむつ交換用テントの貸出 ○授乳・おむつ交換スペースの確保、おむつ用ごみ箱やこども用補助便座の設置



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○市内公共施設における、授乳・おむつ交換等に関する環境改善 ・おむつ廃棄可：8 施設 ・おむつ専用ごみ箱の設置：10 施設 ・こども用補助便座の設置：12 施設 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 255 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○市内公共施設における、授乳・おむつ交換等に関する環境改善 ・おむつ廃棄可：14 施設 ・おむつ専用ごみ箱の設置：17 施設 ・こども用補助便座の設置：15 施設 ・授乳・おむつ替え用赤ちゃんテントの貸出し（令和7年2月23日～）：3 件 R6 年度決算額 215 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業28: 【新規】 こども誰でも通園制度試行的事業

事業内容	全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するため、保護者の就労要件に関わらず、月一定時間利用できる通園制度の試行的事業を実施する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○こども誰でも通園制度試行的事業を実施する施設に対し、こどもを受け入れた時間に応じた経費を補助



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	【実施施設】 4 施設（こばとこども園、中居林こども園、マリアンハウス幼稚園、中居林ふたば園） 【実施開始月】 R6 年 6 月 R5 年度決算額 0 円 R6 年度予算額 17,385 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	【実施施設】 R6 年 10 月～ 青葉こども園、一日市保育園 2 施設追加 R7 年 4 月～ 8 施設（青葉こども園、こばとこども園、一日市保育園、根城こども園、みどりのかぜエデュカーレ、みどりのかぜ北ウィング、マリアンハウス幼稚園、こもれびのもり幼稚園） R6 年度決算額 898 千円 R7 年度予算額 9,600 千円

事業29: 【新規】児童館・児童センターエアコン事業

事業内容	児童が夏季においても安心・安全に過ごす環境を整備するため、冷房設備の追加設置を行う。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○エアコンの設置（令和 6 年 7 月設置予定） ・ 14 箇所の児童館に 28 台の冷房設備を追加設置する。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 0千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・エアコン8台(是川1台,白銀5台,鮫2台) (令和6年7月8日設置完了) ・エアコン9台(松館1台,湊2台,小中野2台,吹上2台,大館2台) (令和6年7月4日設置完了) ・エアコン11台(豊崎2台,三条2台,三条分館2台,南浜1台,中央2台,江陽2台) (令和6年7月5日設置完了) R5年度決算額 0千円 R6年度予算額 28,500千円
	4年目 (R7.5月末時点)	3年目(令和6年7月)で設置完了したため、事業完了 R6年度決算額 16,709千円 R7年度予算額 0千円

事業 30: 【新規】小児慢性特定疾病通院費助成事業

事業内容	県内外の専門的で高度な治療や検査を受けるための通院に係る交通費を助成する。
担当課	すくすく親子健康課
取組詳細	○国が定めた小児慢性特定疾病の医療費助成に伴い、遠方の指定医療機関を受診したときの交通費の一部を距離に応じて年 2 回分助成（令和 6 年度は 10 月から開始のため年 1 回分）。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	小児慢性特定疾病医療費受給者証の更新時期に合わせ令和 6 年 10 月から実施予定。 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 1,000 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	・ A 地域（青森市等）2 件 ・ C 地域（宮城県・山形県・北海道等）17 件 ・ B 地域（岩手県・秋田県等）30 件 ・ D 地域（C より遠方）2 件 合計 51 件 R6 年度決算額 360 千円 R7 年度予算額 2,000 千円

事業31：【新規】新学校給食センター整備事業

事業内容	老朽化した北地区及び東地区給食センターに代わる、新学校給食センターの整備を進める。
担当課	学校教育課
取組詳細	○新学校給食センター整備基本計画に基づき実施。以下計画の概要。 ①北・東センターを統廃合して新センターを整備 ②学校給食衛生管理基準に適合した施設整備 ③美保野小中学校跡地（市有地）を整備用地として選定 ④事業方式：PFI（BT0）方式【民間資金有】 ⑤事業範囲 新センターの設計・建設・厨房機器・維持管理・運営業務 西センターの運営業務 ⑥令和11年度上半期供用開始予定



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・新学校給食センター整備基本計画策定及びPFI導入可能性調査等業務委託契約を締結した。(R6.7.1) ・令和6年度中に提供する給食数、導入する機能、運営方法等の調査・検討を踏まえ、PFI導入可能性調査を実施し、新学校給食センター整備基本計画を策定する。 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 13,750 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・令和7年2月に新学校給食センター整備基本計画を策定。 ・PFI（BT0）方式の実施に向けて、事業者選定のための準備を行う。 R6 年度決算額 13,750 千円 R7 年度予算額 48,523 千円

事業 32: 【新規】アートファーマープロジェクト
(建築ツアーガイド、美術館広報部、(仮称)ものづくり部)

事業内容	展覧会や美術館等を SNS 等で発信するほか、館内にもものづくりができる場所をつくとともに、中心街での中高生の活動場所としての活用を推進する。
担当課	美術館
取組詳細	○美術館の活動に主体的に関わる市民の方を「アートファーマー」と呼び、アーティストと共に行うプロジェクトの他、以下のプロジェクトを中学生以上対象に行う。 ①建築ツアーガイド(既存) 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通してオリジナルガイドを行う。 ②広報部(拡充) 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通して展覧会や美術館等を SNS 等で発信する。 ③(仮称)ものづくり部(拡充) 美術館の中に、ものづくりができる場所をつくとともに、中心街での中高生の活動場所としての活用を推進する。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・建築ツアーガイド 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通してオリジナルガイドを行う。 ガイドスタッフ数 10 名(1 期生) (1)講座開催 4 回(設計者による建築見学会等ほか) (2)ガイド実施 12 日(毎月最終土曜日ほか) R3 年度決算額 20 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・建築ツアーガイド 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通してオリジナルガイドを行う。 ガイドスタッフ数 16 名(1 期生 10 名、2 期生 6 名) (1)講座開催 5 回(弘前れんが倉庫美術館視察研修ほか) (2)ガイド実施 13 日(毎月最終土曜日ほか) R4 年度決算額 2 千円 R5 年度予算額 0 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	①建築ツアーガイド 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通してオリジナルガイドを行う。 ガイドスタッフ数 19名(1期生10名、2期生6名、3期生3名) (1)講座開催 6回(十和田現代美術館視察研修ほか) (2)ガイド実施13日(毎月最終土曜日ほか) (3)建築紹介パンフレット「知りたい!ハチビ!vol.1」発行 ②美術館広報部(拡充) 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通して展覧会や美術館等をSNS等で発信する。 (1)キックオフミーティング 1回 R5年度決算額 390千円 R6年度予算額 1,112千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	①建築ツアーガイド 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通してオリジナルガイドを行う。 ガイドスタッフ数 33名(1期生10名、2期生6名、3期生7名、4期生10人) (1)講座開催 4回(国際芸術センター青森ACAC視察ほか) (2)ガイド実施13日(毎月最終土曜日ほか) (3)建築紹介パンフレット「知りたい!ハチビ!vol.2」発行 ②美術館広報部 美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、実際に体験を通して展覧会や美術館等をSNS等で発信する。 (1)活動 11回(うち2回、講座) (2)アウトプット BeFM出演3回(「美術館広報部 アートファーマーがしゃべってみた!」、展覧会関連本紹介コーナー設置) ③(仮称)ものづくり部(拡充) あそらぼ! ep3 自然と共に (1)アートファーマー参加者数:30名(小学生~) (2)活動実績:キックオフミーティング、活動日18回 (3)フィールドワーク:2回 ※今後の予定 ③ものづくり部 美術館の中に、ものづくりができる場所をつくるとともに、中心街での中高生の活動場所としての活用を推進する。(エンジョイ!ぬり絵DAY、しばやまいぬ・版画の虫の世界「くにゆぎの森3D」、加藤千晶編みものアートワークショップ(仮)) R6年度決算額 1,147千円 R7年度予算額 1,648千円

事業33: つどいの広場事業

事業内容	子育てを支援するため、就学前の乳幼児及びその保護者が交流を図る場所を提供するほか、子育ての相談、情報提供等の援助を行い、子育てへの孤立感、負担感の緩和を図り、安心して子育てをできる環境を整備する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○八戸ポータルミュージアム内において「こどもはっち」を開設し、以下の取組を行う。 ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ⑤豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等の実施 ⑥拠点施設の開設場所を活用した一時預かり事業の実施（令和6年度～） ⑦地域の子育て力を高める取組の実施 A. 高齢者や地域学生との連携 B. 地域団体と協働した伝統文化や習慣・行事等の実施 C. ボランティアの育成等による地域団体の活性化 D. 本事業の利用が難しい家庭への訪問支援（令和6年度～） E. 障がい児と保護者との相互交流と社会参加の促進等 ⑧八戸圏域連携中枢都市圏における連携事業の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点) （令和3年度実績） ○こどもはっちにおいて、下記の取り組みを実施した。 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進（30回開催） ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講座等（54回開催） ・豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等（23回開催） ・地域の子育て力を高める取り組み ・八戸圏域連携中枢都市圏における連携事業の実施 ○開催イベント数 107回 ○利用者数 21,615人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、8月28日～9月30日、3月は事業を縮小して実施した。 R3年度決算額 15,389千円 R4年度予算額 15,140千円
-------------	---

	2 年目 (R5.7月 末時点)	(令和 4 年度実績) ○こどもはっちにおいて、下記の取り組みを実施した。 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (61 回開催) ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講座等 (57 回開催) ・豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等 (24 回開催) ・地域の子育て力を高める取り組み ・八戸圏域連携中枢都市圏における連携事業の実施 ○開催イベント数 142 回 ○利用者数 31,688 人 R4 年度決算額 15,083 千円 R5 年度予算額 15,597 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	(令和 5 年度実績) ○こどもはっちにおいて、下記の取り組みを実施した。 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (62 回開催) ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講座等 (69 回開催) ・豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等 (32 回開催) ・地域の子育て力を高める取組 ・八戸圏域連携中枢都市圏における連携事業の実施 ○開催イベント数 163 回 ○利用者数 39,429 人 R5 年度決算額 15,274 千円 R6 年度予算額 19,451 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	(令和 6 年度実績) ○こどもはっちにおいて、下記の取り組みを実施した。 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (60 回開催) ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・家庭訪問支援事業の実施 (5 回) ・地域子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講座等 (79 回開催) ・豊かな遊びの空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座等 (32 回開催) ・拠点施設の開設場所を活用した一時預かり事業の実施 (118 人) ・地域の子育て力を高める取組 ・八戸圏域連携中枢都市圏における連携事業の実施 ○開催イベント数 175 回 ○利用者数 37,398 人 R6 年度決算額 19,341 千円 R7 年度予算額 19,236 千円

事業34: ファミリーサポートセンター事業

事業内容	地域における子育てを支援するため、育児の援助を必要とする者と育児を援助したい者を組織化し、育児に関する相互援助活動を行う。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○会員（依頼会員・提供会員）の募集・登録、その他の会員組織業務 ○会員同士の相互援助活動の調整等 ○保育所等との連絡システムの整備 ○会員に対する講習会の開催（提供会員養成講習会、提供会員ステップアップ研修会） ○会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会開催（依頼・提供会員合同交流会、提供会員活動報告交流会） ○定期的な広報誌の発行 ○PR 活動の充実



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・登録会員数 648 人 (R4.3 月末現在) (提供会員 251 人、依頼会員 389 人、両方会員 8 人) - うち町村 76 人 (提供会員 31 人、依頼会員 42 人、両方会員 3 人) ・活動件数 941 件 (うち町村 21 件) R3 年度決算額 7,112 千円 R4 年度予算額 7,414 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・登録会員数 649 人 (R5.3 月末現在) (提供会員 239 人、依頼会員 401 人、両方会員 9 人) - うち町村 79 人 (提供会員 32 人、依頼会員 44 人、両方会員 3 人) ・R4 年度活動件数 550 件 (うち町村 23 件) R4 年度決算額 7,112 千円 R5 年度予算額 7,114 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・登録会員数 640 人 (R6.3 月末現在) (提供会員 242 人、依頼会員 388 人、両方会員 10 人) - うち町村 83 人 (提供会員 34 人、依頼会員 46 人、両方会員 3 人) ・R5 年度活動件数 817 件 (うち町村 31 件) ・R6.8 月から提供会員の自家用車使用による送迎活動を新たに開始 R5 年度決算額 6,813 千円 R6 年度予算額 8,099 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	・登録会員数 605 人 (R7.3 月末現在) (提供会員 242 人、依頼会員 354 人、両方会員 9 人) - うち町村 78 人 (提供会員 34 人、依頼会員 41 人、両方会員 3 人) ・R6 年度活動件数 1,034 件 (うち町村 10 件) R6 年度決算額 8,098 千円 R7 年度予算額 7,950 千円

事業 35: 【新規】親子交流支援事業

事業内容	適切な親子交流がこどもの健やかな育ちを確保する上で有意義であることから、親が別居や離婚した後も引き続き子どもが両親のどちらとも関わるができるよう、継続的な親子交流の支援を行う。
担当課	こども家庭相談室
取組詳細	○親子交流の取り決めを行っていて、父母間で合意があり、概ね 15 歳未満のこどもとの親子交流を希望する同居親又は別居親を対象として、親子交流に係る事前相談や日程調整、面会時の引き渡しや付き添い等の支援を行う。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7 月 末時点)	・令和 6 年 6 月 14 日、実施要綱の制定。 ・令和 6 年 7 月 1 日より事業開始。 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 943 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・令和 6 年 8 月 20 日、広報はちのへ（9 月号）事業開始のお知らせ掲載 ・親子交流実施件数：8 件（R7.4 末時点） R6 年度決算額 729 千円 R7 年度予算額 865 千円

事業36：妊産婦アクセス支援事業

事業内容	ハイリスク妊産婦等を支援するため、周産期母子医療センター等で、健診や分娩を必要とする妊婦や赤ちゃんの面会を必要とする産婦に、交通費や宿泊費の一部を助成する。
担当課	すくすく親子健康課
取組詳細	○自宅または里帰り先から遠方の周産期母子医療センター等で、妊婦健診や分娩を必要とする妊婦及び周産期母子医療センターの NICU・GCU に入院する赤ちゃんへの面会を必要とする産婦に、交通費と宿泊費の一部を助成。 ○県外の周産期母子医療センターへの面会の助成は、市単独事業として実施。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	青森県立中央病院 1件 弘前大学医学部附属病院 0件 岩手医科大学附属病院 1件（市単独事業分） R3 年度決算額 312 千円 R4 年度予算額 1,218 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	青森県立中央病院 10件 弘前大学医学部附属病院 1件 岩手医科大学附属病院 2件（市単独事業分） R4 年度決算額 323 千円 R5 年度予算額 1,215 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	青森県立中央病院 3件 弘前大学医学部附属病院 1件 岩手医科大学附属病院ほか県外の病院 4件（市単独事業分） R5 年度決算額 498 千円 R6 年度予算額 1,216 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	青森県立中央病院 6件 弘前大学医学部附属病院 2件 岩手医科大学附属病院 1件（市単独事業分） 宮城県立こども病院 1件（市単独事業分） R6 年度決算額 394 千円 R7 年度予算額 1,016 千円

事業37: 八戸市奨学金制度

事業内容	経済的理由により修学困難な生徒を支援するため、必要な資金の貸与又は給付を行う。
担当課	学校教育課
取組詳細	○八戸市出身の優秀な学生・生徒で経済的理由により就学困難な者に対して、修学に必要な資金を貸与又は給付する。 ○令和6年度に制度のリニューアルを行い、第1種特別奨学金を第2種特別奨学金に統合し、「給付型奨学金」として再編した。また、一般奨学金を「貸与型奨学金」に名称変更した。 ○令和5年度まで採用していた「第1種特別奨学金」は、在学期間中に奉仕活動等を行うことで償還免除。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	給付【第2種特別奨学金】 32,700,000円(98人) 月額20,000円:高校、高専1-3年、月額40,000円:大学、短大、高専4・5年 貸与【第1種特別奨学金】 7,200,000円(6人) 月額100,000円 貸与【一般奨学金】 51,460,000円(123人) 月額20,000円:高校、高専1-3年、月額40,000円:大学、短大、高専4・5年 R3年度決算額 給付 32,700千円 貸与 58,660千円 R4年度予算額 給付 36,720千円 貸与 59,280千円
	2年目 (R5.7月末時点)	給付【第2種特別奨学金】 34,040,000円(101人) 月額20,000円:高校、高専1-3年、月額40,000円:大学、短大、高専4・5年 貸与【第1種特別奨学金】 7,200,000円(6人) 月額100,000円 貸与【一般奨学金】 40,800,000円(96人) 月額20,000円:高校、高専1-3年、月額40,000円:大学、短大、高専4・5年 R4年度決算額 給付 34,040千円 貸与 48,000千円 R5年度予算額 給付 34,800千円 貸与 53,280千円
	3年目 (R6.7月末時点)	給付【第2種特別奨学金】 32,740,000円(97人) 月額20,000円:高校、高専1-3年、月額40,000円:大学、短大、高専4・5年 貸与【第1種特別奨学金】 7,200,000円(6人) 月額100,000円 貸与【一般奨学金】 34,800,000円(78人) 月額20,000円:高校、高専1-3年、月額40,000円:大学、短大、高専4・5年 R5年度決算額 給付 32,740千円 貸与 42,000千円 R6年度予算額 給付 37,680千円 貸与 54,720千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	給付【給付型奨学金】 36,190,000 円 (102 人) 月額 20,000 円：高校、高専 1-3 年、月額 40,000 円：大学、短大、高専 4・5 年 貸与【第 1 種特別奨学金】 9,600,000 円 (8 人) 月額 100,000 円 貸与【貸与型奨学金】 25,920,000 円 (57 人) 月額 20,000 円以内：高校、高専 1-3 年、月額 40,000 円以内：大学、短大、高専 4・5 年 R6 年度決算額 給付 36,190 千円 貸与 35,520 千円 R7 年度予算額 給付 43,680 千円 貸与 36,000 千円
--	-------------------------	--

事業 38: 【新規】 保育施設等物価高騰対策支援事業

事業内容	保育所・幼稚園・認定こども園等の物価高騰下における事業の継続を支援するため、支援金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○食料品価格の物価高騰の影響を受ける事業者の負担を軽減し、安定した事業運営に資することを目的とし、食料の消費者物価指数上昇率を参考に、定員 1 人あたりの影響額（年額）を試算し、定員数に応じて支援金を支給する。 対象施設は保育所、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業、認可外保育施設。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	支給施設数：109 施設（R4 年度分 R5.1.31 支給完了） R4 年度決算額 20,975 千円 R5 年度予算額 21,900 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	支給施設数：110 施設（R5 年度分 R5.9.8 支給完了） 支給施設数：110 施設（R6 年度分 R6.5.31 支給完了） R5 年度決算額 21,862 千円 R6 年度予算額 21,900 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	R7 年度事業の実施なし R6 年度決算額 21,200 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業 39: 【新規】放課後児童クラブ物価高騰対策支援事業

事業内容	放課後児童クラブの物価高騰下における事業の継続を支援するため、支援金を交付する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○放課後児童クラブに物価高騰対策支援金を交付



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・放課後児童クラブ（市内 48 クラブ）に対し、物価高騰対策支援金（1 クラブ当たり 120,000 円）を交付 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 5,760 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・放課後児童クラブ（市内 49 クラブ）に対し、物価高騰対策支援金（1 クラブ当たり 120,000 円）を交付 R4 年度決算額 5,760 千円 R5 年度予算額 5,880 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・放課後児童クラブ（市内 51 クラブ）に対し、物価高騰対策支援金（1 クラブ当たり 120,000 円）を交付 R5 年度決算額 5,880 千円 R6 年度予算額 6,120 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	・令和 6 年度で事業完了 R6 年度決算額 6,120 千円 R7 年度予算額 千円

事業 40: 【新規】母子生活支援施設物価高騰対策支援事業

事業内容	母子生活支援施設の物価高騰下における事業の継続を支援するため、支援金を交付する。
担当課	こども家庭相談室
取組詳細	○エネルギーや食料品等の価格高騰が続く中、国の地方創生臨時交付金を活用して、価格高騰の影響を受けている母子生活支援施設に対し支援金を交付する。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・ R5.7.11、交付要綱制定 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 320 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・ R5.8.3、支援金 32,000 円交付（交付対象施設：1 施設、交付金額：定員 32 人×1 万円） ・ R6.7.3、支援金 32,000 円交付（交付対象施設：1 施設、交付金額：定員 32 人×1 万円） R5 年度決算額 320 千円 R6 年度予算額 320 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	令和 6 年度末で事業終了 R6 年度決算額 320 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業41: 【新規】学校給食食材費高騰対策支援事業

事業内容	物価高騰下において、児童生徒分の給食用食材費の高騰分を市が補填した上で、学校給食の質の維持を図る。
担当課	学校教育課
取組詳細	児童生徒にかかる食材費の高騰分を市が負担する。財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	(令和4年度実績) ○給食費保護者負担 小学校 260 円、中学校 315 円に市負担で物価高騰分を上乗せ。 ○令和4年度の市負担額 小学校 26 円/食×1,458,262 食=37,914,812 円 中学校 32 円/食× 696,108 食=22,275,456 円 合 計 60,190,268 円 R4 年度決算額 60,190 千円 R5 年度予算額 136,000 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	(令和5年度実績) ○給食費保護者負担 小学校 260 円、中学校 315 円に市負担で物価高騰分を上乗せ。 ○令和5年度の市負担額 小学校 39 円/食×2,004,989 食=78,194,571 円 中学校 45 円/食×955,901 食=43,015,545 円 合 計 121,210,116 円 R5 年度決算額 121,210 千円 R6 年度予算額 167,230 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	(令和6年度実績) ○給食費 小学校 315 円、中学校 375 円に増額改定。物価高騰分として増額した小学校 55 円、中学校 60 円を市負担。 ○令和6年度の市負担額 小学校 1,003,370 食 102,950,133 円 中学校 950,346 食 48,097,187 円 合 計 151,047,320 円 (※10月以降の一般世帯児童生徒に対しての市負担は、小学校 52.06 円/食、中学校 37.65 円/食 (県交付金を優先的に活用したため)) R6 年度決算額 151,047 千円 R7 年度予算額 163,760 千円

事業 42: 【新規】学校給食費無償化事業

事業内容	児童生徒に係る学校給食費の保護者負担分について無償化を行う。
担当課	学校教育課
取組詳細	県の学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金を活用し、令和 6 年 10 月 1 日提供分より保護者負担分を市が負担することにより学校給食費無償化を実施。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月 末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2 年目 (R5.7 月 末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3 年目 (R6.7 月 末時点)	R5 年度決算額 千円 R6 年度予算額 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	令和 6 年 10 月 1 日提供分から無償化実施 ○令和 6 年度県交付金充当額 小学校 220,636,000 円 中学校 134,694,000 円 合計 355,330,000 円 R6 年度決算額 355,330 千円 R7 年度予算額 662,816 千円

事業43: 【新規】キッズパークイベント開催事業

事業内容	スケートオフシーズンのアリーナ解氷期間を利用し、これまで開催実績のなかった子ども向けイベントを通じて、普段、当施設を利用しない方に施設の魅力を体感してもらうための、こども向け無料イベントを試行的に開催する。 また、アリーナでのイベント実績を蓄積していくことで、イベント主催者側のアリーナ使用のハードルを下げ、今後のイベント開催に向けた弾みをつけることも同時に目指すもの。
担当課	長根屋内スケート場
取組詳細	○アリーナにエアー遊具、ニュースポーツ体験、幼児向けエリア、ザンボニー（整氷車）乗車体験の各種コーナーを設置。 ○アリーナ外にはフードブースを設置。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	R5 年度決算額 千円 R6 年度予算額 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・2025 年 5 月 キッズパークイベント開催（対象：小学生以下） R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 1,700 千円

事業44: 【新規】天文教育普及イベント開催事業

事業内容	星空を見る機会を創出し、星空に興味をもってもらいきっかけづくりと郷土に対する誇りや愛着の醸成を図る。
担当課	総合教育センター
取組詳細	・観望会や天文教室等のイベントの実施 ・プラネタリウムの上映 ・講演会の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	・「元気な八戸づくり」市民提案制度（市設定テーマ部門）に提案 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・「元気な八戸まちづくり」市民提案制度事業化決定（R6 年度） ・太陽・金星観望会を実施（R7.4 月）→ 参加者数 37 人 ・月・火星・木製観望会を実施（R7.4 月）→ 参加者数 150 人 ・プラネタリウムコンサートの開催（R7.5 月）→ 入場者数 162 人 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 1,472 千円

事業45：【新規】親子関係形成支援事業

事業内容	親子の関係性や発達に応じたこどもとの関わり等の知識や方法を身に着けるための講義等を内容としたトレーニングの実施のほか、保護者同士が情報交換できる場を提供し、親子間における適切な関係性の構築を図る。
担当課	こども家庭相談室
取組詳細	親子の関係性やこどもとの関わり方等に不安を抱えている、幼児期から学齢期（おおむね小学生低学年まで）のこどもを持つ保護者を対象に、講座を実施する。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	R5 年度決算額 千円 R6 年度予算額 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	R7.10～ 講座実施予定 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 380 千円

重点施策 6-2

幼児保育の重要性の認識や職場環境の改善を図り、人材の確保に努めると共に、幼児教育の質の向上に向けた研修体制や小学校との円滑な接続を図るカリキュラムを構築します。

事業 1： 保育士資格等取得支援事業

事業内容	保育人材の確保を図るため、保育士資格等の取得に要した費用の一部助成を行う。
担当課	こども未来課
取組詳細	○保育士資格を取得するために要した受講料等の一部補助を実施 ○幼稚園教諭免許状を取得・更新するために要した受講料等の一部補助を実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	○令和 3 年度幼稚園教諭免許状取得支援事業補助金 対象施設 2 施設 人数 4 名 R3 年度決算額 63 千円 R4 年度予算額 2,285 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	集計期間において実績なし。 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 1,290 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	○令和 5 年度幼稚園教諭免許状取得支援事業補助金 対象施設 3 施設 人数 3 名 R5 年度決算額 131 千円 R6 年度予算額 1,762 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	集計期間において実績なし R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 1,000 千円

事業2：保育士修学資金貸付金事業

事業内容	保育人材の確保を図るため、保育士養成施設に在学しており、将来市内の保育所等で保育士として従事しようとする者に対し、奨学金を貸与する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○市内の保育所等に保育士として勤務する意思のある方を対象に奨学金を貸与(月額4万円)。 ○卒業後1年以内に市内の保育所等に保育士として就学し、引き続き5年以上勤務した場合には、返還免除。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	貸付者数 4人(R3) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:7人) →従事者数 1人(R3) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:6人) ※()内は貸付年度 ※R3年度3人はR4年度卒業予定 R3年度決算額 4,320千円 R4年度予算額 5,280千円
	2年目 (R5.7月末時点)	貸付者数 5人(R4) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:7人、R3:4人) →従事者数 1人(R4) (参考 H30:5人、R元:4人、R2:6人、R3:3人) ※()内は貸付年度 ※R4年度4人はR5年度卒業予定 R4年度決算額 3,840千円 R5年度予算額 5,760千円
	3年目 (R6.7月末時点)	貸付者数 5人(R5) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:7人、R3:4人、R4:5人) →従事者数 1人(R5) (参考 H30:4人、R元:4人、R2:5人、R3:3人、R4:3人) ※()内は貸付年度 ※R5年度4人はR6年度卒業予定 R5年度決算額 4,080千円 R6年度予算額 5,760千円
	4年目 (R7.5月末時点)	貸付者数 4人(R6) (参考(人) H30:5、R元:5、R2:7、R3:4、R4:5、R5:5) →従事者数 0人(R6) (参考(人) H30:3、R元:3、R2:4、R3:2、R4:3、R5:3) ※()内は貸付年度 ※R6年度4人はR7年度卒業予定 R6年度決算額 3,360千円 R7年度予算額 6,240千円

事業3： 幼保小連携推進事業

事業内容	幼保小の連携により、入学時における園児・保護者の不安解消と円滑な接続を図るため、保護者向けパンフレットの配布やオープンスクール、関係機関の各代表による代表者会議等を開催する。
担当課	教育指導課
取組詳細	○幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の各代表、保護者、八戸学院大学短期大学部教授・幼児教育アドバイザーによる代表者会議の実施 ○入学予定幼児の保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布 ○幼保小連携研修講座の開催 ○小学校区を中心とした地区会の開催 ○オープンスクールの開催 ○「幼保小の架け橋プログラム」の作成



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・小学校へオープンスクール対応可能教育活動等のアンケート実施（令和4年5月） ・令和4年度第1回代表者会議の開催（令和4年5月） ・入学予定時の保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布（令和4年6月） ・幼児教育施設及び小学校へ幼保小連携研修講座の周知と参加受付（令和4年7月） R3 年度決算額 131 千円 R4 年度予算額 125 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・幼保小連携研修講座のオンライン開催（令和4年9月） ・幼保小連携推進事業に係るアンケート調査の実施及び結果報告（調査：令和4年12月、報告：令和5年3月） ・令和4年度第2回代表者会議の開催（令和5年2月） ・小学校オープンスクール対応可能教育活動等のアンケート実施（令和5年4月） ・令和5年度第1回代表者会議の開催（令和5年5月） ・幼児教育施設へオープンスクール各学校行事等一覧の配布（令和5年5月） ・幼保小連携担当者連絡協議会の開催（令和5年5月） ・入学予定時の保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布（令和5年6月） ・幼児教育施設及び小学校へ幼保小連携研修講座の周知と参加受付（令和5年7月） R4 年度決算額 120 千円 R5 年度予算額 127 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	・ 幼保小連携研修講座の開催（令和5年8月） ・ 幼保小連携推進事業に係るアンケート調査の実施及び結果報告（調査：令和5年12月、報告：令和6年3月） ・ 令和5年度第2回代表者会議の開催（令和6年2月） ・ 小学校オープンスクール対応可能教育活動等のアンケート実施（令和6年4月） ・ 令和6年度第1回代表者会議の開催（令和6年5月） ・ 幼児教育施設へオープンスクール各学校行事等一覧の配布（令和6年5月） ・ 令和6年度第1回幼保小連携担当者連絡協議会の開催（令和6年5月） ・ 入学予定保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布（令和5年6月） ・ 小学校及び幼児教育施設へ幼保小連携研修講座の周知と参加受付(令和6年7月) ・ 小学校及び幼児教育施設で「幼保小の架け橋プログラム」作成に着手（令和6年7月） R5 年度決算額 110 千円 R6 年度予算額 152 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・ 幼保小連携研修講座の開催（令和6年7月） ・ 幼保小連携推進事業に係るアンケート調査の実施及び結果報告（調査：令和6年12月、報告：令和7年2月） ・ 令和6年度第2回代表者会議の開催（令和7年2月） ・ 小学校オープンスクール対応可能教育活動等のアンケート実施（令和7年4月） ・ 令和7年度第1回代表者会議の開催（令和7年5月） ・ 幼児教育施設へオープンスクール各学校行事等一覧の配布（令和7年5月） ・ 令和7年度第1回幼保小連携担当者連絡協議会の開催（令和7年5月） ・ 入学予定保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布（令和7年6月） ・ 小学校及び幼児教育施設へ幼保小連携研修会の周知と参加受付(令和7年6月) ・ 小学校及び幼児教育施設で「幼保小の架け橋プログラム」作成（令和7年4月） R6 年度決算額 130 千円 R7 年度予算額 202 千円

事業4： 特別支援教育推進事業

事業内容	一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の充実を図るため、小学校・中学校・園への巡回相談や支援体制づくり、保護者・関係機関等の連携に関わる指導助言を行う。
担当課	こども支援センター
取組詳細	○巡回相談の実施 ○保護者・本人・教職員等を支援する教育相談の実施 ○未就学児の発達についての相談・指導の実施 ○学び方支援「ビジョン・トレーニング」や就学に向けた適応支援「リトル」の実施 ○小学校就学に向けた切れ目のない相談体制の整備 ○幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言 ○教育支援委員会の開催・運営 ○専門指導員の増員 ○特別支援教育アドバイザーによる障がい等についての見立てや特別支援学校への接続に関する相談の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・園、小・中学校への巡回相談の実施 370件 (R3.12月～) ・保護者・本人・教職員等を支援する教育相談等の実施 (未就学児を含む全相談件数) 4,391件 (R3.12月～) ・学び方支援「ビジョン・トレーニング」 10回延べ55名参加 (R3.12月～) ・就学に向けた適応支援「リトル」の実施 8回延べ51名参加 (R3.12月～) ・すすく親子健康課と連携し、小学校就学に向けた切れ目のない相談体制を検討 ・幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言の実施 ・教育支援委員会の開催・運営 6回実施 (R3.12月～) ・令和4年度より特別支援教育アドバイザーを配置、及び専門指導員2名を増員 R3 年度決算額 49,450 千円 R4 年度予算額 55,124 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・園、小・中学校への巡回相談の実施 537件 ・保護者・本人・教職員等を支援する教育相談等の実施 (未就学児を含む全相談件数) 3,313件 ・学び方支援「ビジョン・トレーニング」 16回延べ123名参加 ・就学に向けた適応支援「リトル」の実施 15回延べ77名参加 ・すすく親子健康課と連携し、小学校就学に向けた切れ目のない相談体制を検討 ・幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言の実施 ・教育支援委員会の開催・運営 7回実施 R4 年度決算額 54,185 千円 R5 年度予算額 57,171 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	・園、小・中学校への巡回相談の実施 206件(R6.6月末時点) ・保護者・本人・教職員等を支援する教育相談等の実施(未就学児を含む全相談件数) 2,418件(R6.6月末時点) ・学び方支援「ビジョン・トレーニング」 15回延べ78名参加(R6.6月末時点) ・就学に向けた適応支援「リトル」の実施 27回延べ101名参加(R6.6月末時点) ・すすく親子健康課と連携し、小学校就学に向けた切れ目のない相談体制を検討 ・幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言の実施 ・教育支援委員会の開催・運営 6回実施(R6.6月末時点) R5年度決算額 49,041千円 R6年度予算額 58,543千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・園、小・中学校への巡回相談の実施 156件(R7.4月末時点) ・保護者・本人・教職員等を支援する教育相談等の実施(未就学児を含む全相談件数) 5,016件(R7.4月末時点) ・学び方支援「ビジョン・トレーニング」 10回延べ51名参加(R7.4月末時点) ・就学に向けた適応支援「リトル」の実施 12回延べ19名参加(R7.4月末時点) ・すすく親子健康課と連携し、小学校就学に向けた切れ目のない相談体制を検討 ・幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言の実施 ・教育支援委員会の開催・運営 6回実施(R7.4月末時点) R6年度決算額 61,659千円 R7年度予算額 48,227千円

事業5：教職員研修事業

事業内容	教職員の資質能力の向上を図るため、教育公務員特例法に基づく研修を行うとともに、一般市民を対象として、教育課題の解決や教養を高めるための研修を行う。
担当課	総合教育センター
取組詳細	○研修講座の実施 ※研修講座の一部は、幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も受講対象に設定



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・29講座を開催 → 受講者数：延べ1,124人（令和4年度） ・幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も対象とした講座は、3講座開催 → 受講者数 3人（令和4年度） R3 年度決算額 10,260 千円 R4 年度予算額 15,745 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・56講座を開催 → 受講者数：延べ1,937人 ・幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も対象とした講座は、3講座開催 → 受講者数 22人（令和5年度） R4 年度決算額 10,798 千円 R5 年度予算額 16,734 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・63講座を開催 → 受講者数：延べ2,414人 ・幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も対象とした講座は、4講座開催 → 受講者数 119人（令和6年度） R5 年度決算額 10,663 千円 R6 年度予算額 18,904 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・50講座を開催 → 受講者数：延べ1,671人 ・幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も対象とした講座は、7講座開催 → 受講者数 26人（令和6年度） R6 年度決算額 12,224 千円 R7 年度予算額 17,942 千円

重点施策 6-3

学校のプログラミング教育や国際交流事業のさらなる充実を図り、未来の八戸を担う子どもたちの学びを支えます。

事業1：GIGAスクール構想推進事業

事業内容	児童生徒の情報活用能力の育成及び教員のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末の計画的な整備と円滑な運用を推進する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	○GIGAスクール運営支援センターの整備(令和4年5月31日整備完了) ○指導者用コンピュータの整備(令和5年3月31日整備完了) ○学習eポータル整備(令和5年3月31日整備完了) ○GIGAスクールサポーターの配置支援(国庫補助事業廃止により令和5年3月31日配置終了) ○デジタルドリル教材の利活用(継続中) ○職員研修のサポート(継続中) ○児童生徒子ども見守りシステムの整備(令和6年度整備予定)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・指導者用コンピュータ整備(722台)(令和4年度) ・デジタルドリル教材を全小・中学校に整備 整備率100%(令和4年度) ・GIGAスクールサポーター(3名)による学校支援 述べ282校(令和4年度) ・職員研修のサポートは継続的に実施 研修回数20回(令和4年度) ・GIGAスクール運営支援センター開設。各学校からの全ての情報機器に関する問合せをコンタクトセンターへ一本化した。(令和4年度) R3年度決算額 46,910千円 R4年度予算額 90,904千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・GIGAスクール運営支援センターの運営(問合せ件数429件) ・デジタルドリル教材の利用継続(全小・中学校) ・指導者用コンピュータ追加整備(60台) ・学習eポータルによるMEXCBTを利用した全国学力・学習状況調査実施(全中学校) ・学校訪問による教職員への研修において、プログラミング教育等を充実させるための指導・助言を実施(訪問回数22回)。指導・助言の効果については計画訪問等の授業参観にて確認しており、端末導入当初に比べ、プログラミング的思考を働かせるような学習内容が見られている。 R4年度決算額 90,904千円 R5年度予算額 38,008千円(補正含)
	3年目 (R6.7月末時点)	・GIGAスクール運営支援センターの運営(問合せ773件) ・webフィルタリングソフトを試験導入。端末の持ち帰りを推進するための環境整備と利活用の促進を図った。 ・デジタルドリル公費負担廃止 ・GIGAスクール構想に係る研修講座等の開催(初任者研修、中堅教諭等資質向上研修等) ・学校訪問による教職員への研修を実施(6回) R5年度決算額 37,988千円 R6年度予算額 21,237千円

		・初任者研修で MESH を使用したプログラミング教育を実施。（令和 6 年度） ・スクールコンタクトセンターを廃止し、当センターにヘルプデスクを設置。（令和 7 年度）
4 年目 (R7.5 月 末時点)		・web フィルタリングソフトの試験導入を継続。中学校分を予算化。（令和 7 年度） ・学習 e ポータル OPE の廃止に伴い、まなびポケットへ変更。 ・学校訪問による教職員への研修を実施（18 回） ・1 人 1 台端末中学校生徒分の更新約 5,000 台を 12 月末までに完了予定。
		R6 年度決算額 21,375 千円
		R7 年度予算額 142,600 千円

事業2：青少年海外派遣交流事業

事業内容	次代を担う子どもたちの国際的な視野の拡大と国際意識の向上を図るため、八戸市内の中学生の海外派遣や、海外の児童生徒を受け入れ、市長表敬訪問、学校訪問、市内見学等を行う。
担当課	教育指導課
取組詳細	○派遣事業 ・中国、アメリカ、ニューカレドニアに派遣 ○受入事業 ・蘭州市青少年友好交流団来八（ホームステイ、学校訪問など、市長表敬訪問） ・米国ポートランドインターナショナルスクール児童の受入れ（ホームステイ、学校訪問など）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○新型コロナウイルス感染症の影響により派遣事業中止 ○米国ポートランドインターナショナルスクールとのオンライン交流 （令和3年12月9日、令和4年3月9日） R3 年度決算額 50 千円 R4 年度予算額 172 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○新型コロナウイルス感染症の影響により派遣事業中止 ○米国ポートランドインターナショナルスクール受入に向け、準備・調整中 R4 年度決算額 84 千円 R5 年度予算額 171 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○米国（フェデラルウェイ、ポートランド）へ派遣（8泊9日） ○米国ポートランドインターナショナルスクール児童受入（ホームステイ、小学校訪問） ○中国蘭州市生徒受入（中学校訪問） R5 年度決算額 53 千円 R6 年度予算額 22,660 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○米国（フェデラルウェイ、ポートランド）へ派遣（8泊9日） R6 年度決算額 24,652 千円 R7 年度予算額 26,500 千円

事業3：国際理解教育・英語教育推進事業

事業内容	国際理解教育・英語教育の推進を図るため、A L T（外国語指導助手）が、小・中学校における外国語の授業や国際理解教育にかかる授業等を補助する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	○A L Tによる授業の補助の実施 ○直接任用A L Tの増員



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・J E Tプログラム※A L T15名（8月末で18名の予定）、市直接任用A L T2名 ・一人のA L Tが同一中学校区の小・中学校を担当することにより、継続的な指導が可能となり、英語教育の充実を図ることができた。（令和4年度） ・一校当たり平均訪問回数 小学校17日、中学校36日（令和4年度） ・A L T一人当たり平均授業時間数 小学校129時間、中学校71時間（令和4年度） ※J E Tプログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業 R3 年度決算額 95,811 千円 R4 年度予算額 111,176 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・J E Tプログラム※A L T18名（8月末で20名の予定）、市直接任用A L T2名 ・一人のA L Tが同一中学校区の小・中学校を担当することにより、継続的な指導が可能となり、英語教育の充実を図ることができた。（令和5年度） ・一校当たり平均訪問回数 小学校18日、中学校37日（令和5年度） ・A L T一人当たり平均授業時間数 小学校139時間、中学校78時間（令和5年度） ※J E Tプログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業 R4 年度決算額 105,270 千円 R5 年度予算額 117,183 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・J E Tプログラム※A L T20名、市直接任用A L T2名 ・大規模校学区には2名のA L Tが同一中学校区の小・中学校を担当し、別曜日に訪問することで継続的な指導が可能となり、英語教育の充実を図ることができた。 ・一校当たり平均訪問回数 小学校20日、中学校39日（令和6年度） ・A L T一人当たり平均授業時間数 小学校140時間、中学校76時間（令和6年度） ※J E Tプログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業 R5 年度決算額 116,401 千円 R6 年度予算額 124,134 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・J E Tプログラム※A L T20名、市直接任用A L T2名 ・大規模校学区には2名のA L Tが同一中学校区の小・中学校を担当し、別曜日に訪問することで継続的な指導が可能となり、英語教育の充実を図っている。 ※J E Tプログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業 R6 年度決算額 119,667 千円 R7 年度予算額 139,459 千円

事業4：教育の情報化推進事業

事業内容	教員の業務負担軽減を図るため、校務用コンピュータ、保護者との連絡ツール、教育情報ネットワークシステムを整備する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	○校務用コンピュータの整備 ○教育情報ネットワークシステムの整備 ○校務支援システムの整備



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・保護者連絡アプリ「tetoru」の導入により、保護者からの欠席連絡や学校からの連絡配信の利便性が向上した。(R5. 8月～) ・教育委員会用端末更新 (R5. 10月) ・校務用端末のグループウェア「Govatt」の機能拡充により、文書収受機能や検索機能等による校務効率化が図られた。(R6. 2月) ・HENS サーバシステム及び端末更新 (R6. 3月) ・校務用端末を更新。学習者用端末と校務用端末を1台へ統合し、利便性の向上を図った。(R6. 6月～) ・教育の情報化に係る研修講座等の開催 (学校DX研修講座、情報管理研修会 等) R5 年度決算額 183,486 千円 R6 年度予算額 238,611 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・保護者連絡アプリ「tetoru」の保護者加入率が95%以上となり、連絡配信の利便性及び教員の業務負担軽減が図られた。(R7.5月現在) ・センター内の回線工事を行い、研修で校務用端末を使用できる状況を整備した。(R7.1月) ・次世代型校務支援システムの更新を見据え、WGでの話し合いを5回実施。 ・校務用端末認証システムの生体認証を試験的に行うため、2校分を予算化した。 ・文部科学省DX戦略アドバイザーを講師に招いた研修を3回実施。 ・学習用と校務用を1台化した端末整備を完了し、使用におけるサポートを行った。 R6 年度決算額 224,385 千円 R7 年度予算額 227,000 千円

重点施策 6-4

食品関連事業者や関係団体などとの連携の下に、子ども食堂の支援に努めます。

事業1：【新規】子ども食堂支援事業

事業内容	子ども食堂実施団体の連携を強め、地域全体で子どもの見守りを強化するため、広報支援を行うとともに、食材提供者と子ども食堂実施団体のマッチングについて検討する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○食材提供者と子ども食堂実施事業者のマッチングに向けた関係団体との協議 食材提供者と実施団体とのマッチングを課内で実施 ○「子ども食堂」及び「八戸こども宅食おすそわけ便」の広報支援



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	・マッチングに向け、関係団体との協議を実施（2団体） ・「八戸こども宅食おすそわけ便」の広報支援（チラシ配布） ・食材提供者への子ども食堂実施団体の情報提供 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	・食材提供者と実施団体とのマッチングを課内で実施 ・子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便実施団体への後援（令和5年度～） 対象：13 団体 効果：地区公民館の使用料減免や公共施設へのチラシ配架が可能 など ・子ども食堂実施団体に係るアンケート調査の実施（令和5年7月発送） ・今後アンケート結果を踏まえ、広報支援の強化や実施団体のニーズにあった支援を検討 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円

	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・ 食材提供者と実施団体とのマッチングを課内で実施 ・ 子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便実施団体への後援 対象：子ども食堂 1 団体、こども宅食 13 団体 効果：地区公民館の使用料減免や公共施設へのチラシ配架が可能 など ・ 子ども食堂運営団体等への支援策の立案の参考とするため、子ども食堂運営団体と意見交換会を実施（令和 6 年 7 月 1 日、29 日の 2 回） R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 8 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	・ 食材提供者と実施団体とのマッチングを課内で実施 ・ 子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便実施団体への後援 対象：子ども食堂 1 団体、こども宅食 9 団体 ・ 食品関連事業者等と連携した食材無償支援制度の開始（令和 7 年 2 月） 事業者・市・中間支援団体による年間を通じた食材提供のスキームを構築し運用 ・ 子ども食堂支援事業費補助金の開始（令和 7 年 4 月） 新たに子ども食堂を開始する団体に対し、開設に要する経費について 1 団体当たり上限 10 万円を補助 ・ こどもの居場所づくりコーディネート事業開始予定（令和 7 年 10 月） こどもの居場所づくりコーディネーターを配置し、子ども食堂をはじめとしたこどもの居場所同士のネットワーキング、新規開設や運営相談、食材支援のマッチング、企業等に対する支援の働きかけなどを行う事業を委託により実施予定 R6 年度決算額 1 千円 R7 年度予算額 3,500 千円

事業2：【新規】子ども食堂等物価高騰対策支援事業

事業内容	子ども食堂の物価高騰下における事業の継続を支援するため、支援金を交付する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○子ども食堂等の物価高騰対策支援の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・子ども食堂等物価高騰対策特別支援金給付事業の実施(令和5年7月開始) 対 象：子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便実施団体 交付額：1団体当たり6万円 交付実績：子ども食堂6団体、こども宅食6団体 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 1,200 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・子ども食堂等物価高騰対策特別支援金給付事業の実施(令和6年7月開始) 対象：子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便実施団体 交付額 子ども食堂：1団体当たり6万円から上限12万円 こども宅食：1団体当たり6万円 R5 年度決算額 720 千円 R6 年度予算額 1,800 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・子ども食堂等物価高騰対策支援金給付事業の拡充(令和7年4月) 対象：子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便実施団体 交付額 子ども食堂：1団体当たり6万円から上限50万円 こども宅食：1団体当たり5万円または6万円 R6 年度決算額 1,750 千円 R7 年度予算額 4,720 千円

政策 7	多様な市民力を地域の活力に
------	---------------

重点施策 7-1

高校・大学卒業を機に転出した若者・女性に向けた「ふるさとメール便」・「ふるさと情報アプリ」の導入やリモートワーカー等の積極的な受け入れにより、若者・女性の移住促進に取り組めます。

事業 1： 移住・交流促進事業

事業内容	首都圏等からの移住や人材の還流を図るため、移住相談窓口事業の実施や移住相談会への参加、移住ポータルサイトの運営を行う。
担当課	広報統計課
取組詳細	○移住促進パンフレットの作成・配布 ○移住・交流ポータルサイトの運営 ○移住相談窓口の運営 ○移住相談会への参加 ○リモートワーカー等の受け入れに関する情報発信（令和 4 年度から） ・インターネット広告の活用、移住促進動画の制作



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	・八戸市移住 PR パンフレットを作成・配布 (R4. 1. 27) →配布先：青森暮らしサポートセンター、8base、東京事務所、イベント・相談時に配布 ・東北 U・I ターン大相談会参加 (R4. 1. 9 相談者数：14 人) ・八戸都市圏移住セミナー開催 (R4. 3. 6 相談者数：1 人) ・東北移住&つながり大相談会参加 (R4. 7. 24 相談者数：6 人) ・インターネット広告開始 (R4. 7. 19～) ・八戸市移住促進 PR 動画作成 (R4. 7. 29) ・八戸都市圏移住 InstagRam の活用 ・PR イベント配布ノベルティ作成 (トートバック 600 枚) R3 年度決算額 3,757 千円 R4 年度予算額 8,000 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・デリーー東北リクルートラウンジへの出展 (R4. 9. 17 相談者数：2 人) ・ふるさと回帰フェアへの出展 (R4. 9. 25 相談者数：10 人) ・青森県 UI ターン・交流フェアへの出展 (R4. 10. 30 相談者数：28 人) ・青森県冬の暮らしセミナーへの出展 (R5. 1. 29 相談者数：4 人) ・八戸都市圏移住セミナー開催 (R5. 3. 5 相談者数：5 人) ・八戸市移住相談デスクへの出展 (R5. 3. 25 相談者数：4 人) ・インターネット広告実施 (R4. 7～R5. 3) ・八戸市移住 PR パンフレットを改訂 (R5. 7. 28) →配布先：青森暮らしサポートセンター、8base、東京事務所、イベント・相談時に配布 ・東北移住&つながり大相談会 2023 への出展 (R5. 7. 23 相談者数：9 人) ・八戸都市圏移住 Instagram の活用 (フォロワー数 1,044 人) ・PR イベント配布ノベルティ作成 (トートバック 600 枚) R4 年度決算額 7,169 千円 R5 年度予算額 7,010 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	・ふるさと回帰フェアへの出展 (R5.9.17 相談者数：25人) ・令和5年度 青森県 UI ターン・交流フェア (R5.9.24 相談者数：28人) ・八戸都市圏移住セミナー開催 (R5.12.24 相談者数：6人) ・青森県冬の暮らしセミナーへの出展 (R6.1.28 相談者数：7人) ・八戸市移住相談デスクへの出展 (R6.3.23 相談者数：9人) ・八戸都市圏 PR パンフレットを改訂 (R6.7.31) ※配布は8月以降 ・インターネット広告実施 (R5.8～R6.3) ・東北移住&つながり大相談会 2024 への出展 (R6.7.6 相談者数：14人) ・PR イベント配布ノベルティ作成 (トートバック 540 枚) ・八戸都市圏移住 Instagram の活用 (フォロワー数 1,125 人) R5 年度決算額 5,732 千円 R6 年度予算額 8,156 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・JR 八戸駅での帰省時期にあわせたふるさと PR(R6.8.10 ノベルティ配布数 450 部) ・ふるさと回帰フェアへの出展 (R6.9.22 相談者数：10人) ・青森県 UI ターンフェア 2024 への出展 (R6.10.20 相談者数：29人) ・八戸都市圏移住セミナー開催 (R6.11.9 相談者数：1人) ・青森県 UI ターンフェア 2024 冬への出展 (R7.1.26 相談者数：25人) ・八戸市移住相談デスクへの出展 (R7.3.8 相談者数：5人) ・八戸市移住 PR パンフレットを改訂 (R7.7 予定) ※配布は8月以降 ・インターネット広告実施 (R7.8～R8.3 予定) ・東北移住&つながり大相談会 2025 への出展 (R7.7.13 予定) ・PR イベント配布ノベルティ作成 (R7.7 予定 トートバック 540 枚) ※配付は8月以降 ・八戸都市圏移住 Instagram の活用 (フォロワー数 1,174 人) R6 年度決算額 7,362 千円 R7 年度予算額 6,953 千円

事業2： シティプロモーション推進事業

事業内容	定住人口及び交流人口の維持拡大のため、八戸市公式 SNS の活用を中心に、当市の魅力を市内外に発信する。
担当課	広報統計課
取組詳細	○会計年度任用職員（シティプロモーション事務員、映像クリエイター）の配置 ○八戸市公式 SNS の運用 ○小学生スポーツのライブ配信 ○八戸都市圏ファンクラブの運営・情報発信 ○八戸都市圏ファンクラブイベントの開催 ○高校、大学、専門学校の卒業生に対する市公式 SNS 登録の促進、発信内容の充実 ○八戸市出身者・関係者へのメール配信と市公式 SNS の情報発信の連動



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・シティプロモーション事務員、映像クリエイターを配置（各 1 名） ・八戸市公式 SNS 投稿数 Twitter 1,197 件、Facebook 462 件、LINE 446 件、YouTube 62 件 ・小学生スポーツ大会ライブ配信実績 アイスホッケー（令和 3 年 11 月 28 日）、サッカー（令和 4 年 5 月 14 日） ・八戸都市圏ファンクラブ「スクラム 8」（ふるさと情報アプリ）の情報発信 LINE 28 件、LINE 登録者数 2,949 人、ファンクラブ通信記事 4 本 ・卒業生用ポストカード配布 3,985 枚 ・八戸市出身者・関係者へのメール（ふるさとメール便） 配信 1 回、登録者数 約 1,600 人 R3 年度決算額 10,220 千円 R4 年度予算額 12,006 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・シティプロモーション事務員、映像クリエイターを配置（各 1 名） ・八戸市公式 SNS 投稿数 Twitter 1,468 件、Facebook 679 件、LINE 628 件、YouTube 67 件 ・小学生スポーツ大会ライブ配信実績 アイスホッケー（令和 4 年 11 月 13 日）、サッカー（令和 5 年 5 月 13 日） ・八戸都市圏ファンクラブ「スクラム 8」（ふるさと情報アプリ）の情報発信 LINE 47 件、LINE 登録者数 3,441 人、ファンクラブ通信記事 5 本 ・卒業生用ポストカード配布 3,820 枚 ・八戸市出身者・関係者へのメール（ふるさとメール便） 配信 9 回、登録者数 約 1,600 人 R4 年度決算額 9,248 千円 R5 年度予算額 11,150 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	・シティプロモーション事務員、映像クリエイターを配置（各1名） ・八戸市公式 SNS 投稿数 X（旧 Twitter）686 件、Facebook 606 件、LINE 571 件 YouTube 61 件 ・小学生スポーツ大会ライブ配信実績 アイスホッケー（令和5年11月26日） ・八戸都市圏ファンクラブ「スクラム8」（ふるさと情報アプリ）の情報発信 LINE 41 件、LINE 登録者数 3,841 人、ファンクラブ通信記事 7 本 ・卒業生用ポストカード配布 3,740 枚 ・八戸市出身者・関係者へのメール（ふるさとメール便） 配信 9 回、登録者数 約 1,600 人 R5 年度決算額 9,694 千円 R6 年度予算額 11,566 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・シティプロモーション事務員、映像クリエイターを配置（各1名） ・八戸市公式 SNS 投稿数 X（旧 Twitter）559 件、Facebook 556 件、LINE 539 件、YouTube 44 件 ・八戸都市圏ファンクラブ「スクラム8」（ふるさと情報アプリ）の情報発信 LINE 31 件、LINE 登録者数 4070 人、ファンクラブ通信記事 5 本 ・卒業生用ポストカード配布 3,785 枚 ・八戸市出身者・関係者へのメール（ふるさとメール便） 配信 6 回、登録者数 約 1,600 人 R6 年度決算額 11,150 千円 R7 年度予算額 15,123 千円

事業3：【新規】未来へつなぐ！はちのへ若者定着推進事業

事業内容	産業フェアやリクルートフェアのほか、企業学生間のマッチング・インターン支援、UIJ ターン検討者向けの取組を一連で行うことで、地元企業の認知度向上や情報発信力を強化し、地元で育った人材の地元定着や人材還流の促進を図る。
担当課	政策推進課（広報統計課、商工課、産業労政課）
取組詳細	○超帰省応援事業（広報統計課） ○サンフェス HACHINOHE 開催支援事業（商工課） ○はちのへ企業魅力発信×発見フェア開催事業（産業労政課）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	R5 年度決算額 千円 R6 年度予算額 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○人材の地元定着及び人材還流に向けた取組を進めるため、「未来へつなぐ！はちのへ若者定着推進事業」としてパッケージを組み、内閣府の新しい地方経済・生活環境創生交付金（旧：デジタル田園都市国家構想交付金）を活用して事業開始（R7.4から3か年計画）。 （広報統計課） ・当市の将来的な人材還流及び魅力発信力の強化につながるよう、八戸市への超帰省を通じて、八戸市出身者等が友人に八戸市を紹介することで地元への愛着や親しみを再醸成し、八戸市に馴染みがない方も友人を介して八戸市を知る・体験することができる、八戸超帰省応援事業を実施。 ①超帰省クーポンの配布 ②超帰省お試し旅「私のすすめる八戸旅」の実施 ※「超帰省」…友人や同僚を連れて地元へ帰省したり、友人等の帰省についていたりすること。 （商工課） ・若者の地元定着促進及び地場産品・ブランドの地産地消を図ることを目的に、八戸市の産業・企業が持つ魅力や地場産品等をPRするイベントとして、サンフェス HACHINOHE2025 を開催。（9月28日開催予定） （産業労政課） ・市内の高等学校の生徒及び大学等の学生の市内企業の認知度を向上させるため、はちのへ企業魅力発信×発見フェアを開催し市内企業のPR活動をする機会を設ける。（9月13日開催予定） R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 19,977 千円

重点施策 7-2

産業界と教育界の連携を図り教員、生徒、保護者を対象とした地域における産業教育の充実により、大学生や高校生の地元定着を図ります。

事業 1： 八戸産学官連携推進事業

事業内容	若者の地元定着を図るため、八戸産学官連携推進会議を設置し、産学官の各機関が地域の現状や課題を共有し、地域の持続的発展や活性化に向けて取り組む。
担当課	政策推進課（産業労政課、こども未来課）
取組詳細	○市内高等教育機関・八戸商工会議所・八戸市が連携するプラットフォームの運営に参画 ○「八戸産学官連携推進会議」を開催し、「産学官連携による八戸未来創造中長期計画」に掲げる取組の推進や進行管理指標の進捗確認の実施 ○各校共通の講義として、「八戸地域学」を開講（令和4年度から） ○産学官連携による八戸未来創造推進事業（政策推進課、産業労政課、こども未来課）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○八戸産学官連携推進事務局会議の開催（7/19、9/21、11/11、1/13） ○八戸産学官連携推進会議の開催（10/7、2/3） ○八戸地域学 10/24：八戸市 熊谷市長 11/22：八戸工業大学 坂本学長 12/15：八戸商工会議所 塚原副会頭 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○八戸産学官連携推進事務局会議の開催（7/24、10/20、1/30） ○八戸産学官連携推進会議の開催（10/20、2/26） ○八戸地域学 11/2：八戸商工会議所 武輪会頭 11/8：八戸工業高等専門学校 土屋校長 11/16：八戸市民病院 今事業管理者 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円

	3 年目 (R6.7 月 末時点)	○八戸産学官連携推進事業検討部会の開催 (5/21、6/21、7/30) ※今後毎月 1 回開催。 ○産学官の連携を強化し、若者の地元への愛着醸成や地元定着などに向けた取組を進めるため、「産学官連携による八戸未来創造事業」としてパッケージを組み、内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して事業開始 (R6.4~)。 (政策推進課) ・ ニーズ調査の実施 (8 月中旬~9 月下旬予定) ・ 八戸地域学の実施 (10 月~12 月の間に 3 回実施予定) ※講師は調整中) (産業労政課) ・ 「IT 産業集積促進事業」の Hachinohe X-Tech Innovation 事業を参照 (こども未来課) ・ 「こどもの声を聴く機会創出事業」のこどもマチナカ IT 部事業を参照 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 590 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○八戸産学官連携推進事業検討部会の開催 (R6.8/28、10/2、10/29、11/28、12/19、R7.1/24、5/2) ※今後月 1 回程度開催予定。 ○八戸産学官連携推進会議事務局会議の開催 (R6.9/17、R7.1/24) ○八戸産学官連携推進会議の開催 (R6.9/20、R7.2/10) ○市内中小企業・事業所等ニーズ調査の実施 (R6.8~9) ○八戸地域学の開催 R6.11/18 : 八戸学院大学 水野学長 11/25 : 八戸インテリジェントプラザ 松坂所長 12/4 : みちのく国際日本語教育センター 馬場理事長 ○産学官の連携を強化し、若者の地元への愛着醸成や地元定着などに向けた取組を進めるため、「産学官連携による八戸未来創造事業」としてパッケージを組み、内閣府の第 2 世代交付金 (旧デジタル田園都市国家構想交付金) を活用して事業開始 (R6.4~)。 (政策推進課) ・ 八戸若者力形成インターンシップの実施 (R7.8 月中旬~9 月下旬予定) ・ 市内高等教育機関・市内企業 PR イベントの実施 (R7.11 月~12 月予定) ・ 外国人材受入セミナーの実施 (R7.11 月~12 月予定) (産業労政課) ・ 「IT 産業集積促進事業」の Hachinohe X-Tech Innovation 事業を参照 (こども未来課) ・ 「こどもの声を聴く機会創出事業」のこどもマチナカ IT 部事業を参照 R6 年度決算額 5,262 千円 R7 年度予算額 10,150 千円

事業2： 地元企業ファンづくりプロジェクト事業

事業内容	地元企業への理解を高め、若手人材の地元定着を図るため、企業と協力し、小学生から大学生を対象として地元企業を学ぶ機会を創出する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○協力企業をまとめた冊子の作成、学校への配布 ○出前講座・視察見学の斡旋・マッチング



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	・協力企業をまとめた冊子の作成、配布（令和4年6月）…作成28社、配付84校 ・出前講座、視察見学の斡旋・マッチング…4件 R3 年度決算額 37 千円 R4 年度予算額 275 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	・協力企業をまとめた冊子の作成、配布（令和5年5月）…作成29社、配付84校 ・出前講座、視察見学の斡旋・マッチング…11校 R4 年度決算額 52 千円 R5 年度予算額 382 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	・協力企業をまとめた冊子の作成、配布（令和6年4月）…作成32社、配付84校、教育コーディネーター124名 ・小学校・中学校校長会、教育コーディネーター研修会での事業周知 ・出前講座、視察見学の斡旋・マッチング…11件 R5 年度決算額 83 千円 R6 年度予算額 381 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・協力企業をまとめた冊子の作成、配布（令和7年4月）…作成31社、配付118校、教育コーディネーター138名 ・出前講座、視察見学の斡旋・マッチング…10件 R6 年度決算額 154 千円 R7 年度予算額 381 千円

事業3：【新規】高校生による地元企業魅力発見体験事業

事業内容	地元企業の魅力などについて情報発信するため、高校生が地域産業や地元企業の魅力について調査を行ったものを取りまとめ、学校関係者等を対象とした成果発表会を開催する。
担当課	産業労政課
取組詳細	市内高等学校生徒による地元企業等の魅力調査及び成果発表会の実施 《参加者》市内高等学校に通学する生徒 5グループ程度（1グループ3～4人） 《調査対象》市内に事業所を構えている企業 15社程度

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月末時点)	《参加者》市内高等学校に通学する生徒 6グループ（20人） 《調査対象》市内に事業所を構えている企業 16社 《実施内容》 7/24 事前勉強会実施（生徒のみ参加） 7/25 キックオフミーティング実施（生徒・企業参加） 8/4・8/7 調査活動に向けた勉強会実施（生徒のみ参加） 8/8～21 調査活動実施（生徒による企業への訪問・取材） 12/26 成果発表会ミーティング実施（生徒のみ参加） 1/26 成果発表会実施（生徒・企業参加） ※事業終了後、活動状況の様子がわかる記事と写真を掲載した魅力発信資料「e-book」を作成 R4 年度決算額 0千円 R5 年度予算額 3,000千円
	3年目 (R6.7月末時点)	《参加者》市内高等学校に通学する生徒 13グループ（43人） 《調査対象》市内に事業所を構えている企業 26社 《実施内容》 7/24 事前勉強会実施（生徒のみ参加） 7/25 キックオフミーティング実施（生徒・企業参加） 7/29～30 調査活動に向けた勉強会実施（生徒のみ参加） 8/5～21 調査活動実施（生徒による企業への訪問・取材） 12/26 成果発表会ミーティング実施（生徒のみ参加） 1/26 成果発表会実施（生徒・企業参加） ※事業終了後、活動状況の様子がわかる記事と写真を掲載した魅力発信資料「e-book」を作成するとともに、地元紙紙面に採録記事を掲載 R5 年度決算額 2,998千円 R6 年度予算額 4,085千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	令和 7 年度は以下のとおり予定 《参加者》市内高等学校に通学する生徒 8 グループ程度 (3 ~ 4 人/グループ) 《調査対象》市内に事業所を構えている企業 16 社程度 《実施内容》7/25 事前勉強会実施 (生徒のみ参加) 7/28 キックオフミーティング実施 (生徒・企業参加) 7/30・7/31 調査活動に向けた勉強会実施 (生徒のみ参加) 8/4~8/20 調査活動実施 (生徒による企業への訪問・取材) 12/26 成果発表会ミーティング実施 (生徒のみ参加) 1/25 成果発表会実施 (生徒・企業参加) ※事業終了後、活動状況の様子がわかる記事と写真を掲載した魅力発信資料「e-book」を作成するとともに、地元紙紙面に採録記事を掲載 R6 年度決算額 4,084 千円 R7 年度予算額 4,085 千円
--	-------------------------	--

事業4： 地域事業所人材獲得等支援事業

事業内容	八戸圏域内事業所の県内外への情報発信等の強化により、事業所の認知度や採用力の向上を図るため、各種事業を実施する。
担当課	産業労政課
取組詳細	圏域事業所の県内外への情報発信等の強化により、事業所の認知度や採用力を向上のため、各種支援事業を実施する。 ○地元企業人材確保支援事業（採用力向上セミナー及びアドバイザー派遣） ○デーリー東北新聞「保護者向けセミナー採録記事」広告掲載

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点) ○地元企業人材確保支援事業 圏域内企業を対象とし、ポストコロナにおける働き方の多様化を踏まえた人材確保や多様で柔軟な働き方の環境整備に関するセミナーの開催及び個別相談の実施を 実施。 ・セミナー 令和4年10月24日（月）参加：11社13人 令和4年11月28日（月）参加：7社10人 ・個別相談 セミナー参加企業を対象に実施 参加：5社 ○デーリー東北新聞「保護者向けセミナー採録記事」広告掲載 デーリー東北新聞社、八戸商工会議所と連携し、子どものUターン就職を希望する保護者向けセミナーを開催し、採録記事によるUターン就職支援の幅広い情報発信を行う。 ・デーリー東北新聞 令和4年8月30日記事広告掲載 (令和4年8月6日開催「保護者のためのUターンセミナー」の内容を掲載) R3 年度決算額 2,132 千円 R4 年度予算額 4,112 千円
-------------	---

	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○地元企業人材確保支援事業 圏域内企業を対象とし、情報発信力の強化や採用力の向上等に関するセミナーの開催及び個別相談の実施。 ・セミナー 令和5年10月4日（水）参加：20社22人 令和5年10月18日（水）参加：19社20人 ・個別相談 セミナー参加企業を対象に実施 参加：3社 ○デーリー東北新聞「保護者向けセミナー採録記事」広告掲載 デーリー東北新聞社、八戸商工会議所と連携し、子どものUターン就職を希望する保護者向けセミナーを開催し、採録記事によるUターン就職支援の幅広い情報発信を行う。 ・デーリー東北新聞 令和5年9月13日記事広告掲載 (令和5年8月19日開催「保護者のためのUターンセミナー」の内容を掲載) R4 年度決算額 3,783 千円 R5 年度予算額 4,112 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	○地元企業人材確保支援事業 圏域内企業を対象とし、情報発信力の強化や採用力の向上等に関するセミナーの開催及び個別相談の実施。 ・セミナー 令和6年9月27日（金）参加：14社14人 令和6年10月22日（火）参加：16社18人 ・個別相談 セミナー参加企業を対象に実施 参加：3社 ○デーリー東北新聞「保護者向けセミナー採録記事」広告掲載 デーリー東北新聞社、八戸商工会議所と連携し、子どものUターン就職を希望する保護者向けセミナーを開催し、採録記事によるUターン就職支援の幅広い情報発信を行う。 ・デーリー東北新聞 令和6年8月14日記事広告掲載 (令和6年7月21日開催「保護者のためのUターンセミナー」の内容を掲載) R5 年度決算額 3,847 千円 R6 年度予算額 3,890 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	○地元企業人材確保支援事業 圏域内企業を対象とし、情報発信力の強化や採用力の向上等に関するセミナーの開催及び個別相談の実施を実施予定。 ○デーリー東北新聞「保護者向けセミナー採録記事」広告掲載 デーリー東北新聞社、八戸商工会議所と連携し、子どものUターン就職を希望する保護者向けセミナーを開催し、採録記事によるUターン就職支援の幅広い情報発信を行う。 ・令和7年9月13日セミナー開催予定。 (後日、デーリー東北新聞へ記事広告掲載予定) R6 年度決算額 3,850 千円 R7 年度予算額 4,300 千円

事業5：【新規】未来へつなぐ！はちのへ若者定着推進事業（再掲）

事業内容	産業フェアやリクルートフェアのほか、企業学生間のマッチング・インターン支援、UIJ ターン検討者向けの取組を一連で行うことで、地元企業の認知度向上や情報発信力を強化し、地元で育った人材の地元定着や人材還流の促進を図る。
担当課	政策推進課（広報統計課、商工課、産業労政課）
取組詳細	○超帰省応援事業（広報統計課） ○サンフェス HACHINOHE 開催支援事業（商工課） ○はちのへ企業魅力発信×発見フェア開催事業（産業労政課）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	R5 年度決算額 千円 R6 年度予算額 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	○人材の地元定着及び人材還流に向けた取組を進めるため、「未来へつなぐ！はちのへ若者定着推進事業」としてパッケージを組み、内閣府の新しい地方経済・生活環境創生交付金（旧：デジタル田園都市国家構想交付金）を活用して事業開始（R7.4 から3 年計画）。 （広報統計課） ・当市の将来的な人材還流及び魅力発信力の強化につながるよう、八戸市への超帰省を通じて、八戸市出身者等が友人に八戸市を紹介することで地元への愛着や親しみを再醸成し、八戸市に馴染みがない方も友人を介して八戸市を知る・体験することができる、八戸超帰省応援事業を実施。 ①超帰省クーポンの配布 ②超帰省お試し旅「私のすすめる八戸旅」の実施 ※「超帰省」…友人や同僚を連れて地元へ帰省したり、友人等の帰省についていたりすること。 （商工課） ・若者の地元定着促進及び地場産品・ブランドの地産地消を図ることを目的に、八戸市の産業・企業が持つ魅力や地場産品等を PR するイベントとして、サンフェス HACHINOHE2025 を開催。（9 月 28 日開催予定） （産業労政課） ・市内の高等学校の生徒及び大学等の学生の市内企業の認知度を向上させるため、はちのへ企業魅力発信×発見フェアを開催し市内企業の PR 活動をする機会を設ける。（9 月 13 日開催予定） R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 19,977 千円

重点施策 7-3

若者・女性にとって魅力ある街づくりをビジョンに掲げ「(仮称) まちの魅力創生ネットワーク会議」を立ち上げます。

事業1: 【新規】八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業

事業内容	若者や女性にとって魅力あるまちの実現に向け、八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議を設置・運営し、会議からの政策提言に基づき、関係部署と連携を図りながら事業化を検討する。
担当課	政策推進課
取組詳細	○まちの魅力創生ネットワーク会議の設置、運営 ○市長への政策提言の実施 ○提言内容を踏まえ、具体的な事業化に向けて検討



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・付属機関設置条例の改正、まちの魅力創生ネットワーク会議規則の制定 (令和4年4月1日施行) ・まちの魅力創生ネットワーク会議の開催(全6回開催) ・8月29日、市長に提言書を提出 ・提言書を踏まえ、各課で具体的な事業内容を検討 ・10月17日、ネットワーク会議委員と関係課と事業化に向けての意見交換を実施 ・提言に基づき令和5年度に新規・拡充して取り組む事業として13事業を予算化 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 3,000 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・まちの魅力創生ネットワーク会議の開催(全6回開催) ・9月4日、市長に提言書を提出 ・提言書を踏まえ、各課で具体的な事業内容を検討 ・10月24日、ネットワーク会議委員と関係課と事業化に向けての意見交換を実施 ・提言に基づき令和6年度に新規・拡充して取り組む事業として17事業を予算化 R4 年度決算額 3,000 千円 R5 年度予算額 2,901 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・まちの魅力創生ネットワーク会議の開催(全6回開催) ・9月2日、市長に提言書を提出 ・10月22日、ネットワーク会議委員と関係課と事業化に向けての意見交換を実施 ・提言に基づき令和7年度に新規・拡充して取り組む事業として19事業を予算化 R5 年度決算額 1,296 千円 R6 年度予算額 2,995 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・まちの魅力創生ネットワーク会議の開催 →5月末現在2回開催(全8回予定) ・10月2日、市長に提言書を提出予定 ・提言書を踏まえ、関係課において具体的な事業化に向けて検討予定 R6 年度決算額 1,771 千円 R7 年度予算額 2,956 千円

重点施策 7-4

社会人を対象に、資格、技術、技能、専門知識の習得など、地域や企業に役立つ人材を育てるための学びの場として「(仮称) キャリア教育講座」を設置します。

事業 1: 【新規】キャリア教育推進事業

事業内容	社会人を対象に、地域や企業に役立つ人材の育成を図る。また、キャリアアップの啓発や支援するためのセミナーを実施する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○「(仮称) キャリア教育講座」の設置に向けて、令和 4 年度にニーズ調査を実施 ○令和 5 年度にはキャリアアップを啓発するセミナーを 9 月に開催予定。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	・ニーズ調査のアンケートを実施 ・「(仮称) キャリア教育講座」実施内容の検討 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 222 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・キャリアアップを啓発するセミナーを 9 月に開催。(実施回数 1 回、2 時間) ■令和 5 年度キャリア教育推進セミナー 委 託 先 キャリアバンク株式会社 会 場 八戸地域職業訓練センター 概 要 WILL・CAN・MUST の視点で考えるライフ・キャリアセミナー 9 月 11 日 (月) 10:00~12:00 内容：あなたの【WILL】を探しましょう あなたの【CAN】を探しましょう あなたの【MUST】を探しましょう あなたの将来のキャリアをデザインしましょう 出席者数：30 名 R4 年度決算額 26 千円 R5 年度予算額 1,000 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	・キャリアアップを啓発するセミナーを8月7日に開催。(実施回数1回、4時間) ■令和6年度キャリア教育推進セミナー 委託先 キャリアバンク株式会社 会 場 八戸地域職業訓練センター 概 要 地域と企業のためのキャリアアップ 日時：令和6年8月7日(水)13:00~17:00 内容：あなたの【WILL】を探しましょう あなたの【MUST】を探しましょう あなたの【CAN】を探しましょう あなたの将来のキャリアをデザインしましょう 対面受講申込：17名(対面欠席者：2名) アーカイブ視聴：28名(うち両方受講5名) ・対面式セミナーに参加できない方や、対面式セミナー参加後復習したい方向けにアーカイブ視聴(セミナー終了後2週間)が可能である。 ※アーカイブ視聴の際のオンラインデータ通信料は参加者負担。 R5 年度決算額 999 千円 R6 年度予算額 1,500 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・キャリアアップを啓発するセミナーを10月から11月に開催予定。(実施回数1回、4時間) ・対面式セミナーに参加できない方や、対面式セミナー参加後復習したい方向けにアーカイブ視聴(セミナー終了後2週間)が可能である。 ※アーカイブ視聴の際のオンラインデータ通信料は参加者負担。 R6 年度決算額 1,499 千円 R7 年度予算額 1,500 千円

重点施策 7-5

シニア世代の資格や技術・技能・専門知識などのキャリアを活かし、中小企業の人材不足と経営再生を支援するため、人材(スキル)を登録し、マッチングを支援する仕組みづくりに取り組みます。

事業 1： 無料職業紹介事業

事業内容	企業の人材確保と求職者の早期就職を図るため、「八戸市無料職業紹介所」を開設し、求職者への求人情報の提供、職業紹介、就業相談や求人希望する企業の求人登録、紹介を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	○求職者への求人情報の提供、職業紹介、職業相談の実施 ○求人希望する企業の求人登録、紹介



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ作成、配架、市 HP 掲載) ○外部団体との連携等の検討 ・シルバー人材センター等 R3 年度決算額 3,181 千円 R4 年度予算額 3,389 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ配架、市 HP 掲載) ○外部団体との連携等 ・シニア世代求職者へのシルバー人材センター、ネクストキャリアセンターあおもり(45 歳以上の就職支援)等の紹介(チラシ配付) R4 年度決算額 2,681 千円 R5 年度予算額 3,220 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ配架、市 HP 掲載) ○外部団体との連携等 ・シニア世代求職者へのシルバー人材センター、ネクストキャリアセンターあおもり(45 歳以上の就職支援)等の紹介(チラシ配付) R5 年度決算額 2,951 千円 R6 年度予算額 3,712 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ配架、市 HP 掲載) ○外部団体との連携等 ・シニア世代求職者へのシルバー人材センター、ネクストキャリアセンターあおもり(45 歳以上の就職支援)等の紹介(チラシ配付) R6 年度決算額 3,741 千円 R7 年度予算額 4,633 千円

事業2： 求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業

事業内容	圏域内の企業の人材確保と求職者の早期就職を図るため、求人及び求職者に関する情報を集約し発信する無料ウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場(いちば)」を運営する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○求人及び求職者に関する情報の集約・発信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ作成、配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等の検討 ・シルバー人材センター等 R3 年度決算額 746 千円 R4 年度予算額 592 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等 ・シニア世代求職者へのシルバー人材センター、ネクストキャリアセンターあおもり(45歳以上の就職支援)等の紹介(チラシ配付) R4 年度決算額 585 千円 R5 年度予算額 510 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等 ・シニア世代求職者へのシルバー人材センター、ネクストキャリアセンターあおもり(45歳以上の就職支援)等の紹介(チラシ配付) R5 年度決算額 505 千円 R6 年度予算額 510 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等 ・シニア世代求職者へのシルバー人材センター、ネクストキャリアセンターあおもり(45歳以上の就職支援)等の紹介(チラシ配付) R6 年度決算額 505 千円 R7 年度予算額 510 千円

重点施策 7-6

地域の協力を得ながら、高齢者サロン・老人クラブ等の高齢者の生きがいきり活動を支援すると共に、高齢者の社会参加の促進を図ります。

事業 1： 老人クラブ活動支援事業

事業内容	老人クラブの維持・活性化を図るため、市内の老人クラブや老人クラブ連合会への補助事業を行うとともに、老人クラブにおける社会奉仕活動の促進及びクラブ会員の加入促進のための取組を支援する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○老人クラブ補助金の交付 ○老人クラブ連合会補助金の交付 ○社会奉仕活動等促進事業の実施（委託事業）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	(令和 3 年度実績) ○老人クラブ補助金の交付 → 補助金交付老人クラブ数 140 クラブ ○老人クラブ連合会補助金の交付 → 八戸市老人クラブ連合会 ○社会奉仕活動等促進事業の実施 (令和 3 年度実績) →集いの場運営及び地域見守り活動助成：助成金交付クラブ数 20 クラブ →老人クラブ加入促進及び活性化業務：広報誌年 4 回×6,500 部発行、加入促進チラシ 2,000 枚作成、歴史講座 (年 3 回) 開催。 →老人クラブ補助金申請受付等業務：補助金申請書受付、実績報告書受付 R3 年度決算額 11,713 千円 R4 年度予算額 11,624 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	(令和 4 年度実績) ○老人クラブ補助金の交付 → 補助金交付老人クラブ数 137 クラブ ○老人クラブ連合会補助金の交付 → 八戸市老人クラブ連合会 ○社会奉仕活動等促進事業の実施 →集いの場運営及び地域見守り活動助成：助成金交付クラブ数 20 クラブ →老人クラブ加入促進及び活性化業務：広報誌年 4 回×6,500 部発行、加入促進チラシ 2,000 枚作成、モルック体験会 (1 回) 開催。 →老人クラブ補助金申請受付等業務：補助金申請書受付、実績報告書受付 R4 年度決算額 11,350 千円 R5 年度予算額 11,471 千円

	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	(令和 5 年度実績) ○老人クラブ補助金の交付 → 補助金交付老人クラブ数 128 クラブ ○老人クラブ連合会補助金の交付 → 八戸市老人クラブ連合会 ○社会奉仕活動等促進事業の実施 →集いの場運営及び地域見守り活動助成：助成金交付クラブ数 20 クラブ →老人クラブ加入促進及び活性化業務：広報誌年 2 回×6,500 部発行、加入促進 パネル作成、モルック体験会（1 回）開催。 →老人クラブ補助金申請受付等業務：補助金申請書受付、実績報告書受付 R5 年度決算額 10,913 千円 R6 年度予算額 11,044 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	(令和 6 年度実績) ○老人クラブ補助金の交付 → 補助金交付老人クラブ数 121 クラブ ○老人クラブ連合会補助金の交付 → 八戸市老人クラブ連合会 ○社会奉仕活動等促進事業の実施 →集いの場運営及び地域見守り活動助成：助成金交付クラブ数 20 クラブ →老人クラブ加入促進及び活性化業務：広報誌年 2 回×6,500 部発行、モルック 体験会（1 回）開催。 →老人クラブ補助金申請受付等業務：補助金申請書受付、実績報告書受付 R6 年度決算額 10,622 千円 R7 年度予算額 10,701 千円

事業2：高齢者生きがいと健康づくり推進事業

事業内容	高齢者の社会参加の促進と介護予防、自立生活の助長を図るため、三世代交流事業や各種講座、サロンを開催する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○ほっとサロンの開催 ○サロンリーダー研修会の開催 ○三世代交流事業の開催 ○ニュースポーツ講座の開催 ○シニアいきいき講座の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	(令和3年度実績) ○ほっとサロンの開催…66サロンで414回開催、8,113人参加。(9サロン中止) ○サロンリーダー研修会の開催…5回開催、415人参加 ○三世代交流事業の開催…39回開催、500人参加(2か所中止) ○ニュースポーツ講座の開催…3回開催、66人参加 ○シニアいきいき講座の開催…9回開催、193人参加 (新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年8月31日～9月30日及び令和4年1月21日～3月31日まで事業中止。) R3年度決算額 6,521千円 R4年度予算額 6,195千円
	2年目 (R5.7月末時点)	(令和4年度実績) ○ほっとサロンの開催…69サロンで581回開催、10,589人参加。(6サロン中止) ○サロンリーダー研修会の開催…2回開催、365人参加 ○三世代交流事業の開催…38回開催、827人参加(1か所中止) ○ニュースポーツ講座の開催…4回開催、49人参加 ○シニアいきいき講座の開催…15回開催、309人参加 R4年度決算額 6,193千円 R5年度予算額 6,195千円
	3年目 (R6.7月末時点)	(令和5年度実績) ○ほっとサロンの開催…67サロンで695回開催、15,543人参加。(9サロン中止) ○サロンリーダー研修会の開催…4回開催、542人参加 ○三世代交流事業の開催…33回開催、923人参加 ○ニュースポーツ講座の開催…4回開催、83人参加 ○シニアいきいき講座の開催…15回開催、428人参加 R5年度決算額 6,193千円 R6年度予算額 6,195千円
	4年目 (R7.5月末時点)	(令和6年度実績) ○ほっとサロンの開催…68サロンで739回開催、15,682人参加。(10サロン中止) ○サロンリーダー研修会の開催…3回開催、426人参加 ○三世代交流事業の開催…23回開催、1,095人参加 ○ニュースポーツ講座の開催…2回開催、51人参加 ○シニアいきいき講座の開催…13回開催、366人参加 R6年度決算額 6,193千円 R7年度予算額 6,195千円

事業3： 鷗盟大学運営事業

事業内容	高齢者の学習活動の推進と生きがいづくり、仲間づくりの場を提供するため、60歳以上の市民が入学できる2年制の大学を運営する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目の学習を実施 ○クラブ活動、ボランティア活動の実施 ○総合美術展の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	(令和3年度実績) 学生数(令和4年3月31日現在) ・1学年:42名(生活福祉科29名、園芸科13名) ・2学年:70名(生活福祉科52名、園芸科18名) ※各学年とも定員105名 その他 ・総合美術展(令和3年11月20日、21日) ・芸能発表会中止(令和4年1月20日、21日) ・各種クラブ活動あり (新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年8月31日～9月30日及び令和4年1月21日～3月31日まで休校。) ○R4年度 学生数(令和4年4月1日現在) ・1学年:48名(生活福祉科38名、園芸科10名) ・2学年:42名(生活福祉科29名、園芸科13名) R3年度決算額 8,910千円 R4年度予算額 9,000千円
	2年目 (R5.7月末時点)	(令和4年度実績) 学生数(令和5年3月31日現在) ・1学年:48名(生活福祉科38名、園芸科10名) ・2学年:39名(生活福祉科28名、園芸科11名) ※1学年定員80名、2学年定員105名。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度、5年度は定員を暫定的に変更し、学生を募集した。 その他 ・総合美術展(令和4年11月19日、20日) ・芸能発表会(令和5年1月20日) ・各種クラブ活動、ボランティア活動あり ○R5年度 学生数(令和5年4月1日現在) ・1学年:62名(生活福祉科50名、園芸科12名) ・2学年:47名(生活福祉科38名、園芸科9名) R4年度決算額 8,965千円 R5年度予算額 9,000千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	令和5年度実績) 学生数(令和6年3月31日現在) ・1学年:60名(生活福祉科49名、園芸科11名) ・2学年:45名(生活福祉科36名、園芸科9名) ※各学年とも定員80名。感染症拡大防止のため、令和4~6年度は定員を暫定的に変更し、学生を募集した。 その他 ・総合美術展(令和5年11月25日、26日) ・芸能発表会(令和6年1月26日) ・各種クラブ活動、ボランティア活動あり ○R6年度 学生数(令和6年4月1日現在) ・1学年:80名(生活福祉科61名、園芸科19名) ・2学年:60名(生活福祉科49名、園芸科11名) R5年度決算額 8,965千円 R6年度予算額 9,400千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	(令和6年度実績) 学生数(令和7年3月31日現在) ・1学年:75名(生活福祉科57名、園芸科18名) ・2学年:58名(生活福祉科47名、園芸科11名) ※各学年とも定員80名。感染症拡大防止のため、令和4~6年度は定員を暫定的に変更し、学生を募集した。 その他 ・総合美術展(令和6年11月23日、24日) ・芸能発表会(令和7年1月24日) ・各種クラブ活動、ボランティア活動あり ○R7年度 学生数(令和7年4月1日現在) ・1学年:80名(生活福祉科58名、園芸科22名) ・2学年:75名(生活福祉科57名、園芸科18名) R6年度決算額 9,350千円 R7年度予算額 9,550千円

事業4： シニアはつらつポイント事業

事業内容	高齢者のボランティア参加を促進するため、高齢者が介護施設等で行ったボランティア活動に対し、商品券や寄附ができるポイントを付与する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○シニアはつらつポイントの付与 ○研修会、スキルアップ講習会の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は事業中止。 R3 年度決算額 20 千円 R4 年度予算額 3,184 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	(令和4年度実績) ・シニアはつらつポイント事業の再開(令和4年5月から) ・ボランティア活動再開(令和4年7月から) ・事業再開説明会の開催 →1回開催 43名参加 ・研修会&研修会の開催 →3回開催 26名参加 ・スキルアップ講習会の開催→1回開催 27名参加 ・会員登録者数 147名(うち活動実人数 5名) ・ポイント活用人数 2名 R4 年度決算額 2,176 千円 R5 年度予算額 3,176 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	(令和5年度実績) ・研修会&研修会の開催 →3回開催 24名参加 ・スキルアップ講習会の開催→2回開催 31名参加 ・会員登録者数 106名(うち活動実人数 23名) ・ポイント活用人数 11名 R5 年度決算額 2,405 千円 R6 年度予算額 3,150 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	(令和6年度実績) ・研修会&研修会の開催 →3回開催 30名参加 ・スキルアップ講習会の開催→2回開催 40名参加 ・会員登録者数 128名(うち活動実人数 37名) ・ポイント活用人数 22名 R6 年度決算額 2,457 千円 R7 年度予算額 3,150 千円

政策 8	暮らしやすく人に優しいまちづくり
------	------------------

重点施策 8-1

地域の活力を維持するために「コンパクト&ネットワーク」の街づくりを推進すると共に、地域らしさを創出するための協働のまちづくりを推進します。

事業 1： 「地域の底力」実践プロジェクト促進事業

事業内容	地域活動の全市的な推進及び特色ある地域コミュニティの振興を図るため、地域の人材、歴史、文化、伝統、自然などの地域資源を活用し、課題解決や活性化に向けて主体的に取り組む地域を支援する。※2 カ年事業
担当課	市民連携推進課
取組詳細	【1 年目】 ① 取組地域を公募し採択 ② 地域住民等とプロジェクトの内容や方向性を共有するための「結集会議」を開催 ③ 具体的な実践内容を検討するための「プロジェクトチーム」を結成し、会議を開催 【2 年目】 ④ 実践に必要な資金を支援するため実施経費に対して補助金を交付 ⑤ 今後の地域活動に活かすための「事業の振り返り」を実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・ 令和 4 年度新規取組地域の採択（根城地域） ・ 結集会議の開催 下 長：令和 3 年 12 月 2 日 参加者 48 名 白銀南：令和 4 年 4 月 15 日 参加者 52 名 ・ プロジェクト会議および準備会議への参加 下長：5 回、白銀南：3 回、上長：3 回 ・ プロジェクト実践に伴う補助金の交付 白銀南：500 千円 R3 年度決算額 1,970 千円 R4 年度予算額 2,189 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・ 結集会議の開催 上長：令和 4 年 9 月 27 日 参加者 51 名 根城：令和 4 年 11 月 25 日 参加者 47 名 ・ プロジェクト会議および準備会議への参加 下長：12 回、白銀南：8 回、上長：9 回、根城 14 回 ・ プロジェクト実践に伴う補助金の交付 根城：500 千円 R4 年度決算額 940 千円 R5 年度予算額 2,180 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	・令和5年度新規取組地域の採択（R5.9月3地域：鮫、白銀、長者） ・結集会議の開催 ①鮫：令和5年11月29日 参加者54名 ②白銀：令和6年2月7日 参加者61名 ③長者：令和6年2月25日 参加者51名 ・プロジェクト会議および準備会議への参加 - 下長：11回、上長：4回、根城6回、鮫：11回、白銀6回、長者9回 ・プロジェクト実践に伴う補助金の交付 - 下長443千円、上長：384千円、鮫353千円、白銀500千円、長者381千円 R5年度決算額 1,810千円 R6年度予算額 2,180千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・令和6年度新規取組地域の採択（R6.9月3地域：町畑、島守、類家） ・結集会議の開催 ①町畑：令和6年7月8日市長との公民館での開催により省略 ②島守：令和6年11月19日市長との公民館での開催により省略 ③類家：令和7年1月15日市長との公民館での開催により省略 ・プロジェクト会議および準備会議への参加 - 鮫：14回、長者：2回、白銀：2回、町畑：7回、島守6回 ・プロジェクト実践に伴う補助金の交付 - 町畑、島守、類家地区に交付予定 ・令和7年度新規取組地域の採択（R7.9月以降に3地域予定） R6年度決算額 1,671千円 R7年度予算額 2,180千円

事業2：協働のまちづくり研修会の開催事業

事業内容	市民の協働のまちづくりへの積極的な参加を促進するため、意識啓発や市民活動等の実践に役立つ研修会を開催する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	社会課題の変化や市民ニーズの多様化、地域課題の複雑化・高度化を受けて重要視されている、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、市民へ協働についての理念普及・意識啓発を図る目的で行う。 外部から講師を招き、町内会長や市民活動者、地域コミュニティ活動者を対象として行う。 令和3年度から、八戸市市民活動サポートセンター わいぐへの委託による「八戸圏域住民活動促進事業」として開催。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	【開催概要】 第28回 令和3年度協働のまちづくり研修会 「会えない時代の協働のまちづくり～現場から見た今とこれから～」の開催 日時：令和3年11月20日（土）13：30～15：00 講師：NPO法人いわてNPO-NETサポート 事務局長 菊池 広人 氏 開催方法：Zoomによるオンライン開催 【成果】 参加者：22名 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月末時点)	【開催概要】 第29回 令和4年度協働のまちづくり研修会 「『何かやってみたい』が生まれる、『やってみたい』が応援される地域とは～多様なチャレンジの創出がこれからのまちづくりのカギとなる～」の開催 日時：令和4年10月1日（土）13：30～15：30 講師：NPO法人いわてNPO-NETサポート 事務局長 菊池 広人 氏 開催場所：八戸ポータルミュージアム はっち 2階 シアター2 【成果】 アンケート満足度：94.3%（研修内容について「大変良い」「良い」と回答した割合） 参加者：38名 R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 0千円
	3年目 (R6.7月末時点)	【開催概要】 第30回 令和5年度協働のまちづくり研修会 「若者が参加したくなる活動のつくり方 ～世代を超え、みんなと共にまちづくり～」 日時：令和5年8月27日（日）13：30～15：40 講師：NPO法人わかものまち 代表理事 土肥 潤也 氏 開催場所：八戸ポータルミュージアム はっち 2階 シアター2 【成果】 アンケート満足度：90%（研修内容について「大変良い」「良い」と回答した割合） 参加者：30名 R5年度決算額 千円 R6年度予算額 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	【開催概要】 第 31 回 令和 6 年度協働のまちづくり研修会 「多世代共創のためのダイアログを体験しよう！」 日時：令和 6 年 10 月 5 日（土）13：30～16：00 講師：株式会社ばとん 遠藤 智栄 氏 開催場所：八戸ポータルミュージアム はっち 2 階 シアター2 【成果】 アンケート満足度：92.6%（研修内容について「大変良い」「良い」と回答した割合） 参加者：31 名 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円
--	-------------------------	---

事業3：協働のまちづくり職員研修事業

事業内容	職員の協働のまちづくりに対する理解促進と協働の取組を浸透させるため、職員向けの研修を実施する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	○協働のまちづくりに関連するテーマで階層別研修における講義を行う。

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○主事級職員第二部研修において講義を実施 (R4.1.17) ・テーマ：協働のまちづくりについて ・講師：市民協働 GL R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○新採用職員後期研修において講義を実施 (R4.10.4) ・テーマ：地域連携について ・講師：地域連携 GL ○主事級職員第二部研修において講義を実施 (R5.1.18) ・テーマ：協働のまちづくりについて ・講師：市民協働 GL R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○新採用職員後期研修において講義を実施 (R5.10.5) ・テーマ：地域連携について ・講師：地域連携 GL ○主事級職員第二部研修において講義を実施 (R6.1.16) ・テーマ：協働のまちづくりについて ・講師：市民協働 GL ○（参考）外部講師を招いた職員研修を実施予定 (R6.8.30) ・演題：SOUNDカードを活用したファシリテーション研修 ・講師：青森大学社会学部教授 佐藤 淳 氏 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 108 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○新採用職員後期研修において講義を実施 (R6.10.3) ・テーマ：地域連携について ・講師：地域連携 G 員 ○主事級キャリアアップ研修（旧主事級職員第二部研修）において講義を実施 (R7.1.16) ・テーマ：協働のまちづくりについて ・講師：市民協働 GL ○（参考）外部講師を招いた職員研修を実施予定 (R7.8.29) ・演題：未定（「協働のまちづくり」の理念習得に関する内容） ・講師：青森大学社会学部 准教授 石井 重成 氏 R6 年度決算額 84 千円 R7 年度予算額 186 千円

事業4：「元気な八戸づくり」市民提案制度事業

事業内容	市民と行政が協働して取り組むことにより相乗効果が期待できる政策に係る事業化促進の仕組みづくりのため、市民提案制度を実施する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	○市民活動団体や地域コミュニティ活動団体、事業者から、市民と行政が協働して取り組むことにより相乗効果が期待できる事業提案を募集する。採択された事業を提案者と協力して実施する。 ○市民や職員の当制度への理解促進のため周知に努める。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○企画提案の募集（R3年10月採択）1件 ・「市設定テーマ部門」応募なし ・「自由提案部門」事業名：島守地区助け合い輸送事業（提案者：島守地区自治会連合会） ○事業の実施（R3年度採択→R4年度実施） ・事業名：島守地区助け合い輸送事業 ・予算額：1,600,000円（都市政策課・交付金） ○R3年度実施事業活動成果報告（R4.7.9）→該当なし R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○企画提案の募集（R4年10月採択）0件 ・「市設定テーマ部門」「自由提案部門」応募なし ○事業の実施（R4年度採択→R5年度実施） ・該当なし ○R4年度実施事業活動成果報告（R5.7.1） ・事業名：島守地区助け合い輸送事業 ・決算額：1,569,000円（都市政策課・交付金） R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 0千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	○企画提案の募集（R5 年 10 月採択）2 件 ・「市設定テーマ部門」 事業名：「本のまち八戸」魅力創出イベント事業（提案者：一般社団法人八戸市読書団体連合会） ・「自由提案部門」 事業名：共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業（提案者：八戸歴史文化発信事業実行委員会） ○事業の実施（R5 年度採択→R6 年度実施） ・事業名：「本のまち八戸」魅力創出イベント事業 予算額：3,550,000 円（文化創造推進課八戸ブックセンター） ・事業名：共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業 予算額：2,891,000 千円（美術館・委託料） ○R5 年度実施事業活動成果報告（R6.7.6）→該当なし R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	○企画提案の募集（R6 年 10 月採択）1 件 ・「市設定テーマ部門」 事業名：東北で最も星が輝く街「はちのへ」の星空で学ぼうイベント事業（提案者：八戸天文同好会） ・「自由提案部門」応募なし ○事業の実施（R6 年度採択→R7 年度実施） ・事業名：東北で最も星が輝く街「はちのへ」の星空で学ぼうイベント事業 予算額：1,472,000 円（教育委員会 総合教育センター） ○R6 年度実施事業活動成果報告（R7.7.5） ・事業名：「本のまち八戸」魅力創出イベント事業 決算額：2,030,578 円（文化創造推進課 八戸ブックセンター） ・事業名：共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業 決算額：2,890,800 円（美術館・委託料） R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業5：「元気な八戸づくり」市民奨励金事業

事業内容	市民主体のまちづくり活動の活性化を図るとともに、重要な協働のパートナーでもある市民活動団体等の行う公益性のあるまちづくり活動を支援するため、奨励金制度を実施する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	○前年度の奨励金交付事業について活動成果発表会を開催する。 ○当該年度に企画提案のあった事業について、公開ヒアリング審査会を実施し、交付決定となった団体に奨励金を交付する。 ○次年度に市民活動団体や地域コミュニティ活動団体が取り組む、自主的な公益性のあるまちづくり活動に関する企画案を募集する。

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○令和3年度奨励金事業活動成果発表会 (R4.7.9) ・9団体 交付確定額：2,119,000円 ○令和4年度奨励金事業募集・交付関係 ・R3.12.21 奨励金制度説明会を実施 4件応募 ・R4.4.23 公開ヒアリング審査会の開催 3件採択 ・交付件数：3団体（初動期支援0件、若者支援0件、まちづくり支援3件） ・交付決定額：716,000円 R3年度決算額 2,605千円 R4年度予算額 3,175千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○令和4年度奨励金事業活動成果発表会 (R5.7.1) ・3団体 交付確定額：686,000円 ○令和5年度奨励金事業募集・交付関係 ・R4.12.18・21 奨励金制度説明会を実施 6件応募 ・R5.4.22 公開ヒアリング審査会の開催 6件採択 ・交付件数：6団体（初動期支援2件、若者支援2件、まちづくり支援2件） ・交付決定額：1,091,000円 R4年度決算額 1,212千円 R5年度予算額 3,174千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○令和5年度奨励金事業活動成果発表会 (R5.7.1) ・6団体 交付確定額：872,000円 ○令和6年度奨励金事業募集・交付関係 ・R5.12.17・21 奨励金制度説明会を実施 7件応募 ・R6.4.20 公開ヒアリング審査会の開催 7件採択 ・交付件数：7団体（初動期支援3件、若者支援0件、まちづくり支援4件） ・交付決定額：2,188,000円 ○（参考）令和6年度奨励金事業募集関係 ・R6.12月 奨励金制度説明会を実施予定 R5年度決算額 1,035千円 R6年度予算額 2,850千円

	4 年目 (R7.5月 末時点)	○令和 6 年度奨励金事業活動成果発表会 (R6.7.1) ・奨励金 7 団体 交付確定額：1,912,000 円 ○令和 7 年度奨励金事業募集・交付関係 ・R6.12.17・21 奨励金制度説明会を実施 16 件応募 ・R7.4.26 公開ヒアリング審査会の開催 11 件採択 ・交付件数：11 団体（初動期支援 4 件、若者支援 0 件、まちづくり支援 7 件） ・交付決定額：2,912,000 円 ○（参考）令和 8 年度奨励金事業募集関係 ・R7.12 月 奨励金制度説明会を実施予定 R6 年度決算額 2,149 千円 R7 年度予算額 3,248 千円
--	---------------------------------	--

事業 6： 八戸市立地適正化計画改定事業

事業内容	安全なまちづくりを推進するため、八戸市立地適正化計画に「防災指針」を位置付けるとともに、新たな地域公共交通計画との連動を図るため、計画の見直しを行う。
担当課	都市政策課
取組詳細	○都市計画基礎調査の実施 ○都市計画基礎調査の調査結果や各種統計データを基に分析・評価 ○地域公共交通計画との調整



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	・都市計画基礎調査業務委託契約の締結（令和 4 年 6 月） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 31,000 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	・八戸市立地適正化計画改定業務委託契約の締結（令和 5 年 4 月） R4 年度決算額 27,500 千円 R5 年度予算額 11,000 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	・八戸市立地適正化計画の改定（令和 6 年 3 月） R5 年度決算額 11,000 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	R6 年度決算額 千円 R7 年度予算額 千円

事業7： 売市第三地区土地区画整理事業(代替整備計画)

事業内容	土地区画整理事業の長期末着手となっている売市第三地区において、現状にあわせた代替整備計画を検討し、コンパクト&ネットワークの街づくりを推進するとともに、人に優しい街づくりを実施する。
担当課	都市政策課
取組詳細	○都市計画道路沿線の土地利用についての検討及び説明会の実施 ○庁内関係課と調整、検討状況の共有及び精査 ○地元協議会との意見交換会を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・市議会建設協議会に対し、土地区画整理事業に拘らず都市計画道路や幅員4m未満道路の拡幅、下水道等を個別に整備する代替整備計画の検討を進める方針を報告(令和4年2月) R3 年度決算額 3,470 千円 R4 年度予算額 3,792 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・青森県に対して売市第三地区土地区画整理事業の代替整備計画調査及び整備への支援について令和5年度重点事業要望(令和4年10月) ・地権者に対し、令和7年度の都市計画手続き実施を目標として、各種検討を進める旨を売市第三だよりで報告(令和5年3月) ・国土交通省所管国庫補助金の内示(令和5年3月) R4 年度決算額 3,515 千円 R5 年度予算額 21,792 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・青森県に対して売市第三地区土地区画整理事業の代替整備計画調査及び整備への支援について令和6年度重点事業要望(令和5年10月) ・都市計画道路3・4・9城下中居林線に係る測量設計及び地質調査を実施のうえ、設計(案)を権利者へ説明(令和6年1~2月) ・地区内の狭あい道路や私道等を含む生活道路について、現況の道路を極力活用した生活道路整備計画(案)を権利者に説明(令和6年7月) R5 年度決算額 21,244 千円 R6 年度予算額 13,778 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・都市計画道路3・4・9城下中居林線及び都市計画道路3・4・20売市烏沢線の測量設計を実施し、これらの設計(案)と生活道路の整備計画(案)を併せた土地区画整理事業の代替整備計画図となる地区整備計画図(案)を作成 ・地区整備計画図(案)及び令和7年度に予定している都市計画変更について所有者説明会を実施(令和7年1月) R6 年度決算額 11,190 千円 R7 年度予算額 12,913 千円(うち R6 からの繰越額 2,144 千円)

事業 8： 【新規】 民間路線バス運転手等確保維持補助金事業

事業内容	運転手を確保・維持し、地域住民及び観光客の移動手段としての地域公共交通の維持を図るため、民間路線バス事業者の物価高騰に対応した賃上げを支援する。
担当課	政策推進課
取組詳細	燃料価格高騰や全国的な運転手不足による人件費の増大等、経営に関する経費が増大しているものの、国による認可制度等によって容易に価格転嫁することが難しい路線バス事業者に対し、運転手の処遇改善のため賃上げを支援して経営に及ぼす影響を緩和することで、地域住民及び来訪者の足を確保し、地域公共交通を維持する。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・ 補助金交付要綱制定（令和 6 年 5 月） ・ 民間路線バス事業者への補助金交付 ・ 岩手県北自動車(株)：交付額 9,211,000 円 ・ 十和田観光電鉄(株)：交付額 568,000 円 【補助対象経費】 令和 4 年度と令和 5 年度の市区域内の運行に関わる運転手の人件費を比較し、令和 5 年度において増額した人件費に、令和 5 年度路線バス事業において全運行距離のうち市区域内の運行割合を乗じた額。 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 15,500 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	・ 補助金交付要綱制定（令和 7 年 4 月） ・ 現在はバス事業者において申請書を作成中 【補助対象経費】 令和 4 年度と令和 6 年度の市区域内の運行に関わる運転手の人件費を比較し、令和 6 年度において増額した人件費に、令和 6 年度路線バス事業において全運行距離のうち市区域内の運行割合を乗じた額。 R6 年度決算額 9,779 千円 R7 年度予算額 18,736 千円

事業 9： 【新規】市営バス運転手確保対策事業

事業内容	運転手の確保を図るため、大型自動車第二種免許取得費用の助成・貸付制度を実施する。
担当課	交通部
取組詳細	○大型二種免許未所有の交通部バス運転士採用試験受験者を対象とする。 ○採用試験第一次審査（書類審査、面接）を合格した後、大型二種免許を取得、第二次審査（実技試験）を合格・採用になった者を対象に、大型二種免許取得費用を助成する。上限 50 万円。平成 29 年度創設。 ○採用試験第一次審査に合格した者を対象に、大型二種免許取得費用を無利子で貸付けする。上限 50 万円。令和 6 年度創設。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	給付 7 人 (新規 1 人) R3 年度決算額 325 千円 R4 年度予算額 313 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	給付 6 人 R4 年度決算額 313 千円 R5 年度予算額 250 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・令和 6 年 4 月、大型二種免許取得費用助成の年齢条件を 56 歳未満に、助成額上限を 50 万円に拡大 ・令和 6 年 4 月、採用試験第一次審査合格者を対象に、大型二種免許取得費用を無利子で貸付けする大型二種免許取得費用貸付を開始、年齢条件を 56 歳未満、貸付額上限を 50 万円に設定 給付 5 人（新規 2 人） 貸付 0 人 R5 年度決算額 250 千円 R6 年度予算額 2,050 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	給付 7 人（新規 3 人） 貸付 0 人 R6 年度決算額 376 千円 R7 年度予算額 2,051 千円

事業10：【新規】八戸市連合町内会活動活性化交付金事業

事業内容	町内の担い手育成等、地域課題の解決に主体的に取り組む連合町内会を支援するため、交付金制度を実施する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	交付対象となる活動を行う連合町内会に対し、交付金を交付する。令和6年度開始。 【交付対象事業】 （令和6年度） ・町内会加入促進活動 ・広報活動 ・コミュニティ活動 ・デジタル化推進活動 ・地域オリジナル活動 ※各活動5万円（デジタル化推進活動のみ10万円）で合計30万円を上限 （令和7年度）事業規模により交付申請額を選択可能 ・町内会加入促進活動（1・3・5万円） ・デジタル化推進活動（3・5・7・10万円） ・地域オリジナル活動（1・3・5・7・10万円） ※複数活動に取り組む場合は、交付金を合算。



各期間の取組実績・成果	1年目 （R4.7月 末時点）	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 （R5.7月 末時点）	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 （R6.7月 末時点）	・令和6年度事業開始 ・6団体へ850千円交付済み ・10月末まで申請受付 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 5,700 千円
	4年目 （R7.5月 末時点）	・令和6年度事業開始 ・6団体へ850千円交付済み R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 5,700 千円

事業11: 路線バス事業継続支援事業

事業内容	民間路線バス事業者の燃料価格高騰下における事業の継続を支援するため、支援金を交付する。
担当課	政策推進課
取組詳細	○市内に事業所がある民間の路線バス事業者への補助金交付 ・路線バス1台あたり10万円



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	八戸市路線バス及びタクシー事業継続支援金として実施 ○民間路線バス事業者への補助金交付 ・岩手県北自動車(株): 申請台数 50台、交付額 5,000,000円 ・十和田観光電鉄(株): 申請台数 10台、交付額 1,000,000円 八戸市路線バス及びタクシー事業継続支援金（燃料価格高騰対策分）として実施 ○民間路線バス事業者への補助金交付 ・岩手県北自動車(株): 申請台数 51台、交付額 5,100,000円 ・十和田観光電鉄(株): 申請台数 10台、交付額 1,000,000円 R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 41,000千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○民間路線バス事業者への補助金交付 ・岩手県北自動車(株): 申請台数 52台、交付額 5,200,000円 ・十和田観光電鉄(株): 申請台数 10台、交付額 1,000,000円 R4 年度決算額 80,450千円 R5 年度予算額 650千円
	3年目 (R6.7月末時点)	○民間路線バス事業者への補助金交付 ・岩手県北自動車(株): 申請台数 52台、交付額 5,200,000円 ・十和田観光電鉄(株): 申請台数 9台、交付額 900,000円 R5 年度決算額 620千円 R6 年度予算額 650千円
	4年目 (R7.5月末時点)	○民間路線バス事業者への補助金交付 ・岩手県北自動車(株): 申請台数 47台、交付額 4,700,000円 ・十和田観光電鉄(株): 申請台数 10台、交付額 1,000,000円 R6 年度決算額 610千円 R7 年度予算額 650千円

事業12: 八戸圏域地域公共交通計画推進事業

事業内容	八戸圏域地域公共交通の利便性向上を図るため、広域路線バス上限運賃施策の継続実施やバスマップなどを作成するほか、圏域の一体的な公共交通マネジメントを展開するため、八戸圏域 MaaS を推進する。
担当課	政策推進課
取組詳細	○八戸圏域地域公共交通活性化協議会の開催 ○八戸圏域地域公共交通利便増進事業の実施 ○八戸圏域地域公共交通計画及び利便増進実施計画の策定



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	○八戸圏域地域公共交通活性化協議会の開催 ・総会 2 回開催 ・圏域ワーキング会議 11 回開催 ・バス事業者検討分科会 2 回開催 ○八戸圏域地域公共交通利便増進事業の実施 ・上限運賃施策の継続実施 ・バスパックにデジタルチケットの導入 ・バスマップや八戸駅線リーフレット作成 ・バス路線等の 4 次再編の実施 ○八戸圏域地域公共交通計画の策定（令和 5 年 3 月策定） ・計画期間：令和 5 年度～令和 10 年度 ○バスロケ共通表示導入支援 ○IC カード導入支援補助実施（十和田観光電鉄㈱） R3 年度決算額 14,646 千円 R4 年度予算額 68,344 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○八戸圏域地域公共交通活性化協議会の開催 ・総会 2 回開催 ・圏域ワーキング会議 11 回開催 ・バス事業者検討分科会 15 回開催 ・圏域 MaaS 推進検討分科会 1 回開催 ○八戸圏域地域公共交通利便増進事業の実施 ・上限運賃施策の継続実施 ・バスマップや八戸駅線リーフレット作成 ・バス路線等の 4 次再編の継続実施 ・八戸圏域 MaaS の推進 ○八戸圏域地域公共交通利便増進実施計画の策定（令和 6 年 3 月策定） ・計画期間：令和 6 年度～令和 10 年度 ○運賃改定の検討 R4 年度決算額 34,444 千円 R5 年度予算額 39,662 千円

	3 年目 (R6.7 月 末時点)	○八戸圏域地域公共交通活性化協議会の開催 ・総会 3 回開催 ・圏域ワーキング会議 7 回開催 ・バス事業者検討分科会 14 回開催 ・圏域 MaaS 推進検討分科会 3 回開催 ○八戸圏域地域公共交通利便増進事業の実施 ・上限運賃施策の継続実施 ・バス路線等の 4 次再編の継続実施 ・八戸圏域 MaaS の推進 ○運賃改定の検討 R5 年度決算額 34,911 千円 R6 年度予算額 7,250 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○八戸圏域地域公共交通活性化協議会の開催 ・総会 2 回開催 ・圏域ワーキング会議 1 回開催 ・バス事業者検討分科会 4 回開催 ・圏域 MaaS 推進検討分科会 2 回開催 ○八戸圏域地域公共交通利便増進事業の実施 ・上限運賃施策の継続実施 ・バス路線等の 4 次再編の継続実施 ・八戸圏域 MaaS の推進 ○運賃改定の実施（令和 6 年 10 月） R6 年度決算額 5,854 千円 R7 年度予算額 4,742 千円

事業13: 【新規】JR 八戸線利活用事業

事業内容	沿線住民のマイレール意識の醸成や観光客等の誘客による利用促進を図るため、JR 八戸線の沿線自治体と連携した活動を実施する。
担当課	政策推進課
取組詳細	○JR 八戸線（鮫～久慈間）については、1km あたりの1日の平均利用者数（輸送密度）が2,000人未満の利用の少ない線区となっていることから、沿線4市町（久慈市、八戸市、階上町、洋野町）で連携しながら利用促進に向けた取組を検討・実施し、沿線地域の活性化を図る。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	○令和6年6月にJR 八戸線利用促進協議会を設立。 ・構成員：久慈市、八戸市、階上町、洋野町 ・オブザーバー：岩手県、青森県、JR 東日本盛岡支社 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 474 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	○JR 八戸線利用促進協議会への参画。 【令和6年度実施事業内容】 ①児童絵画コンクール（応募期間：令和6年7月16日～令和7年1月20日） ・沿線自治体の小学生が対象 ・応募数：93点 ②運賃助成金（受付期間：令和6年7月16日～令和7年2月28日） ・JRが発売する団体割引券を利用した乗車に対し助成 ・交付数：13件、交付額合計：70,480円 ③交流人口拡大助成金（受付期間：令和6年7月8日～令和7年2月28日） ・鉄道に関連したイベントの開催やツアー実施に係る経費を支援 ・交付数：3件、交付額合計：375,525円 ④利用促進モニターツアー事業（令和7年3月15日実施） ・久慈駅発八戸方面着のJR 八戸線を利用したツアーを実施 ・参加者：19名 R6 年度決算額 417 千円 R7 年度予算額 474 千円

重点施策 8-2

市民にとって身近な公園や歩道の整備、公共施設等の保守・修繕・バリアフリー化を進め、人にやさしい街づくりを推進します。

事業1：無電柱化推進事業

事業内容	すべての人が安全快適に過ごせる環境を整備するため、「くらしのみちゾーン基本計画」を含む「八戸市無電柱化整備計画」を作成し、中心市街地における一層の無電柱化やバリアフリー化を進めるとともに、緊急輸送道路及び景観重点地区における無電柱化を推進する。
担当課	道路建設課
取組詳細	○「くらしのみちゾーン基本計画」に基づき電線類の地中化・バリアフリー化を実施 ○「くらしのみちゾーン基本計画」の見直しを含めた、「八戸市無電柱化整備計画」の策定 ・市道停車場上線、鳥屋部町線事業実施中（令和6年3月完了予定） ・市道番町線事業実施中（令和8年3月完了予定） ・市道中央停車場線事業実施中（令和6年10月工事着工予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・市道鳥屋部町線車道舗装工事、歩道舗装工事（令和4年3月完成） ・市道番町線電線共同溝特殊部設置工事（令和3年12月完成） ・市道番町線電線共同溝本体工事（令和4年3月～実施中） ・市道中央停車場線電線共同溝予備設計業務委託（令和4年7月～実施中） R3 年度決算額 181,615 千円 R4 年度予算額 234,506 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・市道番町線電線共同溝本体工事（令和5年3月完成） ・市道中央停車場線予備設計業務委託（令和5年3月完成） ・市道停車場上線・鳥屋部町線歩道舗装工事（令和4年10月～実施中） ・市道中央停車場線測量設計業務委託（令和5年6月～実施中） ・市道中央停車場線電線共同溝詳細設計業務委託（令和5年7月～実施中） R4 年度決算額 124,678 千円 R5 年度予算額 124,101 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・市道番町線電線共同溝連係設備補償（令和5年12月～実施中） ・市道停車場上線・鳥屋部町線歩道舗装工事（令和6年1月完成） ・（仮称）八戸市無電柱化整備計画策定業務委託（令和6年5月完了） ・市道中央停車場線測量設計業務委託（令和5年6月～実施中） ・市道中央停車場線電線共同溝詳細設計業務委託（令和5年7月～実施中） ・市道岩泉町線電線共同溝予備設計業務委託（令和6年6月～実施中） R5 年度決算額 98,226 千円 R6 年度予算額 43,769 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・「八戸市無電柱化整備計画」（令和6年11月策定） ・市道番町線電線共同溝連係設備補償（令和7年3月完成） ・市道中央停車場線測量設計業務委託（令和7年3月完了） ・市道中央停車場線電線共同溝詳細設計業務委託（令和7年3月完了） ・市道岩泉町線電線共同溝予備設計業務委託（令和7年3月完了） R6 年度決算額 41,198 千円 R7 年度予算額 102,571 千円

事業 2：新井田白銀線歩道整備事業

事業内容	安心・安全な歩行空間の確保と渋滞解消のため、新井田白銀線の拡幅改良（歩道設置）工事を実施する。
担当課	道路建設課
取組詳細	○歩道未整備区間に両側歩道を設置 ○渋滞対策として右折車線を設置 ○用地買収の実施 令和 3 年度：用地買収・移転補償 令和 4 年度：用地買収・移転補償・道路改良工事 令和 5 年度：用地買収・移転補償 令和 6 年度：用地買収・移転補償 令和 7 年度：道路改良工事 令和 8 年度：道路改良工事（完了予定）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	令和 3 年度：用地買収 N=6 筆、移転補償 N=4 件、物件調査業務委託 N=1 件 令和 4 年度：用地買収・移転補償実施中 R3 年度決算額 70,705 千円 R4 年度予算額 49,376 千円
	2 年目 (R5.7月 末時点)	令和 4 年度：用地買収 N=7 筆、移転補償 N=7 件、物件調査業務委託 N=1 件、 道路排水施設詳細設計業務委託 N=1 件、道路改良工事(排水工)L=100m 令和 5 年度：用地買収、移転補償実施中 R4 年度決算額 46,976 千円 R5 年度予算額 87,400 千円
	3 年目 (R6.7月 末時点)	令和 5 年度：用地買収 N=3 筆、移転補償 N=4 件 令和 6 年度：用地買収、移転補償実施中、道路改良工事（令和 6 年 10 月着工予定） R5 年度決算額 13,753 千円 R6 年度予算額 93,148 千円
	4 年目 (R7.5月 末時点)	令和 6 年度：用地買収 N=2 筆、移転補償 N=7 件 令和 7 年度：道路改良工事（令和 7 年 10 月着工予定） R6 年度決算額 72,017 千円 R7 年度予算額 51,130 千円

事業3：一番町矢沢線歩道整備事業

事業内容	安心・安全な歩行空間の確保のため、一番町矢沢線の拡幅改良（歩道設置）工事を実施する。
担当課	道路建設課
取組詳細	○歩道未整備区間に片側歩道を設置 ○用地買収の実施 令和3年度：用地買収 令和4年度：用地買収・移転補償 令和5年度：用地買収・移転補償・道路改良工事（完了予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	令和3年度：用地買収 N=1 筆、電柱移設 一式、消火栓移設 一式、 物件調査業務委託 N=1 件 令和4年度：用地買収、移転補償実施中 R3 年度決算額 10,542 千円 R4 年度予算額 73,600 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	令和4年度：用地買収 N=6 筆、移転補償 N=6 件 令和5年度：用地買収、移転補償、電柱移設、道路改良工事実施中 R4 年度決算額 72,389 千円 R5 年度予算額 59,211 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	令和5年度：用地買収 N=3 筆、移転補償 N=4 件、道路改良工事 令和6年度：道路改良工事 R5 年度決算額 28,199 千円 R6 年度予算額 31,013 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	令和6年度：道路改良工事（令和7年3月完成・事業完了） R6 年度決算額 31,013 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業4：交通安全施設整備事業

事業内容	児童・生徒の安心・安全な歩行空間を確保するため、老朽化による破損が著しい通学路の歩道補修工事を実施するとともに、通学路の安全対策を推進する。
担当課	道路維持課
取組詳細	○歩道の補修工事を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	以下の補修工事を実施し、継続中 6路線 施工延長 L=700m ①下大久保佐部長根線 ②石堂河原木7号線 ③新井田白銀線 ④石堂河原木10号線 ⑤大渡金浜線 ⑥無縁塚鹿島沢線 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 50,000 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	以下の補修工事を実施し、継続中 4路線 施工延長 L=530m ①無縁塚鹿島沢線 ②二中通線 ③石堂河原木12号線 ④石堂河原木7号線 R4 年度決算額 50,000 千円 R5 年度予算額 50,000 千円
	3年目 (R6.7月 末時点)	以下の補修工事を実施し、継続中 1路線 施工延長 L=150m ①無縁塚鹿島沢線 R5 年度決算額 9,322 千円 R6 年度予算額 50,000 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	以下の補修工事を実施し、継続中 1路線 施工延長 L=150m ①無縁塚鹿島沢線 R6 年度決算額 0 千円 R6 年度補正予算額 50,000 千円 R7 年度予算額 0 千円

事業 5： 【新規】 通学路等区画線設置事業

事業内容	登下校時の児童や生徒の安全を確保するため、通学路の白線等の路面標示を引き直す。
担当課	道路維持課
取組詳細	○市内の小中学校周辺の通学路における白線等の路面標示の引き直し。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	○令和 5 年度より開始し、実施中 ・ 区画線(外側線) 25,000m ・ 対象校 10 小学校 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 20,000 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	○令和 6 年度より、債務負担行為を設定し実施中 ・ 区画線(外側線) 22,000m ・ 対象校 10 小学校 R5 年度決算額 19,980 千円 R6 年度予算額 20,000 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	○令和 5 年度より 3 箇年計画で開始し令和 7 年度が最終年度。今年度も債務負担行為を設定し実施中。 ・ 区画線(外側線) 63,000m ・ 対象校 33 校 R6 年度決算額 19,980 千円 R7 年度予算額 55,000 千円

事業 6：公園施設長寿命化事業

事業内容	安全・安心な公園づくりと施設の延命化を図るため、八戸市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の修繕・改築を行う。
担当課	公園緑地課
取組詳細	○公園施設の修繕、改築を実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	○遊具、花壇、公園灯、舗装等の修繕、改築 ・修繕の実施：イチイ公園、岬台中央公園、長根公園、長根公園、三八城公園、上沢巻目公園、四本松公園、淀 1 号公園 R3 年度決算額 47,969 千円 R4 年度予算額 31,050 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	○公園施設の修繕、改築を実施 ・公園施設の修繕 公園灯、公園橋梁、舗装、ベンチ等の修繕を実施 →実施場所：新井田公園、長根公園、旧島守発電所保存公園、 類家四丁目中央公園、東運動公園、平庭公園 他 26 公園 ・公園施設改築工事の実施 →実施場所：サツキ公園、四本松公園、尻引前山ちびっこ公園、石堂第 1 号公園 他 6 公園 R4 年度決算額 56,205 千円 R5 年度予算額 60,050 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	○公園施設の修繕、改築を実施 ・公園施設の修繕 駐車場区画線、給水管、四阿、公園灯等の修繕を実施 →実施場所：東運動公園、白山台公園、是川中央公園 下久根公園、諏訪二丁目公園、ばら公園 他 22 公園 ・公園施設改築工事の実施（令和 6 年 3 月完了） →実施場所：売市公園、湊赤坂 1 号公園、湊高台三丁目公園、新井田公園 他 17 公園 ・公園施設改築工事の実施（令和 6 年 8 月発注予定） →実施場所：こどもの国、新井田公園、青葉町公園、日計中央公園 他 13 公園 R5 年度決算額 59,843 千円 R6 年度予算額 60,050 千円
	4 年目 (R7. 5 月 末時点)	○公園施設の修繕、改築を実施 ・公園施設の修繕 駐車場区画線、給水管、四阿、公園灯等の修繕を実施 →実施場所：東運動公園、白山台公園、是川中央公園 下久根公園、諏訪二丁目公園、ばら公園 他 22 公園 ・公園施設改築工事の実施（令和 7 年 3 月完了） →実施場所：三八城公園、橋向公園、轟木公園、沢里公園 他 16 公園 ・公園施設改築工事の実施（令和 7 年 8 月発注予定） →実施場所：白山台公園、東運動公園、南部山健康総合運動公園 他 36 公園 R6 年度決算額 60,016 千円 R7 年度予算額 60,050 千円

事業7：【新規】市民で賑わう公園魅力向上事業

事業内容	公園の魅力向上を図るため、樹木管理計画を策定するほか、日常管理や公園施設を充実化させる。
担当課	公園緑地課
取組詳細	○包括管理の委託のグレードアップ(草刈り、樹木剪定等) 作業内容等を再編、拡充し、草刈、清掃等の日常管理や樹木管理業務の効率化と品質の向上を図る。 ○八戸市公園樹木管理計画の策定(現況調査、計画策定) 公園樹木管理計画を策定し、公園樹木を継続的かつ計画的に管理し、公園利用者をはじめとする市民の安全・安心の確保を図る。 ○公園施設の充実及び未整備公園の早期整備 町内会等、地元住民のニーズに対応した公園施設の充実と未整備公園の早期整備を図る。

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	3年目の取組にまとめて記載 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 98,715 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	R5 年度実績 ○包括管理の委託のグレードアップ(草刈り、樹木剪定等) 八戸造園建設業協会；樹木管理 128 公園、危険木剪定伐採 30 公園、 設備保守(三八城、まつりんぐ)、修繕 八戸市シルバー人材センター；草刈り 36 公園、頻度年 2 回⇒6 回(緑地は 3 回) へ増加、管理人委託公園の増加(7 公園⇒12 公園、週 2 回) ○八戸市公園樹木管理計画の策定(現況調査、計画策定) 八戸市公園樹木管理計画樹木調査業務委託(令和 5 年 12 月完了) ○公園施設の充実及び未整備公園の早期整備 公園整備工事 類家中央 7 号公園(令和 5 年 12 月完了) (仮称)糠塚公園(令和 6 年 3 月一部完了) R6 年度 ○包括管理の委託のグレードアップ(草刈り、樹木剪定等) ①公園樹木等包括管理業務委託(八戸造園建設業協会) 対象施設：R5 132 箇所 ⇒ R6 201 箇所 69 箇所増 ②公園清掃等包括管理業務委託(八戸市シルバー人材センター) 対象施設：R5 13 箇所 ⇒ R6 15 箇所 2 箇所増 ③公園草刈等包括管理業務委託(八戸市シルバー人材センター) 対象施設：R5 36 箇所 ⇒ R6 39 箇所 3 箇所増 ○八戸市公園樹木管理計画の策定(現況調査、計画策定) 八戸市公園樹木管理計画樹木調査業務委託(令和 6 年 4 月～12 月) ○公園施設の充実及び未整備公園の早期整備 とりの木沢公園基本設計業務委託(令和 6 年 4 月～令和 7 年 2 月) 公園整備工事(仮称)糠塚公園ほか 2 公園(令和 6 年 7 月～令和 7 年 1 月) R5 年度決算額 95,878 千円 R6 年度予算額 111,783 千円

	4 年目 (R7.5月 末時点)	R6 年度実績 ○包括管理の委託のグレードアップ(草刈り、樹木剪定等) ①公園樹木等包括管理業務委託（八戸造園建設業協会） 対象施設：R6 201 公園 樹木剪定 127 公園 設備保守（三八城、まつりんぐ）、修繕 ②公園清掃等包括管理業務委託（八戸市シルバー人材センター） 対象施設：R6 15 公園 ③公園草刈等包括管理業務委託（八戸市シルバー人材センター） 対象施設：R6 38 箇所 ○八戸市公園樹木管理計画の策定(現況調査、計画策定) 八戸市公園樹木管理計画樹木調査業務委託（令和 6 年 12 月完了） ○公園施設の充実及び未整備公園の早期整備 とりの木沢公園基本設計業務委託（令和 7 年 2 月完了） 公園整備工事（仮称）糠塚公園（令和 7 年 3 月一部完了） グリーントウン公園ほか 2 公園（令和 7 年 1 月完了） R7 年度 ○包括管理の委託のグレードアップ(草刈り、樹木剪定等) ①公園樹木等包括管理業務委託（八戸造園建設業協会） 対象施設：R6 201 箇所 ⇒ R7 202 箇所 1 箇所増 ②公園清掃等包括管理業務委託（八戸市シルバー人材センター） 対象施設：R6 15 箇所 ⇒ R7 17 箇所 2 箇所増 ③公園草刈等包括管理業務委託（八戸市シルバー人材センター） 対象施設：R6 38 箇所 ○八戸市公園樹木管理計画の策定(現況調査、計画策定) 八戸市公園樹木管理計画樹木調査業務委託（令和 7 年 5 月～12 月） ○公園施設の充実及び未整備公園の早期整備 とりの木沢公園官民連携支援業務委託（令和 7 年 4 月～令和 7 年 2 月） 公園整備工事（仮称）糠塚公園ほか 2 公園（令和 7 年 7 月～令和 8 年 1 月） R6 年度決算額 105,886 千円 R7 年度予算額 107,702 千円
--	---------------------------------	--

事業 8： 公共施設有効利用促進事業

事業内容	公共施設の適切かつ効率的・効果的な管理運営を推進するため、公共施設マネジメントの推進に係る基本方針に基づく取組を推進するとともに、「はちのへ大型公共施設見える化シート」を活用した市民との情報共有や、アンケート調査による市民ニーズの把握等を行い、公共施設の有効利用を促進する。
担当課	行政管理課
取組詳細	○基本方針に基づくマネジメントの推進 ・施設カルテの更新 ・個別施設計画の進捗管理 ・先進地事例収集 ・研修会の開催 ○大型公共施設の有効利用の促進 ・市民アンケートや職員意見を踏まえた具体的な取組検討 ・見える化シートの公表 ・職員のコスト意識向上に向けた更なる取組の実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	・八戸市公共施設マネジメントの推進に係る基本方針の改訂（令和 4 年 4 月） ・個別施設計画の進行管理表取りまとめ（令和 4 年 6 月） ・公共施設オンラインセミナーの開催（令和 4 年 7 月） →参加者：施設所管課担当者 7 名 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 164 千円
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	・施設カルテ（430 施設）を更新（令和 4 年 8 月） ・見える化シートの公表（令和 5 年 1 月） ・市民アンケートの実施（令和 5 年 6 月） ・個別施設計画の進捗管理の実施（令和 5 年 7 月～） ・施設カルテの更新（令和 5 年 7 月～） ・省エネ最適化診断の実施（令和 5 年 6 月～） R4 年度決算額 164 千円 R5 年度予算額 329 千円
	3 年目 (R6. 7 月 末時点)	・市民アンケートの結果を踏まえた今後の取組の方向性と取組イメージの整理（令和 5 年 10 月） ・具体的な取組の検討及び実施（令和 5 年 10 月～） ・見える化シートの更新（令和 5 年 10 月） ・個別施設計画の進捗管理の実施（令和 6 年 7 月～） ・施設カルテの更新（令和 6 年 7 月～） R5 年度決算額 75 千円 R6 年度予算額 329 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点) ・有効利用に向けた取組事例及び効果の取りまとめ（令和 6 年 11 月） ・見える化シートの公表（令和 6 年 11 月） ・第 8 次行財政改革大綱に位置付け、全庁的な取組として推進（令和 7 年 4 月～） ➢ 個別施設計画の進捗管理の実施（令和 7 年 7 月～） ➢ 施設カルテの更新（令和 7 年 7 月～） ➢ 見える化シートの更新 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円
--	---

事業 9： 【新規】 公共施設長寿命化推進事業

事業内容	集中的・効率的な公共施設の長寿命化対策の推進を図るため、公共施設マネジメントの推進に係る基本方針に基づく取組を行う。
担当課	行政管理課
取組詳細	当初予算編成における「公共施設適正管理推進費（予算特別枠）」にかかる審査実施（10 月）

各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	事業担当課から提出された事業概要資料や施設カルテを用いて、施設の老朽化率や利用状況について分析し、それぞれの改修事業に優先順位付けを行い、財政課へ通知をした。(10 月) R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3 年目 (R6.7 月末時点)	事業担当課から提出された事業概要資料や施設カルテを用いて、施設の老朽化率や利用状況について分析し、それぞれの改修事業に優先順位付けを行い、財政課へ通知をした。(10 月) R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	事業担当課から提出された事業概要資料や施設カルテを用いて、施設の老朽化率や利用状況について分析し、それぞれの改修事業に優先順位付けを行い、財政課へ通知をした。(令和 6 年 10 月) ※令和 7 年度からは、重点施策 8-2 事業 8「公共施設有効利用促進事業」に統合し事業継続 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 8-3

空き家の適正管理を進めるほか、空き家のリフォームやリノベーションによる転用などの利活用を促進します。

事業 1： 空き家等管理対策事業

事業内容	空き家の適切な管理と発生防止のため、市民等からの相談受付や各種調査・助言・指導等を行うとともに、適切な管理に関する啓発や所得税の特例制度の周知、圏域自治体との合同研修会を実施する。
担当課	都市政策課
取組詳細	○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ○圏域町村との合同研修会の実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ⇒新規相談受付案件：35 件（8 件解決）、既受付案件：53 件解決 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ⇒(株)ジチタイアドと官民協働で空き家情報誌を作成（9,200 部）し、町内会等に配布 ⇒広報はちのへ 8 月号（R4. 7 発行）に、空き家等の適切な管理に関する啓発記事を掲載 ○圏域町村との合同研修会の実施 ⇒構成市町村の空き家対策に係る担当職員を対象に、各市町村が抱える空き家問題について検討や情報交換を実施（R3. 11. 18） R3 年度決算額 352 千円 R4 年度予算額 2,216 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ⇒新規相談受付案件：62 件（14 件解決）、既受付案件：41 件解決 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ⇒(株)ジチタイアドと官民協働で空き家情報誌を作成（9,200 部）し、町内会等に配布 ⇒広報はちのへ 5 月号（R5. 4 発行）に、空き家等の適切な管理に関する啓発記事を掲載 ○圏域町村との合同研修会の実施 ⇒構成市町村の空き家対策に係る担当職員を対象に、各市町村が抱える空き家問題について検討や情報交換を実施（R4. 11. 16） R4 年度決算額 748 千円 R5 年度予算額 1,813 千円

	3 年目 (R6.7 月 末時点)	○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ⇒新規相談受付案件：86 件（22 件解決）、既受付案件：18 件解決 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ⇒(株)ジチタイアドと官民協働で空き家情報誌を作成（3,100 部）し、町内会等に配布 ○圏域町村との合同研修会の実施 ⇒構成市町村の空き家対策に係る担当職員を対象に、各市町村が抱える空き家問題について検討や情報交換を実施（R5.8.31） ⇒連携市町村の空き家バンク紹介ページを相互リンク設定 R5 年度決算額 1,151 千円 R6 年度予算額 1,455 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ⇒新規相談受付案件：82 件（34 件解決）、既受付案件：21 件解決 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ⇒(株)ジチタイアドと官民協働で空き家情報誌を作成（3,100 部）し、町内会等に配布 ○圏域町村との合同研修会の実施 ⇒構成市町村の空き家対策に係る担当職員を対象に、各市町村が抱える空き家問題について検討や情報交換を実施（R6.8.28） ⇒連携市町村の空き家バンク紹介ページを相互リンク設定 ⇒五戸町と共同で空き家相談会開催（R6.11.10） ○空家法に基づく特定空家等の認定及び措置 ⇒ 認定件数 8 件（1 件解決） R6 年度決算額 1,153 千円 R7 年度予算額 6,914 千円

事業2：空き家活用・住みかえ支援事業

事業内容	空き家の利活用や流通促進を図るため、相談体制の拡充や補助事業の実施、空き家ポータルサイトの運営等に取り組む。
担当課	都市政策課
取組詳細	○空き家に関する相談体制の拡充 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ○危険空き家等除却事業補助金の交付 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ○市民向け相談会の開催 ○空き家再生事業の実施 ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ・空き家ポータルサイトの運営 ・空き家対策に関する PR 動画制作 ・不動産等専門団体と連携して空き家の利活用を促進する空き家解消取組体制の構築



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点) ○空き家に関する相談体制の拡充 ⇒相談受付：25 件 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ⇒R3 年度：交付決定 6 件、交付額 321,000 円 ⇒R4 年度：交付決定 1 件、交付額 050,000 円 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ⇒協定に基づく取り組み内容を広報はちのへやチラシにて周知 ○市民向け相談会の開催 ⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の実施（施設閉館）に伴い中止（令和 4 年 2 月 2 日開催予定） ○空き家再生事業の実施 ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ⇒調査地区：三八城（中心市街地の一部、売市、城下、沼館）、白銀地区の一部 空き家候補数：313 件 ・空き家ポータルサイトの運営 ⇒空き家バンク新規登録物件数：15 件 ⇒空き家ポータルサイト（はちのへ空き家ずかん）総アクセス数：107,516pv（11,946pv/月） ・空き家対策に関する PR 動画制作 ⇒空き家対策事業に関する PR 動画：1 本製作・公開 ⇒空き家バンク掲載物件の紹介動画：7 本製作・公開 R3 年度決算額 37,583 千円 R4 年度予算額 38,615 千円
-------------	---

2年目 (R5.7月 末時点)	○空き家に関する相談体制の拡充 ⇒相談受付：60件 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ⇒R4年度：交付決定14件、交付額1,820,000円 ⇒R5年度：交付決定なし ○危険空き家等除却事業補助金の交付（新規） ⇒R5年度：交付決定1件 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ⇒協定に基づく取り組み内容を広報はちのへやチラシにて周知 ○市民向け相談会の開催 ⇒青森県宅地建取引業協会及び青森県居住支援協議会と連携して相談会を開催 (R4.11.27、R5.2.7) ○空き家再生事業の実施 ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ⇒調査地区：白銀地区の一部、大館地区 空き家候補数：325件 ・空き家ポータルサイトの運営 ⇒空き家バンク新規登録物件数：20件 ⇒空き家ポータルサイト（はちのへ空き家ずかん）総アクセス数： 153,258pv（13,932pv/月） ・空き家対策に関するPR動画制作 ⇒空き家対策事業に関するPR動画：2本制作・公開 ⇒空き家バンク掲載物件の紹介動画：9本制作・公開 R4年度決算額 38,117千円 R5年度予算額 28,622千円
3年目 (R6.7月 末時点)	○空き家に関する相談体制の拡充 ⇒相談受付：73件 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ⇒R5年度：交付決定8件、交付額1,002,000円 ⇒R6年度：交付決定2件、交付額300,000円 ○危険空き家等除却事業補助金の交付 ⇒R5年度：交付決定8件、交付額1,600,000円 ⇒R6年度：交付決定7件、交付額1,700,000円 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ⇒協定に基づく取り組み内容を広報はちのへやチラシにて周知 ○市民向け相談会の開催 ⇒青森県宅地建取引業協会及び青森県居住支援協議会と連携して相談会を開催 (R5.11.26、R6.1.29) ○空き家再生事業の実施 ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ⇒調査地区：下長地区 空き家候補数：181件 ・空き家ポータルサイトの運営 ⇒空き家バンク新規登録物件数：15件 ⇒空き家ポータルサイト（はちのへ空き家ずかん）総アクセス数： 165,551pv（13,796pv/月） ・空き家対策に関するPR動画制作 ⇒空き家バンク掲載物件の紹介動画：3本制作・公開 R5年度決算額 24,977,100円 R6年度予算額 21,574,000円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○空き家に関する相談体制の拡充 ⇒相談受付：137 件 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ⇒R6 年度：交付決定 17 件、交付額 1,200,000 円 ⇒R7 年度：交付決定 0 件、交付額 0 円 ○危険空き家等除却事業補助金の交付 ⇒R6 年度：交付決定 8 件、交付額 1,800,000 円 ⇒R7 年度：交付決定 0 件、交付額 0 円 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ⇒協定に基づく取り組み内容を広報はちのへやチラシにて周知 ○市民向け相談会の開催 ⇒青森県宅地建取引業協会及び青森県居住支援協議会と連携して相談会を開催 (R6.11.10、R7.1.30) ○空き家再生事業の実施 ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ⇒調査地区：鮫、田面木地区及び白銀地区の一部 空き家候補数：266 件 ・空き家ポータルサイトの運営 ⇒空き家バンク新規登録物件数：32 件 ⇒空き家ポータルサイト（はちのへ空き家ずかん）総アクセス数： 153,407pv（11,232pv/月） ・空き家対策に関する PR 動画制作 ⇒空き家バンク掲載物件の紹介動画：3 本制作・公開 ○はちのへ空き家解消ネットワーク（官民連携空き家解消組織）の運営 ⇒不動産等、法務、金融、空き家管理等 11 団体と協定締結（R6.8） ⇒相談案件 58 件（成約 2 件） R6 年度決算額 19,433 千円 R7 年度予算額 20,304 千円
--	----------------------------------	--

重点施策 8-4

市民と共に創る「市民目線のまちづくり」を目指して、「(仮称) 市長との公民館サロン」を開設し、開かれた市政を実現します。

事業 1: 【新規】市長との公民館サロン開催事業

事業内容	「市民目線のまちづくり」の実現のため、地域の現状や課題、市政状況等について相互理解を図るとともに、課題解決や振興策について市長と地域住民が気軽な雰囲気の中で対話をする場を設ける。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	市長が直接地域に出向き、必要に応じて現地視察を行いながら、地域を知り、地域とともに課題解決に取り組むため、地域代表者と意見交換を行う。 ① 市長と地域住民の代表者 10 名程度が車座になり、顔の見える距離で、形式にとらわれない気軽な雰囲気のなか、開催地域から提案を受けたテーマについて意見交換を行う。 ② 公民館で開催し、令和 4～5 年度で市内 24 地区公民館の所管区域を一巡 令和 6 年度からは、連合町内会ごとの公募制により、「みんなで取り組む地域づくり」を共通テーマに、地域の担い手育成や特色を活かした地域づくりに向けて地域課題や地域振興の方策を共に考え、実践につなげていく場とする。 ③ 意見交換の内容は関係課へ共有し、その後の対応状況を取りまとめる。



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	○公民館サロンを開催 ・田面木 (令和 4 年 4 月 26 日) ・湊 (令和 4 年 5 月 16 日) ・根岸 (令和 4 年 6 月 3 日) ・館 (令和 4 年 6 月 28 日) ・南郷西 (令和 4 年 7 月 8 日) ・島守 (令和 4 年 7 月 19 日) 6 地区 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 150 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	○公民館サロンを開催 ・南浜 (令和 4 年 8 月 23 日) ・根城 (令和 4 年 9 月 2 日) ・白銀 (令和 4 年 10 月 18 日) ・上長 (令和 4 年 11 月 1 日) ・下長 (令和 4 年 11 月 16 日) ・市川 (令和 4 年 12 月 1 日) ・白山台 (令和 5 年 1 月 17 日) ・大館 (令和 5 年 4 月 20 日) ・鮫 (令和 5 年 5 月 17 日) ・小中野 (令和 5 年 5 月 29 日) ・吹上 (令和 5 年 6 月 27 日) ・三八城 (令和 5 年 7 月 6 日) ・東 (令和 5 年 7 月 24 日) 13 地区 R4 年度決算額 83 千円 R5 年度予算額 149 千円

	3 年目 (R6.7 月 末時点)	○公民館サロンを開催 ・江陽 (令和 5 年 8 月 9 日) ・是川 (令和 5 年 8 月 30 日) ・白銀南 (令和 5 年 9 月 28 日) ・長者 (令和 5 年 10 月 23 日) ・豊崎 (令和 5 年 10 月 31 日) ・柏崎 (令和 5 年 11 月 15 日) 6 地区 ○令和 6 年度から 38 地区連合町内会を対象とする公募制へ移行 ・町畑 (令和 6 年 7 月 8 日) ・江陽 (令和 6 年 7 月 31 日) R5 年度決算額 62 千円 R6 年度予算額 149 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○令和 6 年度から 38 地区連合町内会を対象とする公募制へ移行 ・吹上 (令和 6 年 8 月 8 日) ・中居林 (令和 6 年 9 月 26 日) ・高館 (令和 6 年 10 月 25 日) ・上長 (令和 6 年 11 月 25 日) ・三八城 (令和 6 年 9 月 2 日) ・白銀 (令和 6 年 10 月 7 日) ・島守 (令和 6 年 11 月 19 日) ・類家 (令和 7 年 1 月 15 日) 8 地区 ○令和 7 年度開催地区の公募実施 令和 8 年 1 月末までに計 10 地区程度での開催を予定 R6 年度決算額 67 千円 R7 年度予算額 473 千円

政策 9	経営感覚を持った行財政運営
------	---------------

重点施策 9-1

持続可能な財政運営に向け、大型公共施設の維持管理コストと財源の見通しを公開し、併せて施設の有効利用を図ることにより費用対効果を高めます。

事業 1： 公共施設有効利用促進事業（再掲）

事業内容	公共施設の適切かつ効率的・効果的な管理運営を推進するため、公共施設マネジメントの推進に係る基本方針に基づく取組を推進するとともに、「はちのへ大型公共施設見える化シート」を活用した市民との情報共有や、アンケート調査による市民ニーズの把握等を行い、公共施設の有効利用を促進する。
担当課	行政管理課
取組詳細	○基本方針に基づくマネジメントの推進 ・施設カルテの更新 ・個別施設計画の進捗管理 ・先進地事例収集 ・研修会の開催 ○大型公共施設の有効利用の促進 ・市民アンケートや職員意見を踏まえた具体的な取組検討 ・見える化シートの公表 ・職員のコスト意識向上に向けた更なる取組の実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	・八戸市公共施設マネジメントの推進に係る基本方針の改訂（令和 4 年 4 月） ・個別施設計画の進行管理表取りまとめ（令和 4 年 6 月） ・公共施設オンラインセミナーの開催（令和 4 年 7 月） →参加者：施設所管課担当者 7 名 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 164 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	・施設カルテ（430 施設）を更新（令和 4 年 8 月） ・見える化シートの公表（令和 5 年 1 月） ・市民アンケートの実施（令和 5 年 6 月） ・個別施設計画の進捗管理の実施（令和 5 年 7 月～） ・施設カルテの更新（令和 5 年 7 月～） ・省エネ最適化診断の実施（令和 5 年 6 月～） R4 年度決算額 164 千円 R5 年度予算額 329 千円

	3年目 (R6.7月 末時点)	・市民アンケートの結果を踏まえた今後の取組の方向性と取組イメージの整理（令和5年10月） ・具体的な取組の検討及び実施（令和5年10月～） ・見える化シートの更新（令和5年10月） ・個別施設計画の進捗管理の実施（令和6年7月～） ・施設カルテの更新（令和6年7月～） R5 年度決算額 75 千円 R6 年度予算額 329 千円
	4年目 (R7.5月 末時点)	・有効利用に向けた取組事例及び効果の取りまとめ（令和6年11月） ・見える化シートの公表（令和6年11月） ・第8次行財政改革大綱に位置付け、全庁的な取組として推進（令和7年4月～） ➢ 個別施設計画の進捗管理の実施（令和7年7月～） ➢ 施設カルテの更新（令和7年7月～） ➢ 見える化シートの更新 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 9-2

市長と市職員との活発な意見交換を通じ、行政組織をより活性化させ行政改革と市民サービスの質の向上につなげます。

事業 1：【新規】行政組織活性化事業

事業内容	市民サービスの質の向上を図るため、行政組織を活性化させる取組を進める。
担当課	人事課
取組詳細	○市長が掲げる政策を職員に浸透させるため、職員研修において、市長講話や意見交換会等を実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	・階層別研修において、市長講話又は意見交換会を実施 ①新採用職員前期研修（令和 4 年 4 月） 市長講話及び政策に対する市長との意見交換 ②班長級研修（令和 4 年 4 月） 市長講話 ③補佐級研修（令和 4 年 6 月） 市長講話 ④課長級研修（令和 4 年 7 月） 市長講話 ⑤主査級研修（令和 4 年 8 月） 政策提案発表会（市長から講評） R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	・階層別研修において、市長講話又は意見交換会を実施 ①新採用職員前期研修（令和 5 年 4 月） 市長講話及び政策に対する市長との意見交換 ②班長級研修（令和 5 年 4 月） 市長講話 ③補佐級研修（令和 5 年 6 月） 市長講話 ④主査級研修（令和 5 年 8 月） 政策提案発表会（市長から講評） R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円

	3 年目 (R6.7 月 末時点)	・階層別研修において、市長講話又は意見交換会を実施 ①新採用職員前期研修（令和 6 年 4 月） 市長講話及び政策に対する市長との意見交換 ②職場マネジメント研修Ⅰ（班長級対象）（令和 6 年 4 月） 市長講話 ③主査級研修（令和 5 年 8 月） 政策提案発表会（市長から講評） ④職場マネジメント研修Ⅱ（補佐級対象）（令和 6 年 6 月） 市長講話 ・市長と職員の意見交換会「市長室ダイアログ」を開催 R5.10～R6.1 1 回当たり 60 分、計 12 回、各部署選出の主事級職員 66 名が参加 R5 年度決算額 0 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月 末時点)	・階層別研修において、市長講話又は意見交換会を実施 新採用職員前期研修（令和 7 年 4 月）にて、市長講話及び政策に対する市長との意見交換を実施 ・市長と職員の意見交換会「市長室ダイアログ」を開催 R6.10～R7.1 1 回当たり 60 分、計 12 回、各部署選出の主査級職員 67 名が参加 ・令和 7 年 3 月「八戸市人材育成・確保基本方針」を策定 R6 年度決算額 0 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 9-3

民間企業との交流をより推進し、経営感覚やスキルを取得することによって、八戸市のまちづくり経営の事業や施策に反映させます。

事業 1：【新規】民間企業との交流事業

事業内容	市職員のまちづくりに関する企画立案能力の向上を図るため、民間企業の有する経営感覚やスキルを学ぶ機会を設ける。
担当課	人事課、政策推進課
取組詳細	○まちづくりに関する民間企業等への職員派遣 ○参加可能な民間企業等の研修会への参加 ○企業等との意見交換会の実施



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	・民間企業等が主催する研修会の中で、職員が参加可能な研修会を調査し、参加について検討 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2 年目 (R5.7 月末時点)	・令和 5 年 4 月 1 日より株式会社まちづくり八戸へ職員(まちづくり推進課付)1 名を派遣 ・民間企業等が主催する研修会の中で、職員が参加可能な研修会を調査し、参加について検討 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円 (派遣職員の給料、手当、旅費は市負担)
	3 年目 (R6.7 月末時点)	・株式会社まちづくり八戸へ職員(まちづくり推進課付)1 名を派遣 ・青い森信用金庫主催の地域活性化研修会への参加及び同金庫と市の若手職員による意見交換会を実施 ・八戸市誘致企業のマネックス証券株式会社 代表取締役社長 清明氏による職員向け講演会を開催 ・八戸商工会議所青年部との意見交換会の実施 ・八戸商工会議所青年部主催の「八戸風会議」への参加(令和 6 年 1 月) ・東北ブロック商工会議所青年部連合会主催の「東北の風会議 2024in 八戸」への参加(令和 6 年 7 月) R5 年度決算額 134 千円 R6 年度予算額 0 千円
	4 年目 (R7.5 月末時点)	・株式会社まちづくり八戸へ職員(まちづくり推進課付)1 名を派遣 ・青森県主催「AX」青森新時代ゼミナールへの参加 R6 年度決算額 78 千円 R7 年度予算額 0 千円

重点施策 9-4

健康増進、子育て支援などの機能を備えた市民向けアプリを開発し、市民満足度の向上を図ります。また、アプリに市民の意識や満足度を把握できる機能も備えることで市政の改善に活かします。

事業1：【新規】健康はちのへ 21 ポイントアプリ事業

事業内容	健康寿命の延伸を図るため、市民が楽しく健康増進に取り組むことができるスマートフォン向け健康アプリを導入する。
担当課	健康づくり推進課
取組詳細	○アプリの導入準備 ○アプリの運用 ○アプリの周知



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・アプリ等開発委託業者選定のための公募型プロポーザル参加者募集。 (令和4年6月～7月) ・令和4年7月プロポーザルを実施し、委託契約予定業者を選定。 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 12,000 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・令和5年3月1日運用開始 3月末現在ダウンロード数 1,535 ・市長記者会見及び広報、HP、デジタルサイネージによる周知 ・令和5年6月30日第1回抽選実施（応募総数 571 人、1,072 口） ・令和5年6月末時点ダウンロード数 3,110 ・令和5年9月、12月、令和6年3月に抽選を実施する予定 R4 年度決算額 11,090 千円 R5 年度予算額 4,487 千円
	3年目 (R6.7月末時点)	・令和5年9月29日第2回抽選実施（応募総数 1,891 人、1,729 口） ・令和5年12月25日第3回抽選実施（応募総数 0,971 人、1,954 口） ・令和6年3月18日第4回抽選実施（応募総数 1,050 人、2,016 口） ・令和6年7月1日第5回抽選実施（応募総数 1,216 人、2,650 口） ・令和6年3月15～29日に「健はちプラス満足度調査」（回答者 285 人）を実施 「アプリへの満足度」について、満足度 60%以上の回答が全体の 64.9%となった。 (80%以上：91 人、60～80%：93 人) ・令和6年6月末ダウンロード数 4,567 ・頑張った賞送付 延べ 323 人（令和6年7月末） R5 年度決算額 2,803 千円 R6 年度予算額 4,180 千円
	4年目 (R7.5月末時点)	・令和6年10月1日第6回抽選実施（応募総数 1,035 人、2,176 口） ・令和6年12月25日第7回抽選実施（応募総数 1,122 人、2,245 口） ・令和7年3月25日第8回抽選実施（応募総数 1,123 人、2,297 口） ・令和7年4月末ダウンロード数 5,499 ・頑張った賞送付 延べ 934 人（令和6年4月末） R6 年度決算額 3,322 千円 R7 年度予算額 3,960 千円

事業2：【新規】子育て情報整備事業（再掲）

事業内容	子育て情報の取得に係る負担軽減のため、LINE や専用アプリ等を導入・運用し、子育て世代が妊娠期から子育て期に必要となる多種多様な情報を手軽かつ効果的に取得できる環境を整備する。
担当課	子育て支援課
取組状況	○子育て情報サイトの運営（平成 27 年 4 月 1 日開設） ○はちすく通信の配信（平成 27 年 4 月 1 日メール配信開始、令和 2 年 11 月 1 日 LINE 配信開始、令和 5 年 3 月 31 日メール配信廃止） ○子育て支援アプリの運用（令和 4 年 8 月 19 日導入） ○子育て支援アプリの機能拡充（令和 5 年 5 月）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月末時点)	○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 ・内容：子育て支援関連の各種行政サービス情報を集約したウェブサイト ・サイト訪問者数：1,036 人（R4. 7 月末時点） ○メール及び LINE により「はちすく通信」を配信 ・内容：子育てに関する行政情報ははじめ、親子で楽しめるイベント情報などを定期配信 ・メール登録者数：395 人（R4. 7 月末時点） ・LINE 登録者数：1,144 人（R4. 7 月末時点） R3 年度決算額 833 千円 R4 年度予算額 1,410 千円
	2 年目 (R5. 7 月末時点)	○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 ・サイト訪問者数：1,432 人（R5. 6 月末時点） ○「はちすく通信 LINE」の配信 ※R5. 3. 31 でメール配信は廃止 ・登録者数：1,706 人（R5. 6 月末時点） ○子育て支援アプリ「子育てアプリ はちも」の運用（R4. 8. 19～） ・機能：予防接種スケジュール管理、子どもの成長記録、子育てや地域のイベント情報の検索・プッシュ通知、子育て施設検索 等 ・登録者数：2,004 人（R5. 6 月末時点） ・機能の追加改修 ①配信希望ジャンルの絞り込み機能の追加・「ひとり親」追加（R5. 5 月） ②オンライン予約機能の追加・離乳食教室など（R5. 6 月） R4 年度決算額 1,385 千円 R5 年度予算額 2,699 千円
	3 年目 (R6. 7 月末時点)	○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 ・サイト訪問者数：1,124 人（R6. 6 月末時点） ○「はちすく通信 LINE」の配信 ・登録者数：2,227 人（R6. 6 月末時点） ○子育て支援アプリ「子育てアプリ はちも」の運用 ・登録者数：2,724 人（R5. 6 月末時点） ・配信内容充実のため、アプリ利用者に対し、満足度アンケートを実施（R6. 1 月） ※満足とやや満足の回答が 61.4%となった。 R5 年度決算額 2,589 千円 R6 年度予算額 1,920 千円

	4 年目 (R7.5 月 末時点)	○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 ・サイト訪問者数：1,017 人 (R7.2 月末時点) ○「はちすく通信 LINE」の配信 ・登録者数：2,601 人 (R7.4 月末時点) ○子育て支援アプリ「子育てアプリ はちも」の運用 ・登録者数：3,207 人 (R7.4 月末時点) R6 年度決算額 1,920 千円 R7 年度予算額 1,991 千円
--	----------------------------------	---